

# 青少年の性意識と性行動に関する 調査研究報告書

平成 14 年度

兵 庫 県

(財)兵庫県ヒューマンケア研究機構

家 庭 問 題 研 究 所

## はじめに

兵庫県では、明日のひょうごを担う青少年の健全育成に向けて幅広い県民の参画のもと、平成12年3月に制定された「ひょうごの青少年憲章」を基本に家庭、地域、学校などで、さまざまな取組みを積極的に展開しています。

しかし、最近の社会環境の変化により、青少年を取り巻く環境は複雑・多様化し、大きく様変わりしました。

特に、情報化社会の進展は、青少年の性意識や性行動の早期化、活発化に大きな影響を与え、この傾向は続くものと思われます。

このことは、青少年にとって、どのような影響を及ぼしているのか、何が問題になっているのか、また、これに対し大人は何ができるのか、何が必要なのかなどを明らかにすることが、私たち大人にとって喫緊の課題であると考えます。

このようなことを解明するために、このたび家庭問題研究所に「青少年の性意識と性行動」の調査をお願いしました。今回の調査は、地域校長会の深いご理解とご協力が得られたからこそできた、このテーマに真正面から取り組んだ貴重な報告となりました。

この結果は、社会環境に大きく影響された青少年の性意識と性行動を明確に示しており、情報化社会、友人や家庭関係、意識の変化等、様々な面から青少年育成を考えなくてはならないということを示しているといえましょう。

また、このことは、青少年を取り巻くすべての大人が、それぞれの立場で、こころ豊かでたくましい青少年の育成への取組みが可能だということでもあります。

この報告書が、広く、各方面の皆様にご活用いただき、青少年の健全育成への大きな力となることを期待しています。

おわりに、この調査研究に携わっていただいた関係者の方々をはじめ、ご協力いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。

平成15年3月

兵 庫 県

## ま え が き

この報告書は、平成14年度に家庭問題研究所が実施した「青少年の性意識および性行動に関する調査研究」の成果をまとめたものであります。

当研究所では、これまでも青少年の意識や行動に関していくつかの調査研究を行なって参りました。たとえば「少年の非行・問題行動と家庭に関する調査研究」「青少年の家庭内コミュニケーションに関する調査研究」「青少年の福祉意識と行動に関する調査研究」「思春期の子どもの性意識と性行動に関する調査研究」「ひょうごの青少年のボランティア活動に関する調査研究」、および「青年のライフスタイルに関する調査研究」などがそれであります。

しかしながら、これらの調査は、すでに実施されてから長い年月の経ったものもあり、また今回のように、必ずしも性意識や性行動を直接的に調査研究したものではなかつたりしています。ただし「思春期の子どもの性意識と性行動に関する調査研究」にかぎっては、今回の調査研究に近いところがあります。

とはいえ、この調査は、ちょうど十年前の平成4年度に実施されたものであります。青少年の性意識や性行動も、今日では大きく変化してきております。すでに東京都内の高校3年生を対象にしたアンケート調査(対象3,064人で有効回答率約9割)では、女子生徒の45.6%が性交の経験があると回答しています(男子生徒は37.3%)。また今日、十年前には普及していなかった携帯電話の出会い系サイトを利用した事件も頻発してきております。

こうしたなかで兵庫県下の公立高校2年生を対象にして、青少年の性意識および性行動の実態を把握しようとして、今回の調査研究は、実施されました。今回の調査では、女子生徒の34.8%、そして男子生徒の28.6%が性交経験ありと回答しており、東京都の高校3年生に比べて、やや低い比率になっていましたが、調査対象が高校2年生である点を考慮すれば、必ずしも低い数値とはいええないことが分かります。詳しくは、ぜひ本報告書を一読していただきたいと思ひます。

今日、避妊知識や性感染症の知識など、性に関する正しい教育もなされていない現状において、青少年というよりは今後、もっと年齢の低い段階からの正しい性教育が望まれると云ってよいでしょう。いずれにしろ今後の課題は、たいへん大きいものがあると云ってよいと思ひれます。後追いにならないように、早急な取り組みが期待されます。

最後になりましたが、このたびの調査の実施にあたっては兵庫県教育委員会および兵庫県公立高等学校長協会の先生方に多大なご協力をいただきました。ここに付記して心から御礼を申し上げます。また真面目に回答を寄せてくれた高校生諸君にも同様に心から御礼を申し上げます。

平成15年3月

家庭問題研究所

所 長 野々山 久 也

# 研 究 体 制

研究責任者 野々山 久 也 家庭問題研究所長  
甲 南 大 学 教 授

研究指導者 清 水 美知子 関西国際大学助教授

研 究 者 施 利 平 家庭問題研究所主任研究員  
追手門学院大学非常勤講師

小 泉 充 則 家庭問題研究所主任研究員  
竹 中 工 務 店

# 青少年の性意識と性行動に関する調査研究報告書

<b>第1章 調査の背景と目的</b>	1
<b>第2章 調査の概要</b>	
1. 調査の概要	3
2. 回答者の基本属性	4
3. 分析の枠組み	5
4. 分析結果の要約	7
<b>第3章 男の性と女の性</b>	
1. 全体像	11
2. 性についての意識の男女差	11
3. 性行動の男女差	15
<b>第4章 情報化社会と若者の性</b>	
1. 全体像	19
2. 情報機器の個人化と若者の性	
(1) 情報機器の所持と性意識	19
(2) 情報機器の所持と性行動	26
3. メディアの影響と若者の性	
(1) メディアの影響と性意識	30
(2) メディアの影響と性行動	34
4. 出会い系サイトと若者の性	
(1) 出会い系サイトの利用状況	37
(2) 出会い系サイトの利用と性意識	43
(3) 出会い系サイトの利用と性行動	45
<b>第5章 友人・家族関係と若者の性</b>	
1. 全体像	49
2. 友人の持つ影響力と若者の性	
(1) 友人の持つ影響力と性意識	49
(2) 友人の持つ影響力と性行動	54

3 . 友人関係と若者の性	
( 1 ) 友人関係と性意識	5 6
( 2 ) 友人関係と性行動	6 1
4 . 家庭環境と若者の性	
( 1 ) 家庭環境と性意識	6 2
( 2 ) 家庭環境と性行動	6 5
( 3 ) 家庭環境と親子間コミュニケーション	6 6

## 第6章 若者の価値観・経験と性

1 . 全体像	6 9
2 . 若者の価値観と若者の性	
( 1 ) 若者の価値観と性意識	6 9
( 2 ) 若者の価値観と性行動	7 3
( 3 ) 若者の価値観と彼らを取り囲む人間関係	7 8
3 . 若者の性経験と性意識	
( 1 ) 性経験の有無と性意識	7 9
( 2 ) 経験人数と性意識	8 2
( 3 ) 初交年齢と性意識	8 4
4 . 性教育のあり方と若者のニーズ	
( 1 ) 若者のニーズ	8 7
( 2 ) 性感染症、避妊についての意識と行動	8 9

## 第7章 性についての若者からのメッセージ(自由回答から)

## 第8章 まとめと考察

1 . まとめと考察	1 0 5
2 . 提言	1 0 6

## 参考文献

## 資料

1 . 質問紙	1 1 3
2 . 単純集計	1 1 9

## 第1章 調査の背景と目的

今日、青少年の性は多くの人々の関心を集めている。人々は今日の若者の性行動の早期化や活発化に驚き、また、エイズをはじめ性感染症の増加、出会い系サイトなどの性にまつわる事件に危惧を覚える。一体、若者たちは性についてどのような意識を持ち、かれらの性行動はどこまで進んでいるのか。若者の性に関する意識と行動の実態を把握することは緊急の課題となっている。

若者の性行動の早期化・活発化、さらに援助交際の出現は、いうまでもなく今日の情報化社会の進展と密接に関連している。出会い系サイトを利用して、犯罪に巻き込まれる事件や援助交際などについて報道がなされているなか、情報機器の利用に関する法的規制も実施されつつある。とはいえ、もはや歴史的な流れとして情報化の進展を止めることは、できない相談である。そこで結局のところ、この情報化の進展は、若者の性に関する意識と行動にどのような影響を及ぼしているのか、また何が問題となっているのかを明らかにすることが重要である。

情報化の影響とともに、若者を含め、私たちの意識や行動に変わらぬ大きなインパクトを持つのは、私たちの周囲にいる友人や家族、いわゆる重要な他者ではないだろうか。特に青少年の性行動の早期化・活発化、そして、援助交際などの“問題行動”を論じるとき、最もよく用いられるロジックは、今日の家族関係や友人関係が希薄であるがゆえに、若者たちは、疎外感や孤独感をいだき、心の隙間を埋めるために、早い時期から性に走るといふものである。したがって、セックスは彼らにとってはあくまでも家族や友人から得られなかった愛情や承認をセックス相手から得るための手段であり、また索漠とした日常生活からの逃避でもある。分かりやすい解説で、周囲を見渡してもその説にあてはまるような事例を見いだすことができる。しかし、果たしてそうなのだろうか。そうだとすると、どのような家庭環境、友人環境のもとで、そのような現象が生じるのだろうか。また、人間関係の希薄性は、青少年の性を含めた生き方に関する意識などにどのような影響を与えるのだろうか。あるいは、どのような環境がどのようなメカニズムで青少年をセックスへと走らせるのか、が明らかにされなければならない。

10代は葛藤や苦悩の多い時期である。自我はまだ発達段階にあり、不確定な要素が多いために、自分は一体、何者であるのかとの問いが、常に他者との関係や自分との対話のなかで繰り返される。性は私たちの人間としての存在意義を最も根源的に象徴するものである。自分はどのようなものを欲し、それをどのように相手に伝え、どのようにして相手と関係性を結ぶのか。若者に限らず多くの人々にとっての悩みの種でもある。そういう意味では、青少年の性に焦点をあてた本調査は極めて有意義であると言えよう。それは青少年が生きていく上での指針ともなるだろうし、また青少年と関わる多くの大人たちにとっ

ても、青少年のことをよりよく理解したうえで、かれらとどのように接すべきか、あるいは助言すべきか、などの多くの示唆が得られるものとなるだろう。

以上のことをふまえ、本報告書は、つぎの三つの課題を自らの仕事とする。一つ目は、今日の若者の性に関する意識と行動の実態を客観的に掴むこと。二つ目は、どうしてそうなっているのかという要因分析、例えば青少年の性行動の早期化・活発化はどのような状況で起こっているのか、情報化社会とどのように関わるのか、また友人や家族との関係でいかに異なってくるのかなどの分析を行なうこと。そして三つ目は、今後の青少年の性意識・性行動に関する啓発や、家庭、地域、学校での青少年の健全育成のための示唆を提供することである。



## 第2章 調査の概要

### 1. 調査の概要

#### 調査内容

調査内容は、以下のとおりである。

性に関する意識(性のイメージ、位置づけ、性規範、男女の性のあり方についての意識)・行動(マスターベーション、性交、性感染症の予防、避妊)、性意識・性行動と関連すると考えられる要因としての情報化社会の影響(情報機器の所持、メディアとの接触、出会い系サイトの利用)、人間関係(友人関係や家庭環境など)、および若者の価値観・心理的状態。

#### 調査地域

兵庫県全域

#### 調査対象者

兵庫県下の県立高校全日制(一部定時制を含む)在学の高校2年生

#### 調査対象者の抽出方法

兵庫県公立高等学校長協会の7地区に配分した。対象校の選定は校長協会第七専門委員会に一任し、普通科、職業科の両方を選ぶように依頼した。

#### 調査方法

学校を通して、調査票を配布し、回収した。

#### 調査時期

2002年9月

#### 回収状況

配布数 5,494、有効回収数 2,961、有効回収率 53.9%。具体的な調査地域ごとの回収率や学校種類別の回収率は、表 2-1-1 のとおりである。

表 2-1-1 調査地域別のサンプリング配布と回収状況

地 域	県立 高校数	全日制高2 生徒数	学校種類 普通科 / 職業科	対象 生徒数	配布数	有効 回収数	有効 回収率
神 戸	24	6,273	1 / 2	1,058	1,042	398	38.2
阪 神	33	7,400	4 / 1	1,425	1,402	748	53.4
丹 有	10	2,585	2 / 0	511	503	222	44.1
東播磨	31	8,964	2 / 1	1,020	889	398	44.8
西播磨	31	6,349	3 / 2	1,085	1,077	738	68.5
但 馬	15	2,135	1 / 0	154	154	98	63.6
淡 路	8	1,412	2 / 0	435	427	359	84.1
合 計	152	35,118	15 / 6	5,688	5,494	2,961	53.9

注：全日制高2生徒数は2002年5月1日現在、地域区分は兵庫県公立高等学校長協会の地域区分による。

#### 分析手続き

統計処理は、SPSS10.0 J for Windows を用いて行なった。

百分率で集計した結果を示す際に、まるめのために合計が100.0%にならない場合がある。

#### 統計用語の表記

本調査では、結果分析の箇所では、統計的な検討を実施し、次のような表記を随所で用いているが、その表記の意味を簡単に記しておく。

「 $p < .05$ 」は偶然に生起する確率が100回中に5回も生じないことを意味し、統計的には100回中に5回以下の生起は、めったに生じないとして、意味のあること、有意として扱うことになっている。「 $\chi^2$ 」は、カイ二乗検定におけるカイ二乗値を、「F値」は、平均の差の検定におけるF値を、「n」はケース数を示す。

## 2. 回答者の基本属性

回答者の性別の割合は、男子が全体の45.4%、女子が54.6%となっている。

表 2-2-1 対象者の性別

	人数	%
男子	1,293	45.4
女子	1,558	54.6
合計	2,851	100.0

無回答 110 人

学校種類別では、職業科が全体の 39.2%、普通科が 60.8%を占める。

**表 2-2-2 学校の分類**

	人数	%
職業科	1,161	39.2
普通科	1,800	60.8
合計	2,961	100.0

家族住居形態に関しては、表 2-2-3 に示したように「親・兄弟と同居」している人が最も多く、全体の 57.6%を占める。その次に多いのは「祖父母・親・兄弟と同居」している人で 23.8%、「一人暮らし」はわずか 0.3%である。以上の分類に入らない「その他」の人は 18.4%である。

**表 2-2-3 家族住居形態**

	人数	%
1人暮らし	8	0.3
親・兄弟と同居	1,645	57.6
祖父母・親・兄弟と同居	679	23.8
その他	526	18.4
合計	2,858	100.0

### 3 . 分析の枠組み

#### ( 1 ) 分析の枠組み

本調査は、主に若者の性意識（性のイメージ、セックスの位置づけ、性規範と男女の関係性）と性行動（マスターベーション・セックスの経験率、初交年齢、性交の経験人数と避妊・中絶・性感染症）を見ていく。そして、若者の性意識と性行動は、対象者の属性（性別、居住地域）、家庭環境・友人関係、また若者の価値観・心理的状态（退屈感、虚無感、徒労感、享楽感）および性の情報源などによって異なっているか否かを見ていく。

分析の枠組みは、図 2-3-1 に示したとおりである。

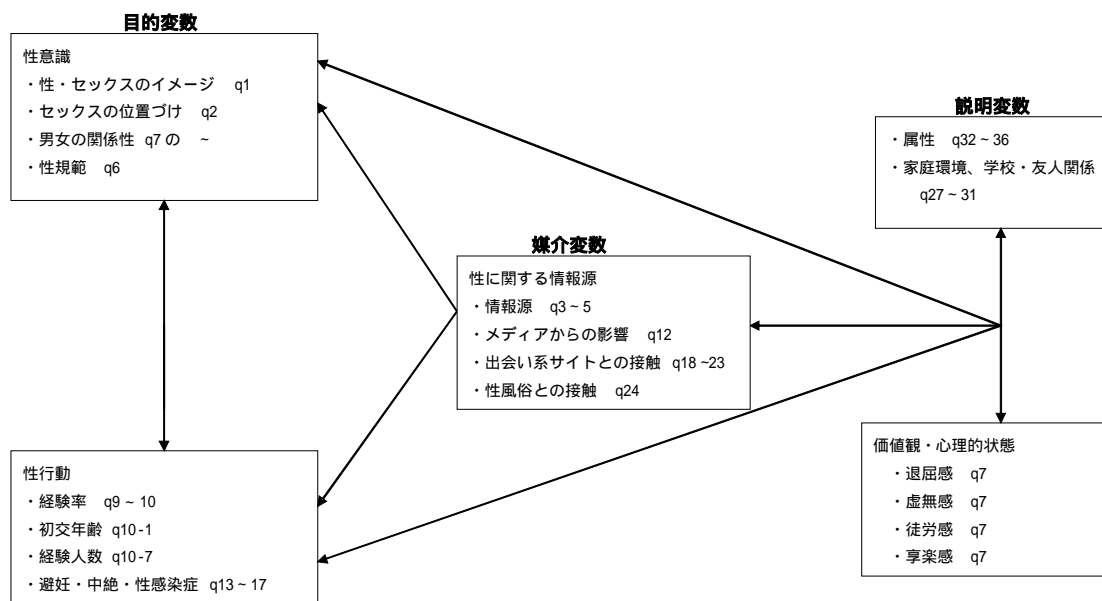


図 2-3-1 分析の枠組みのフォローチャート図

## (2) 本報告書の構成

本報告書は、8章によって構成されている。第1章では調査の背景や目的、第2章では調査の概要、第3章では男子生徒と女子生徒の性の意識と行動の違いを紹介する。第4章では情報化社会が青少年の性にどのような影響を及ぼすかを扱う。そのなかでも情報機器の個人化、メディアの影響と出会い系サイトの利用を取り上げる。第5章では友人・家族関係と若者の性との関連に焦点をあて、若者を取り囲む重要な他者の持つ影響力を見ていく。また友人の性的な経験は直接に若者の性の意識と行動にどのような影響を与えるか、そして友人関係と家族関係は、若者の性にどのような影響を及ぼすかを見ていく。第6章では若者の価値観、経験などを取り上げる。まず若者の価値観は彼らの性の意識や行動といかに関連するのか、また若者の価値観は、彼らを取り囲む人間関係によってどのように異なってくるのか、そして若者の性行動と性意識は、互いにどのように影響しあうのか、さらに性教育のあり方と若者のニーズを取り上げる。第7章では若者の自由回答から若者の生の声を紹介する。第8章ではまとめと考察を扱う。

## 4. 分析結果の要約

### (1) 男の性と女の性・・・(第3章)

#### ・性規範 8割以上の若者が「高校生のセックス」を受容している

男子の85.6%、女子の83.6%が「高校生のセックス」を受容している(=「かまわない」+「どちらかといえばかまわない」)。「愛のないセックス」を受容する男子は27.6%、女子は10.1%、「金銭がらみのセックス」を受容する男子は15.0%、女子は7.7%、「恋人以外の人とのセックス」を受容する男子は18.6%、女子は9.3%である。

#### ・性交経験 女子の34.8%、男子の28.6%が性交経験がある

性交の経験があると答えたのは、女子34.8%、男子28.6%で、女子のほうが多い。

#### ・初交の相手の年齢 男子は「自分と同じ年」「自分より年下」が多いが、女子は「自分と同じ年」「自分より年上」が多い

初交の相手の年齢に関しては、73.9%の男子の相手が「自分と同じ年」であるのに対し、女子生徒の相手は「自分と同じ年」の人は51.2%、「自分より年上」の人が46.6%である。

#### ・初交のイニシアティブ 男子のほうがイニシアティブを取るケースが多い

「初めてセックスを経験したとき、どちらから要求しましたか」という質問に対し、男子生徒では、「どちらともいえない。自然に」と答えた人が48.1%、「自分から言葉や態度で」39.6%である。女子生徒では、「相手から言葉や態度で」と答えた人が64.3%、「どちらともいえない。自然に」34.5%である。男子のほうが初交のイニシアティブを取るケースが多い。

#### ・初交の評価 男子の7割強は「経験して良かった」と評価するが、女子の半数近くは積極的に評価しない

男子生徒の73.7%が「経験して良かった」と評価しているが、女子生徒は52.6%となっている。また、女子のうち、「どちらともいえない」と回答する人は33.5%、「経験しなければよかった」は13.9%となっており、この両者を合わせると女子全体の47.4%を占める。初交を積極的に評価していない女子は半数近くを占めている。

### (2) 情報化社会と若者の性・・・(第4章)

#### ・若者の性の情報源 友人とメディアに大きく偏っている

「普段、あなたは性・セックスについての情報を、だれから得ていますか」と「普段、あなたは性・セックスについての情報を、どこから得ていますか」をそれぞれ聞いた。前者の質問に対して、男子の70.4%と女子の69.0%が「友人」をあげている。後者の質問に対

して、男子生徒の 47.2%は「アダルトビデオ」、33.3%は「アダルトグラビア誌」、27.3%は「ヤングコミック誌」をあげている。女子生徒の 45.8%は「少年・少女マンガ」、24.4%は「テレビドラマ」、22.9%は「女性誌」をあげている。男女の間に大きな違いが存在し、男子は風俗情報メディアに大きく依存する傾向が見られる。

#### ・アダルトビデオ等の持つ大きな影響力

男子生徒の 40.2%が「アダルトビデオや雑誌などでしているようなセックスをまねしたことがある」と回答し、26.1%の人が「まねしようと思ったが、しなかった」と回答している。女子では 24.5%の人が実際に「まねしたことがある」と回答し、6.5%の人が「まねしようと思ったが、しなかった」と回答している。

#### ・アダルトビデオ等の模倣者とそうでない者には相違がある

アダルトビデオ等の模倣者には男女ともに性交の経験人数が多く、避妊法として膈外射精を用いる人が多い。そして、アダルトビデオ等でのセックスを模倣する女子は性感染症の感染率、望まぬ妊娠の中絶率が高い。

#### ・4人に1人は出会い系サイトを利用している

女子の 26.4%、男子の 18.7%が出会い系サイトを利用した経験がある。利用者のうち、女子の 50.8%、男子の 42.0%が出会い系サイトで知り合った人と会ったことがあると答えている。

#### ・出会い系サイトの被害状態 5.5%の男子利用者、5.1%の女子利用者がトラブルに巻き込まれた

実際に「トラブルに巻き込まれた」と答えた者は出会い系サイトの利用者の 5.2%、「迷惑メールでイヤな思いをした」と答えた者は 10.4%である。被害状況に関しては、男女の間で実際に「トラブルに巻き込まれた」と答えた者の割合は大きく違わないが、女子では「迷惑メールでイヤな思いをした」と答えた者が多く、利用者の 12.3%（男子 6.8%）である。

#### ・出会い系サイトの利用者の性行為が活発である

出会い系サイトの利用者は男女ともに性交の経験率が高く、性交の経験人数も多い。

#### ・避妊法と性感染率は、出会い系サイトの利用者としていない者に相違がある

出会い系サイトの利用者には「膈外射精」、「月経から日数を数える」というような不確実な、あるいは間違った避妊法を用いる者が多く、女子は性感染症の感染率が高い（利用者の感染率 6.3% vs 非利用者の感染率 3.3%）。

### (3) 友人・家族関係と若者の性・・・(第5章)

#### ・友人の性的な行動や経験が気になる 男子の59.7%、女子の65.6%が気になる

男子の59.7%、女子の65.6%が「友人の性的な行動や経験が気になる」と答えている(=「非常に気になる」+「少しは気になる」)。

#### ・仲間集団が若者の性を刺激する

初交年齢の遅い人ほど、性交の経験人数の少ない人ほど、友人の性的な行動や経験が気になる傾向が強い。

#### ・友人関係と若者の性に関連が見られる

友人との関係がうまくいっていない者ほど、初交年齢が低く、経験人数が多い。セックスを「快樂」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」と位置づける者が多い。

#### ・家庭環境と若者の性に関連が見られる

家族との関係がうまくいっていない生徒ほど、セックスの経験率が高く、経験人数が多い。また、セックスを「快樂」「ストレス解消」と位置づけている者が多い。そして、友人との関係や家族との関係がうまくいっていない者には、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。

### (4) 若者の価値観・経験と性・・・(第6章)

#### ・価値観が性意識・性行動に影響する

退屈感、享楽感、虚無感と徒労感の強い者ほど、セックスを「快樂」「征服欲を満たすもの」と位置づけ、セックスを早い時期に体験し、多くの人と性交渉を持つ。さらに、このような価値観を強く持つ者ほど、出会い系サイトの利用や援助交際を行なう傾向もある。

#### ・価値観と人間関係に相関がある

友人関係、家庭環境と学校が楽しくないと思う者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。

#### ・性体験に積極的な人は、様々なセックスを肯定する

初交年齢の早い者ほど、経験人数の多い者ほど、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」等を受容する者が多く、セックスを「快樂」「ストレス解消」と捉える傾向が見られる。

#### ・性・セックスについての若者のニーズ 何を知りたいか

若者は性・セックスについて何を知りたいかについて調べた。最も多くの者が知りたいのは、「男性と女性の心理や行動の違い」「性感染症のこと」「異性との交際の仕方」などである。また、男子では女子より「異性との交際の仕方」「セックスの方法」について、多くの者が知りたいと思っている。女子では男子より「性感染症のこと」「避妊の方法」、また「悩みの相談にのってくれるところ」について、多くの者が知りたいと思っている。

#### ・性・セックスについての若者のニーズ 知識・情報をどこで得たいか

性に関する知識や情報を今後どこで得たいかを調べたところ、男女ともに多いのは、「友達」「本」である。その次に男子生徒に多いのは、雑誌、テレビ、ビデオ、先輩とインターネットである。女子生徒に多いのは、雑誌、テレビである。また学校の先生からそのような情報を得たいと思っている生徒は、男女ともに 12%以上である。しかし、親から得たいと思っている生徒は、わずか 4~5%程度で少ない。

#### ・25.2%の人が性感染症を気にしない

エイズや性感染症のことが気になると答えた者が 74.9% (=「非常に気になる」+「少しは気になる」)、気にならない者は 25.2%である。妊娠のこととなると、気になる者が 87.3%となり、それでも 12.7%の者が気にならないと回答している。この二つの質問に対して、男女の間に大きな違いは見出せなかった。

#### ・避妊をいつもしている者は半数弱である

避妊を「いつもしている」と答えた者は 47.9%、「場合による」と答えた者は 43.7%である。「いつもしていない」と答えた者も 8.3%である。

#### ・避妊をしていても確実ではない

実際に避妊を実行している者にその方法を聞いたところ、最もよく用いられる避妊法はコンドームである。しかし、「膣外射精法」をとっている者も男子で 35.0%、女子で 36.7%となっている。また、「月経から日数を数える」方法をとっている者も男子で 15.1%、女子は 17.9%となっている。

#### ・2割近くの人が性感染症に感染しているかどうか分からない

性感染症の感染率は 4.5%である。しかし、感染しているかどうか分からないと答えている者が男子で 18.4%、女子で 19.0%となっていることから、性感染症の感染率は、4.5%よりは高いことが予測される。中絶した(させた)ことがある者は、男子で 4.8%と女子で 2.8%となっている。



## 第3章 男の性と女の性

### 1. 全体像

性意識では、性・セックスのイメージに関して男子は「よい」「楽しい」と思う者が多いが、女子は「恥ずかしい」と思う者が多い。セックスの位置づけに関しても、男子は「快楽」「征服欲を満たすもの」「ストレス解消」と捉える者が多いが、女子は「愛情表現」と捉える者が多い。また、性規範に関しては、男子生徒のほうが女子生徒よりいずれの規範も受容する者が多い。さらに、性関係における男女のあり方について、男子生徒には男性のレイプ願望と女性のレイプされたい願望を肯定している者が多い。

女子生徒のセックスの経験率は、男子生徒のそれより高い。男子生徒は、初交のイニシアティブを取り、「自分と同じ年」「自分より年下」の人と付き合う者が多い。女子は「自分より年上」「自分と同じ年」の人と付き合う傾向がある。また、初交への評価については、男子生徒は初交を肯定している者が多いが、女子では初交を肯定しない者も約半数を占める。

### 2. 性についての意識の男女差

#### 性・セックスのイメージ

若者が性・セックスについて、どのようなイメージを持っているのかを知るために、性・セックスは「楽しい」「よい」「汚い」「軽い」「恥ずかしい」「暗い」の6項目を取り上げ、それぞれ「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢を設けた。男女ともに、性・セックスを「よい」「楽しい」と思う者は7割前後、「恥ずかしい」と思う者は4割前後、「汚い」「軽い」「暗い」と思う者は1割前後となっている。

そして男子生徒には、性・セックスは「よい」「楽しい」「暗い」と思う者が多い。女子生徒には性・セックスは「恥ずかしい」と思う者が多い。以上の傾向は、すべて統計的に有意である。

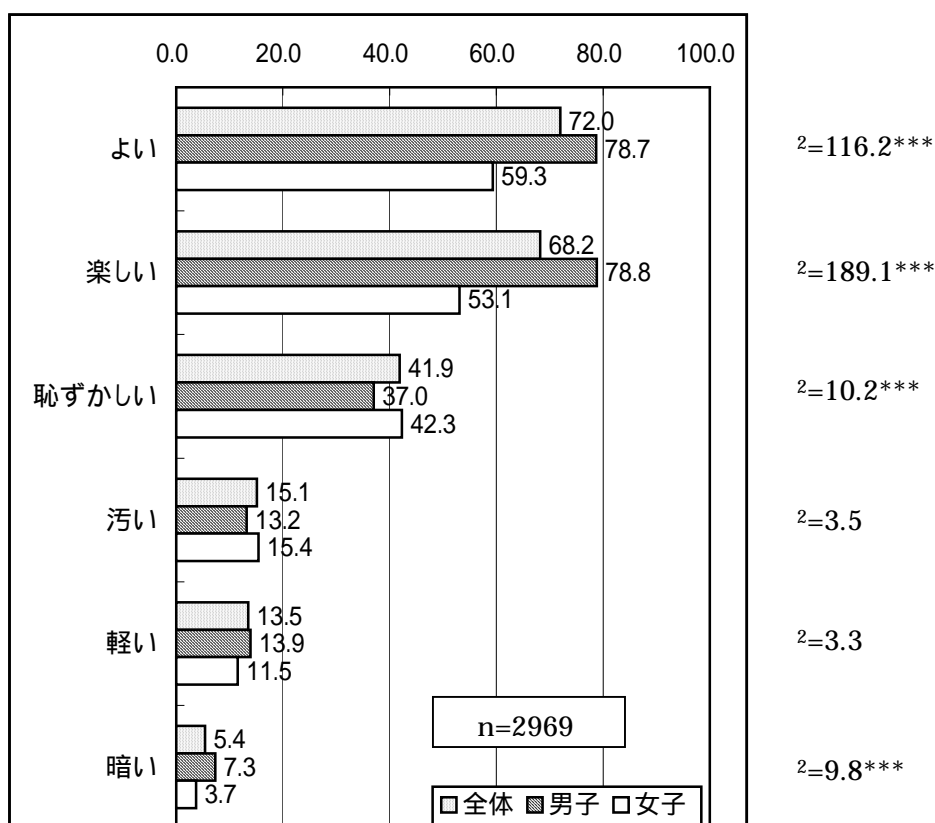


図 3-2-1 性のイメージ % (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

注: \*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### セックスの位置づけ

若者がセックスをどのように位置づけているかを知るために、「あなたにとって、セックスとはどういうものですか」という問いを用い、「愛情」「ふれあい」から「不快・苦痛」「自分と関係ないもの」までの 11 項目から多重選択してもらった。その結果を図 3-2-2 に示した。

全体的に、男女ともにセックスを「愛情表現」「子どもを作るための行為」「ふれあい」と位置づける者が多く、「不快・苦痛」「義務」「自分と無関係」と位置づける者は少ない。

セックスを「子どもを作るための行為」「ふれあい」「安らぎ」と捉えている点は、男女で一致しているが、男女の間で異なる点もいくつか見られる。

男子生徒では、セックスを「快楽」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」「義務」と捉える者が多い。女子生徒では、セックスを「愛情表現」「不快・苦痛」と捉える者が多い。以上の傾向は、すべて統計的に有意である。

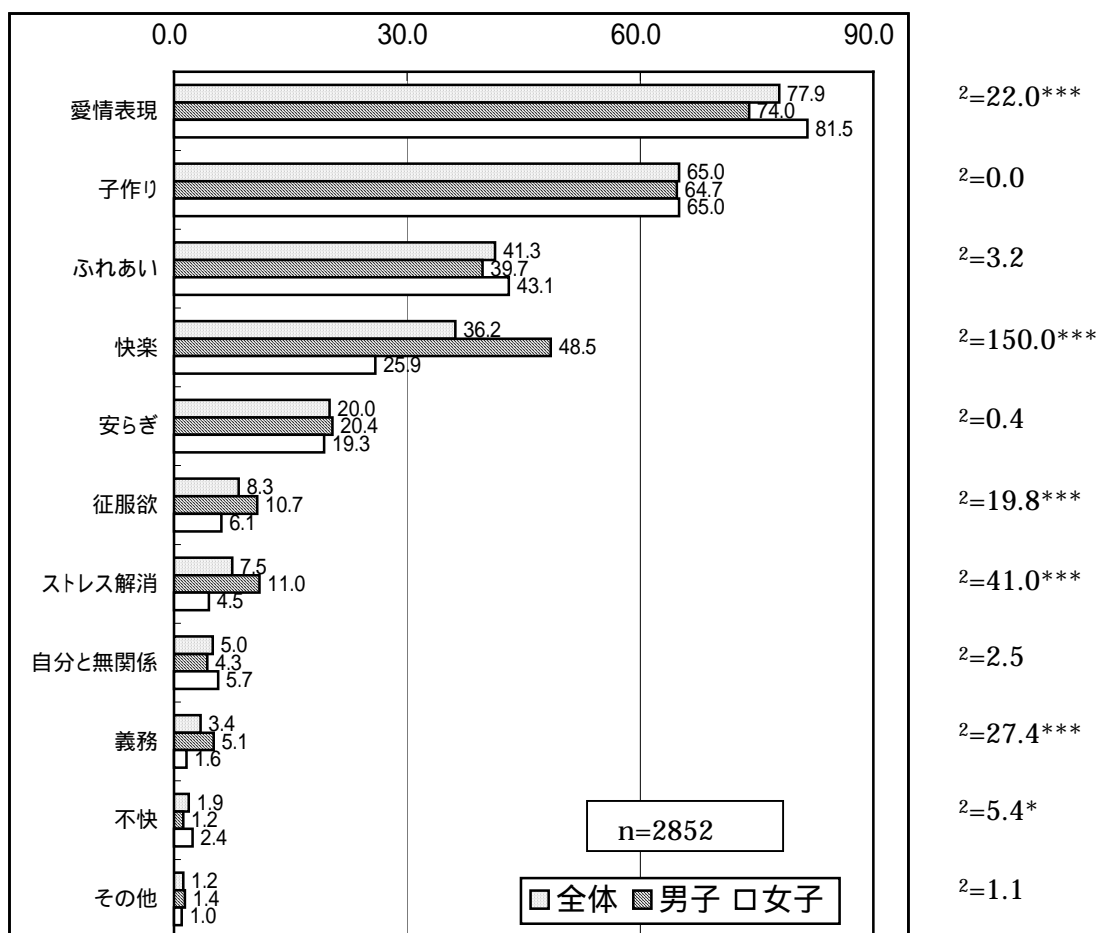


図 3-2-2 セックスの位置づけ % (「そう思う」)

注：\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .005$

### 性規範

若者の性規範を知るために、「高校生がセックスをすること」(以下、「高校生のセックス」と略す)、「愛情がなくてもセックスをすること」(「愛のないセックス」と略す)、「お金をもらったりあげたりしてセックスをすること」(「金銭がらみのセックス」と略す)、「恋人のいる人が、恋人以外の人とセックスをすること」(「恋人以外の人とのセックス」と略す)の4項目を取り上げ、それぞれ「かまわない」から「よくない」の4つの選択肢を設けた。

図 3-2-3 に示したように、性規範の4項目について、「高校生のセックス」を男女とも8割以上の者が受容し、男女の間に統計的な差異はなかった。他の「愛のないセックス」「金銭がらみのセックス」「恋人以外の人とのセックス」に関しては、全体的に受容している者が少ないが、男子生徒のほうが女子生徒より、それらの規範を受容している者が多い。

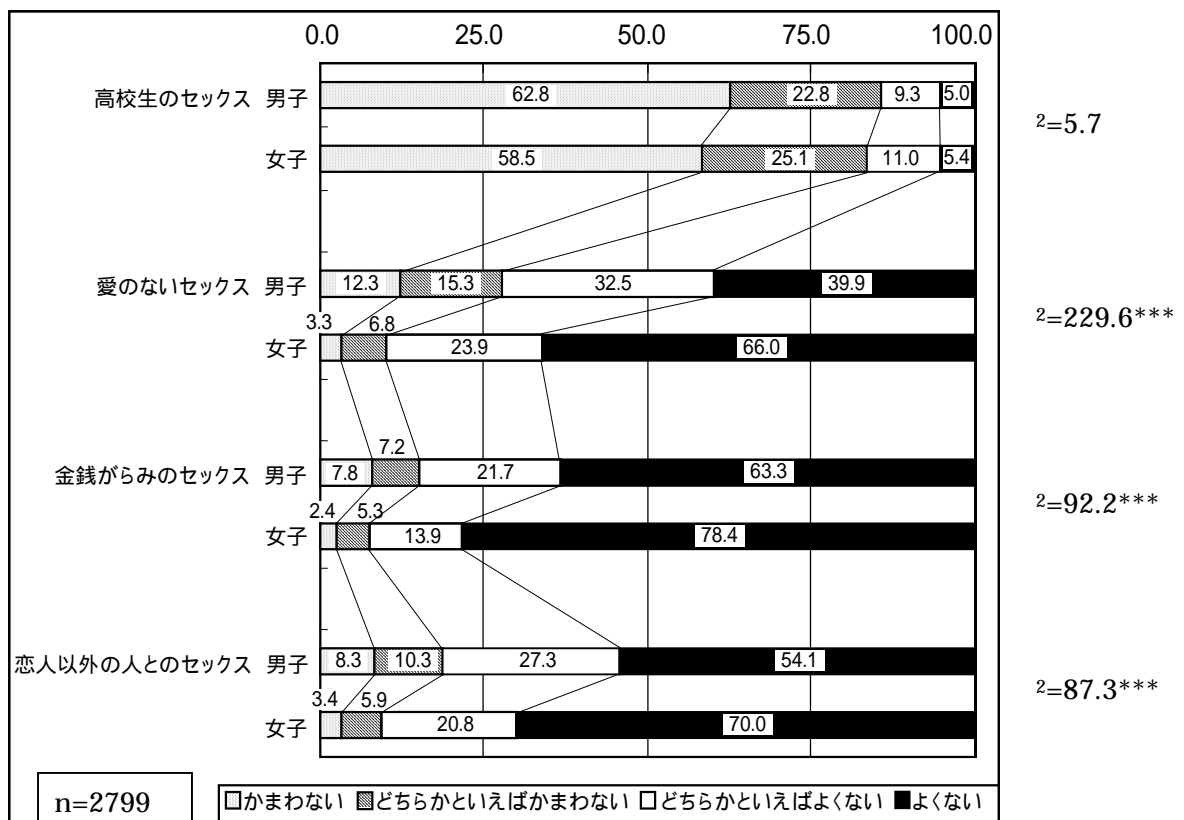


図 3-2-3 男女別の性規範 ( % )

注 : \* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

### 性関係における男女のあり方

性関係における男女のあり方を知るために、男性の主導性と女性の受動性、また男性のレイプ願望と女性のレイプされたい願望について、どう思うかを調べてみた。

図 3-2-4 に示したように、男子の 5 割強、女子の 6 割弱は、性関係で男性はリードすべきだと考えており、また男女とも 3 割弱の者は、女性が従うべきと考えている。さらに、4 割前後の男女は、男性にはレイプ願望があると考え、1 割前後の者は女性にレイプされたい願望があると考えている。

また、男性のレイプ願望と女性のレイプされたい願望に関しては、いずれも男子のほうが肯定する者が多い。

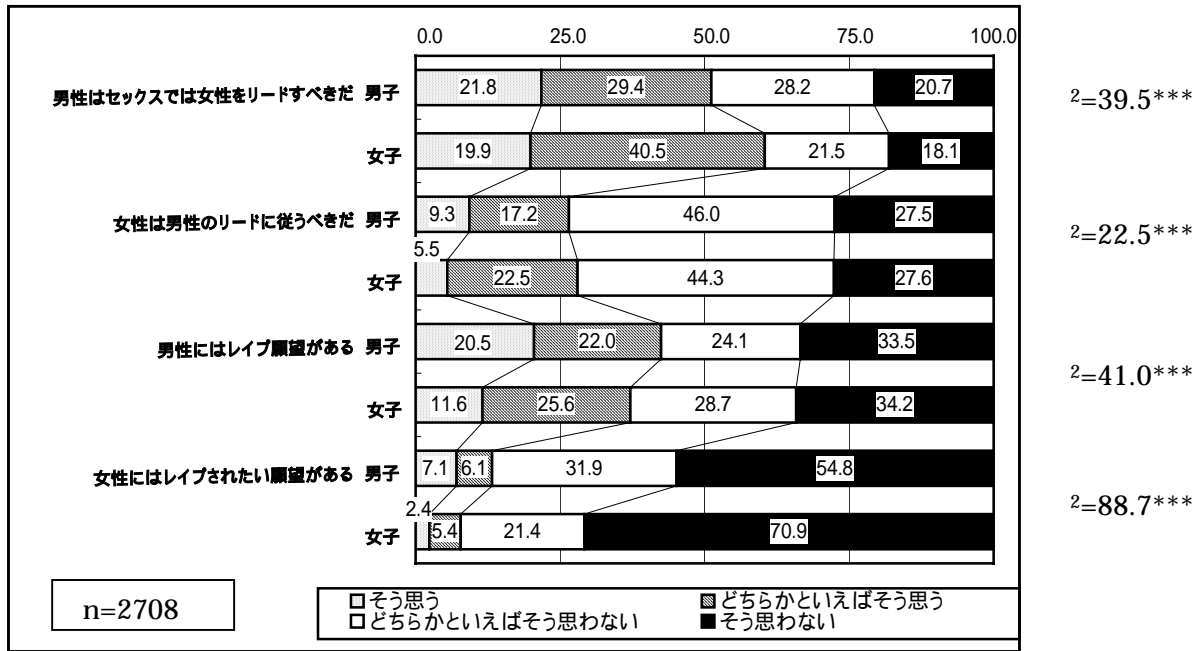


図 3-2-4 性関係における男女のあり方

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### 3. 性行動の男女差

#### マスターベーション、性交の経験率

マスターベーションに関しては、男子生徒の経験率が高い。男子生徒の 84.4%と女子生徒の 19.7%がマスターベーションをしたことがあると答えている。しかし、「言葉の意味が分からない」と答えた者が女子で多く、18.2%いる（男子では7.6%）。

性交に関しては、逆に女子生徒のほうが経験率が高い。図 3-2-5 に示したように、女子の 34.8%と男子の 28.6%はセックスをしたことがあると答えている。

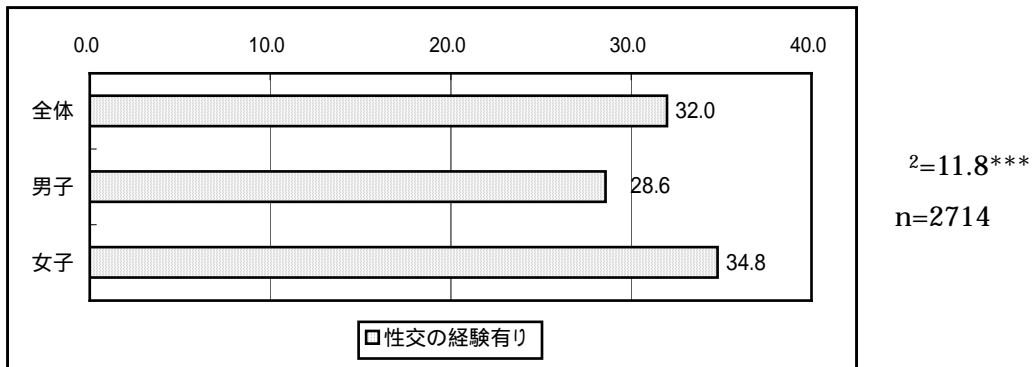


図 3-2-5 性交の経験率 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また初交年齢は、男女ともに15歳と16歳が多いが、女子生徒の約半数は16歳に集中している(図3-2-6)。そして、その相手との関係は8割の者が恋人であった。また、相手の年齢については図3-2-7に示したように、7割以上の男子生徒の相手が「自分と同じ年」であるのに対し、女子生徒の相手は「自分と同じ年」の者は51.2%、「自分より年上」の者が46.6%となっている。女子は「自分と同じ年」か「自分より年上」の者と付き合う傾向が見られる。

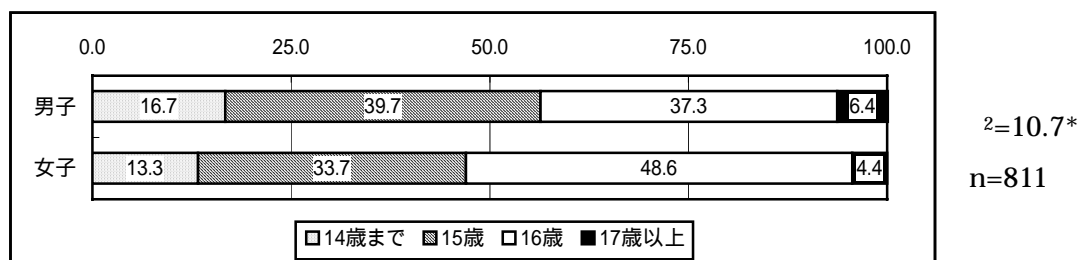


図3-2-6 男女別の初交年齢

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

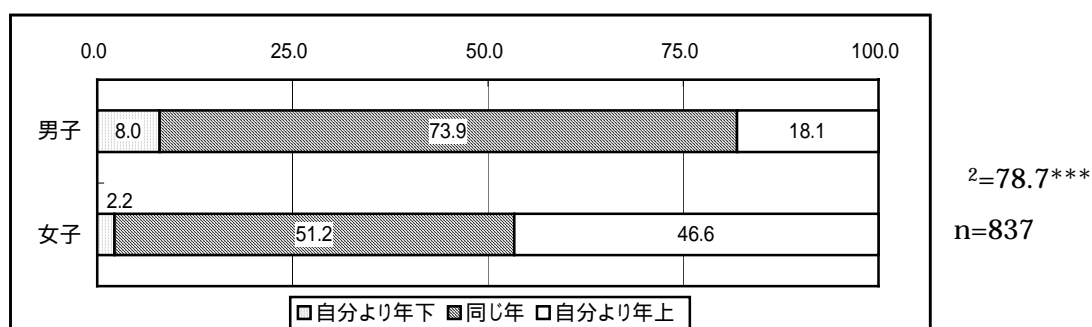
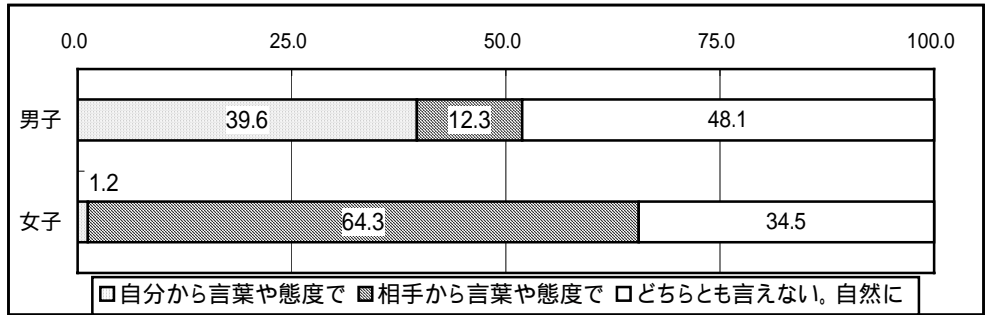


図3-2-7 男女別の初交相手の年齢

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### イニシアティブ

初交をするとき、どちらがイニシアティブを取っているかを知るために、「初めてセックスを経験したとき、どちらから要求しましたか」という質問を用い、「自分から言葉や態度で」「相手から言葉や態度で」「どちらともいえない。自然に」という3つの選択肢を用意した。図3-2-8に示したように、男子生徒では「どちらともいえない。自然に」と答えた者は48.1%、「自分から言葉や態度で」と答えた者は39.6%である。女子生徒では「相手から言葉や態度で」と答えた者は64.3%、「どちらともいえない。自然に」と答えた者は34.5%となっており、男子学生がイニシアティブを取るケースが多い。



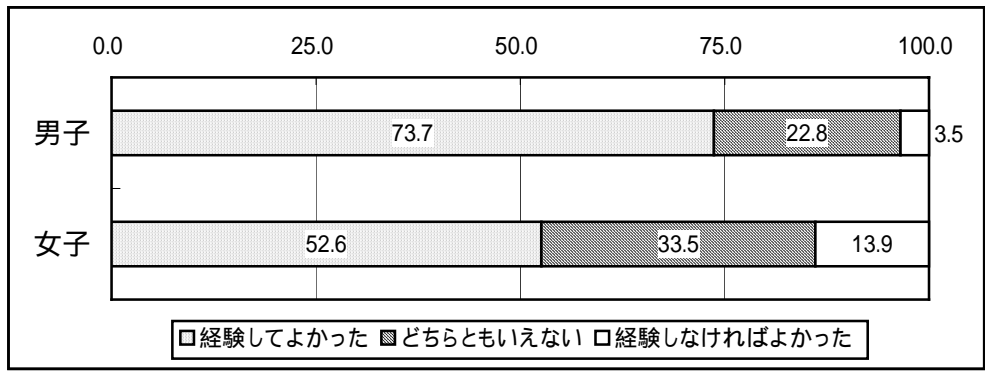
$\chi^2=312.7^{***}$   
n=837

図 3-2-8 初交のイニシアティブ

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

初交への評価

初交への評価に関しては、男女で大きく異なっている（図 3-2-9）。男子生徒の 73.7%が「経験して良かった」と評価しているが、女子生徒では 52.6%となっている。また、女子のうち、「どちらともいえない」と回答する者は 33.5%、「経験しなければよかった」は 13.9%となっており、この両者を合わせると女子全体の 47.4%を占める。初交を積極的に評価していない女子は半数近くを占めている。



$\chi^2=45.2^{***}$   
n=840

図 3-2-9 初交への評価

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

どうしてそのように感じたのか、その評価の理由を調べた。図 3-2-10 に示したように、男女とも「好きな人と深い関係になれた」「相手から愛情を感じた」と答えている者が多い。しかし、男子生徒の 52.6%は「気持ちよかった」と答える者が多いのに、女子生徒ではわずか 15.8%である。反対に女子では「気持ちがよくなかった」と答えている者が 19.8%も占めている。

相手との関係が深まることを評価していることは男女で共通するが、身体的な感覚は男女で異なるようだ。

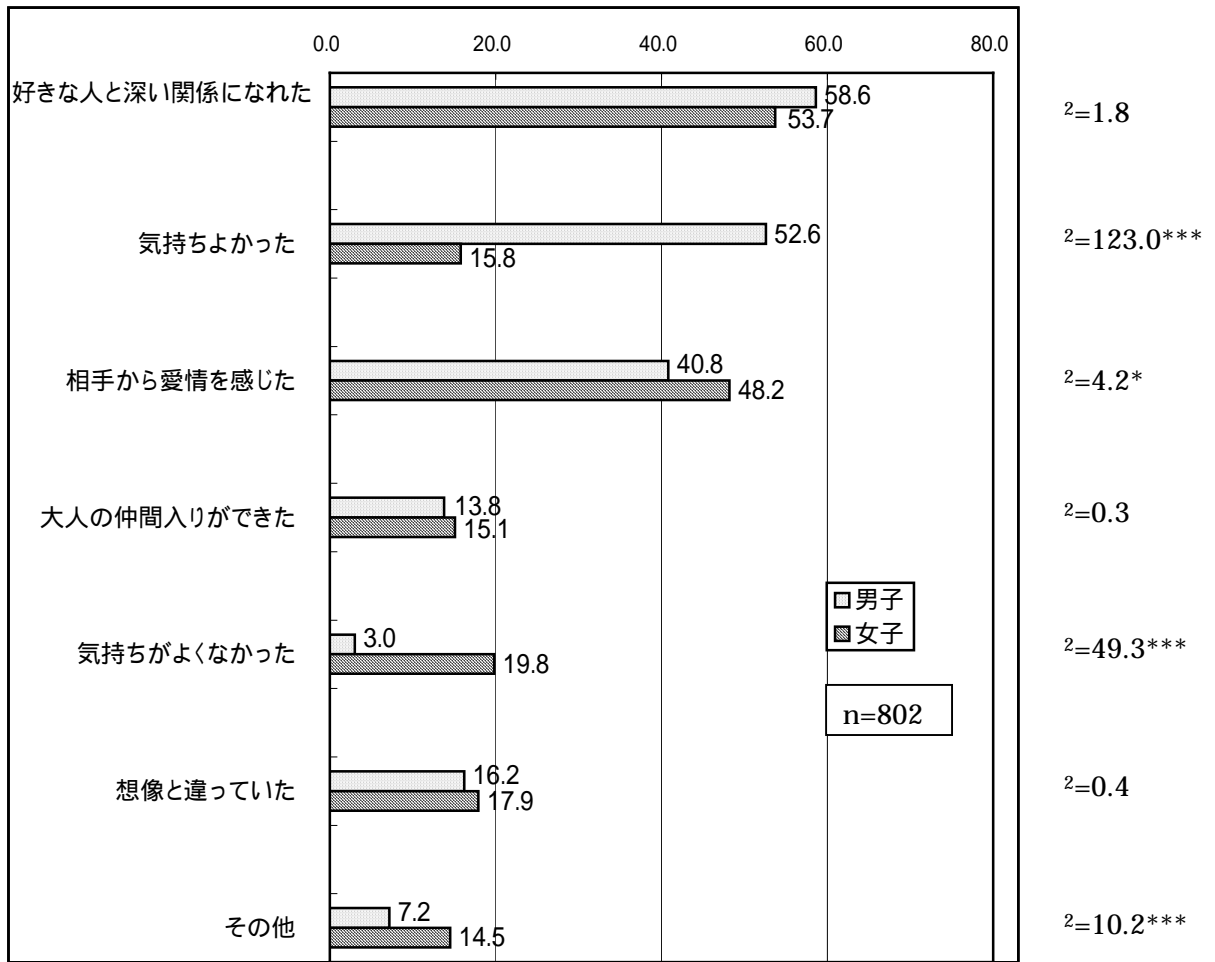


図 3-2-10 初交についての評価理由

注：\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .005$

ここまで見てきたように、性意識と性行動は男女で大きく異なっている。このような違いは生徒の居住地の違い（市部か郡部）によっても見られるかどうかを分析した。しかし、性意識に関しても性行動に関しても、ほとんど違いは見出せなかった。



## 第4章 情報化社会と若者の性

### 1. 全体像

若者の性の情報源は、友人とメディア（男子ではアダルトビデオ、女子では少女マンガ）に大きく偏っている。

そこで情報機器の個人化と若者の性意識・性行動との関連を調べてみた。テレビ・ビデオデッキを持つ生徒は、そうでない生徒との間に性意識も性行動も大きく異なっている。テレビやビデオデッキを持つ生徒のほうがアダルトビデオとの接触が多く、アダルトビデオで描かれているセックスから多くの影響を受けていることが検証された。

さらに、アダルトビデオや雑誌で描かれているセックスをまねする者とそうでない者の性意識・性行動の違いを分析したところ、前者のほうが性・セックスを「楽しい」「よい」「軽い」ものと捉え、セックスを「快樂」「安らぎ」「ストレス解消」と位置づける者が多い。また、前者のほう（特に女子）は「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者や、男性のレイプ願望と女性のレイプされたい願望を肯定する者が多い。性行動に関しては、アダルトビデオ等で描かれているセックスをまねする者のほうがセックスの経験人数が多いことが確認された。また、彼らには避妊をしない者、膣外射精という避妊法をとっている者が多い。彼らの避妊法と関連して、女子ではアダルトビデオ等で描かれているセックスをまねする者は性感染症の感染率と中絶率が高いことも確認された。

情報化と若者の性との関連で最近大きな話題を呼んでいるのは、出会い系サイトである。出会い系サイトの利用状況を確認し、利用者とそうでない者の、性意識と性行動の違いを分析した。利用者のほうがセックスの経験率が高く、セックスの経験人数が多い。そして、利用者は性・セックスを「楽しい」「よい」「軽い」と思う者が多く、「暗い」と思う者が少ない。彼らはセックスを「愛情表現」「ふれあい」「安らぎ」と位置づけると共に、「快樂」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」とも位置づけている。また、利用者のほうが「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」のいずれも受容する者が多いことが分かった。

### 2. 情報機器の個人化と若者の性

#### (1) 情報機器の所持と性意識

##### 性の情報源

若者がどこから性に関する知識や情報を得ているのかを知るために、「普段、あなたは性・セックスについての情報を、誰から得ていますか」と「普段、あなたは性・セックスについての情報を、どこから得ていますか」という2つの質問を設けた。

まず、「誰から」に関しては、図 4-2-1 に示したような 7 つの項目をあげ、誰から性・セックスについての情報を得ているのかを、多重選択してもらった。男子生徒の 70.4%と女子生徒の 69.0%が「友人」をあげている。その次に、男子生徒は「先輩」(24.5%)、女子生徒は「学校の先生」(17.8%)をあげている。「特になし」と答えている者も男女ともに 24%弱いる。また、「親から」と答えている者は男子で 3.0%、女子で 5.7%と極めて少なく、親は高校生たちからそれほど影響力のある情報源として認識されていないようである。

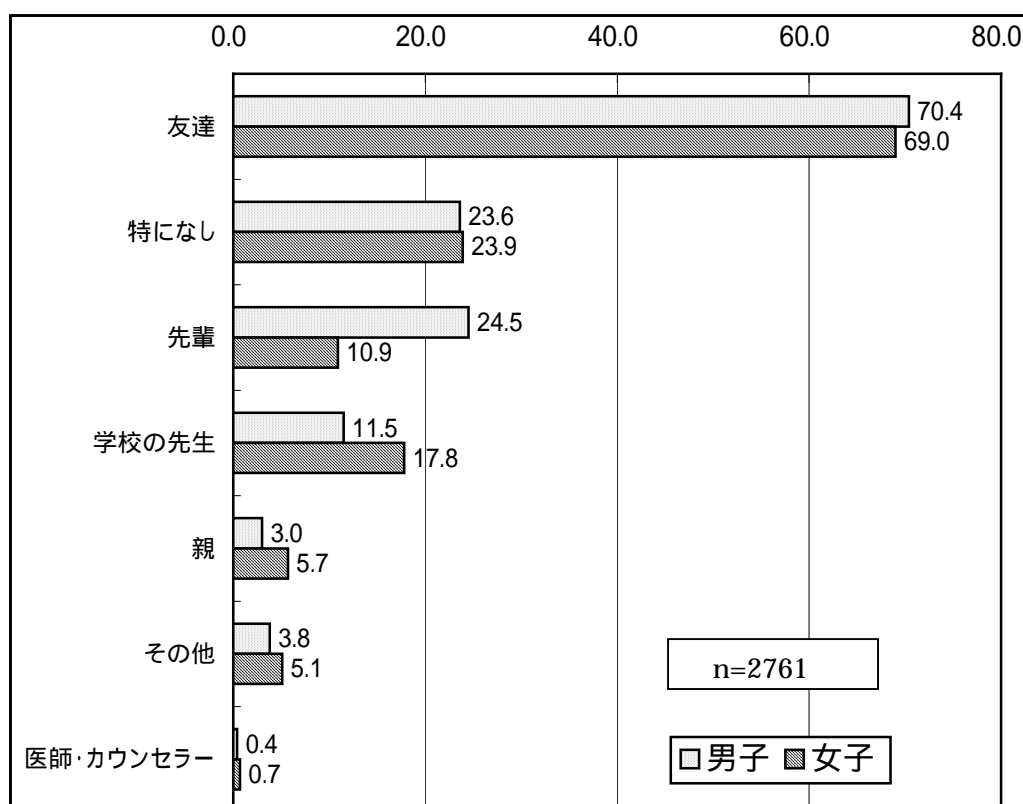


図 4-2-1 性の情報は誰から得ているか (%)

次に「どこから」に関しては、図 4-2-2 に示したような 12 項目をあげ、性・セックスの情報をどこから得ているのかを、多重選択してもらった。男子生徒の 47.2%は「アダルトビデオ」、33.3%は「アダルトグラビア誌」、27.3%は「ヤングコミック誌」をあげている。女子生徒の 45.8%は「少年・少女マンガ」、24.4%は「テレビドラマ」、22.9%は「女性誌」をあげている。男女の間に大きな違いが存在し、男子は風俗情報メディアに大きく依存する傾向が見られる。

全体的に若者の多くは友人から性に関する知識を学習し、それとともに男子では風俗メディア、女子では雑誌やドラマから性知識を得ている。しかし、同年代の友人とこれらのメディアは若者にどのような知識と情報を与えているのだろうか。

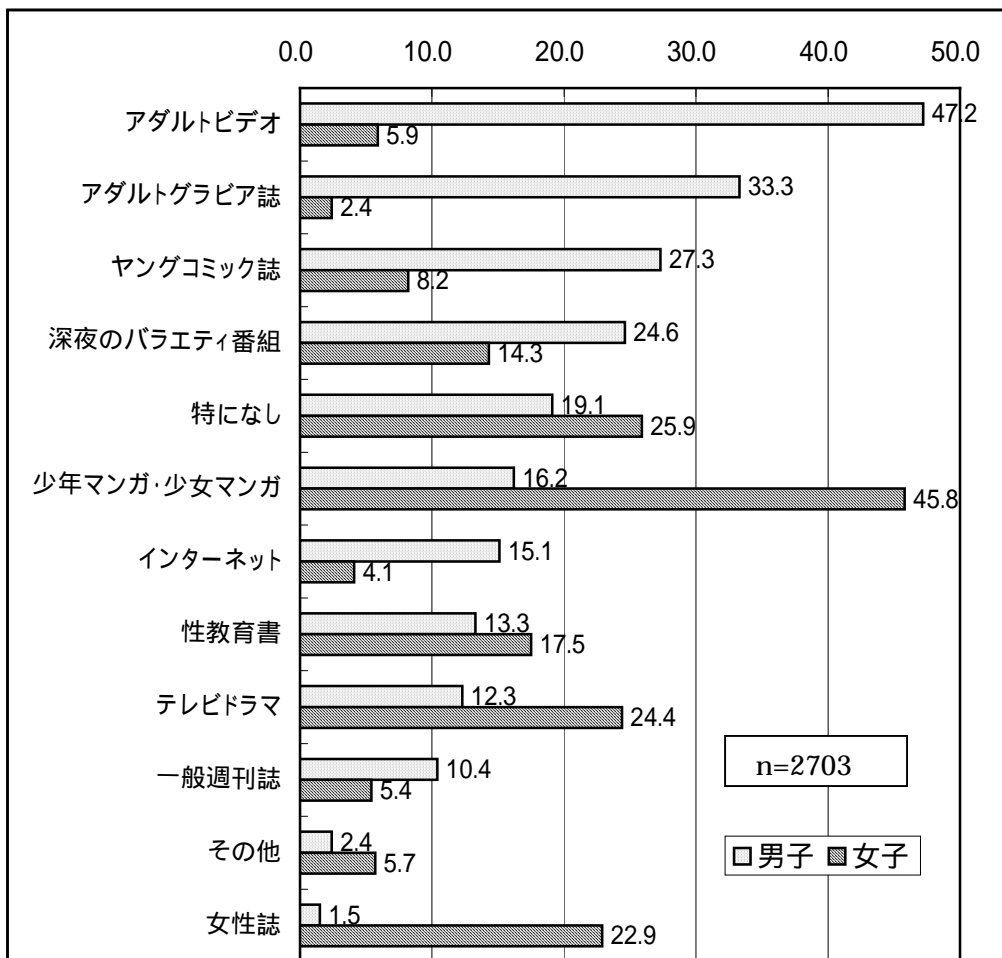


図 4-2-2 性の情報はどこから得ているか (%)

これまで見てきたように、若者の性情報は友人とメディアに大きく頼っている。本節では若者の持つ情報機器と彼らの性についての意識・行動との関連を調べた（友人関係と若者の性についての分析は第5章の第2節と第3節を参照されたい）。

情報機器の所持（自己専用）に関しては、図 4-2-3 に示したように、最も多くの者が持っているのは携帯電話・PHSで、男子では81.4%、女子では90.9%となっている。その次はテレビで、男子では59.0%、女子では35.6%となっている。そして、ビデオデッキを持っている者は、男子では40.3%、女子では23.7%となっている。そのほか、男子の22.5%と女子の14.8%はパソコンを持っている。男女で見た場合、携帯電話の所持率は女子がやや高いが、テレビ、ビデオデッキとパソコンの所持率はいずれも男子生徒のほうが高い。

携帯電話を持つことによって、いつでも、どこでも友人と連絡でき、また携帯電話からインターネットに接続し、様々な情報を入手することが簡単になっている。テレビ、ビデオデッキを持っている者のうち、88%強の生徒が個室を持っており、自分だけの空間で親の

目を気にせず、好きな番組を好きな時間帯に見ることができるわけである。

誰にも干渉されずに、情報機器を好きなように使える環境で、これらの情報機器は若者の性にどのような影響をもたらすのだろうか。次に、情報機器の所持と若者の性についての意識・行動との関連を見ていく。

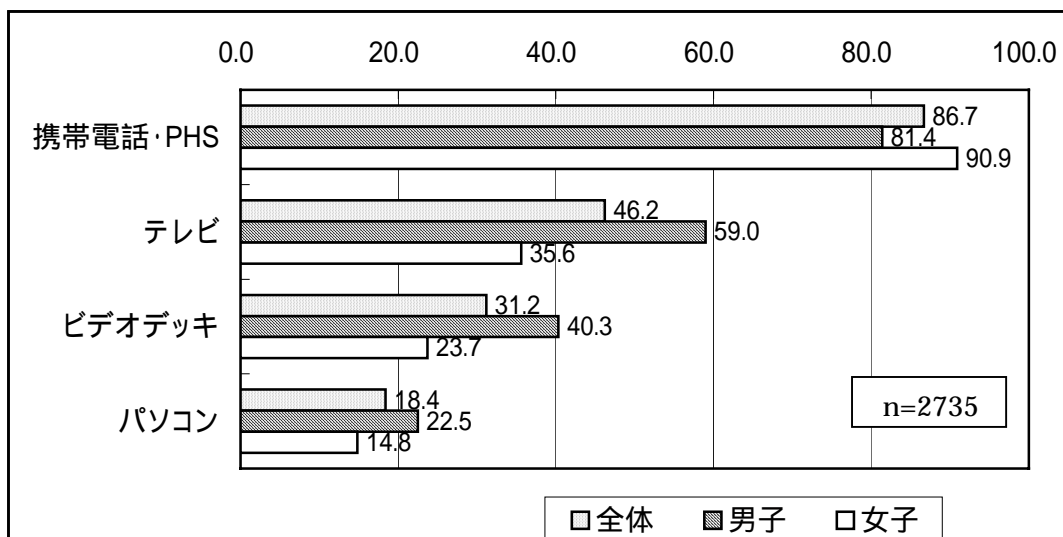


図 4-2-3 情報機器の所持 ( % )

性のイメージに関しては、表 4-2-1 に示したように、テレビ、ビデオデッキを持っている者のほうが、性・セックスを「楽しい」「よい」「軽い」と捉える傾向がある。

また、携帯電話・PHS を持っている者のほうが性・セックスを「よい」ものとして捉え、そして「汚い」「恥ずかしい」「暗い」ものでないと捉えている。

パソコンを持っているかどうかで、性・セックスのイメージはそれほど大きくは異ならなかった。

表 4-2-1 情報機器の所持と性のイメージ

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	楽しい	汚い	よい	軽い	恥ずかしい	暗い
<b>テレビ</b>						
ない	64.8	15.6	68.8	12.0	43.3	5.0
ある	73.0	14.1	76.3	15.2	39.9	5.0
カイ2乗値	20.4***	1.1	18.5***	5.9*	3.1	0.0
<b>ビデオデッキ</b>						
ない	66.1	16.0	69.7	12.4	42.7	5.3
ある	74.3	12.4	77.8	15.7	39.5	4.5
カイ2乗値	17.7***	5.9*	18.5***	5.3*	2.4	0.7
<b>携帯・PHS</b>						
ない	65.1	20.9	66.1	13.2	47.0	9.7
ある	69.2	14.0	73.2	13.5	40.9	4.3
カイ2乗値	2.4	11.7***	7.7**	0.0	4.8*	18.9***
<b>パソコン</b>						
ない	68.2	14.4	72.3	13.7	41.8	5.3
ある	70.5	16.9	72.0	12.2	41.2	3.9
カイ2乗値	0.9	1.9	0.0	0.8	0.1	1.5

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

次に、セックスの位置づけに関しては、表 4-2-2 に示したとおりである。テレビとビデオデッキを持つ者にはセックスを「快樂」、「ストレス解消」、「征服欲を満たすもの」、「義務」と捉える者が多い。携帯電話・PHSを持つ者のほうがセックスを「愛情表現」、「ふれあい」、「安らぎ」と捉えている者が多く、携帯電話を持っていない者のほうが「自分と関係がない」と捉えている者が多い。

そして、セックスを義務と捉える者それ自体は少ないが、パソコンを持っている者にセックスを義務と捉える者がやや多い傾向も見られる。それ以外に、パソコンを持っているか否かで、セックスの位置づけは大きく異なることがなかった。

表 4-2-2 情報機器の所持とセックスの位置づけ

% (「そう思う」)

	愛情表現	ふれあい	安らぎ	子作り	快樂	ストレス 解消	義務	征服欲を 満たす もの	不快・苦痛	自分と 無関係	その他
<b>テレビ</b>											
ない	78.4	40.7	19.0	66.5	33.4	6.2	2.2	7.2	1.7	5.0	1.3
ある	78.4	43.0	21.6	63.0	40.0	9.5	4.4	9.6	1.9	4.3	1.1
カイ2乗値	0.0	1.4	2.9	3.4	12.4***	10.3***	10.4***	5.1*	0.1	0.8	0.1
<b>ビデオデッキ</b>											
ない	78.2	40.5	19.8	65.9	34.7	6.3	2.2	7.5	1.7	4.9	1.1
ある	79.0	44.7	21.2	62.6	40.4	10.8	5.4	10.2	1.9	4.3	1.4
カイ2乗値	0.2	4.2*	0.7	2.7	7.9***	16.6***	19.2***	5.6*	0.2	0.4	0.6
<b>携帯・PHS</b>											
ない	68.3	35.9	16.2	66.4	35.6	7.8	3.9	7.8	1.7	9.8	1.4
ある	80.0	42.7	20.8	64.7	36.6	7.7	3.1	8.4	1.8	3.9	1.2
カイ2乗値	24.6***	6.0*	4.0*	0.4	0.2	0.0	0.7	0.1	0.0	24.1***	0.1
<b>パソコン</b>											
ない	78.9	42.0	20.2	65.0	36.0	7.4	2.8	8.3	1.6	4.4	1.3
ある	76.5	40.8	20.1	64.6	38.8	9.1	4.8	8.7	2.4	5.8	0.8
カイ2乗値	1.4	0.2	0.0	0.0	1.4	1.6	5.3*	0.1	1.5	1.8	0.8

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

次に性規範との関連に関しては、表 4-2-3 のとおりである。テレビ、ビデオを持つ者ほど、「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」と「恋人以外の人とのセックス」を受容する傾向が確認される。パソコンを持つ者にも、ほぼ同様な傾向が見られる。携帯・PHS を持っている者は「高校生のセックス」を受容する者が多いが、他の性規範に関しては、持っている者と持っていない者とは大きく異なることはなかった。

表 4-2-3 情報機器の所持と性規範

% (「かまわない」 + 「どちらかといえばかまわない」)

	高校生のセックス	愛のないセックス	金銭がらみのセックス	恋人以外の人とのセックス
<b>テレビ</b>				
ない	82.5	13.9	9.2	10.6
ある	88.9	23.1	13.5	17.0
カイ2乗値	22.4***	38.8***	12.9***	23.8***
<b>ビデオデッキ</b>				
ない	83.8	14.9	10.1	11.4
ある	89.0	25.2	13.5	18.2
カイ2乗値	12.4***	41.0***	6.9**	23.0***
<b>携帯・PHS</b>				
ない	75.8	20.4	12.3	15.6
ある	86.9	17.8	11.0	13.2
カイ2乗値	30.8***	1.4	0.6	1.5
<b>パソコン</b>				
ない	85.4	17.2	10.6	12.8
ある	85.8	22.0	13.8	16.8
カイ2乗値	0.1	6.2*	4.3*	5.5*

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

男女のあり方に関しては、表 4-2-4 に示したように、テレビ、ビデオデッキと携帯・PHS を持つ者ほど、やや男性の主導性と女性の受動性を支持する傾向が見られる。しかし、パソコンを持っている者と持っていない者との間に大きな違いは見られなかった。

表 4-2-4 情報機器の所持と男女の性のあり方

%(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)

	男性がリードすべきだ	女性は従うべきだ	男性にはレイプ願望がある	女性にはレイプされたい願望がある
<b>テレビ</b>				
ない	55.9	26.1	39.6	8.8
ある	57.5	29.3	40.5	12.3
カイ2乗値	0.7	3.3	0.2	8.3***
<b>ビデオデッキ</b>				
ない	56.0	26.2	39.2	8.8
ある	57.9	30.7	41.8	14.0
カイ2乗値	0.8	5.8*	1.5	16.4***
<b>携帯・PHS</b>				
ない	43.2	22.4	34.9	9.7
ある	58.7	28.4	40.8	10.5
カイ2乗値	29.2***	5.4*	4.3*	0.2
<b>パソコン</b>				
ない	57.0	27.5	40.0	10.4
ある	54.9	28.3	40.3	10.7
カイ2乗値	0.7	0.1	0.0	0.0

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

## (2) 情報機器の所持と性行動

テレビ・ビデオデッキを持っている若者はマスターベーション、セックスの経験率が高い。そして、初交の年齢が早く、セックスの経験人数が多い。

表 4-2-5 に示したように、テレビ、ビデオデッキを持っている者のほうがマスターベーションを経験したことのある者が多い。その傾向は特に女子生徒に見られる。また、携帯・PHS を持っている者とパソコンを持っている者もマスターベーションの経験率が高い。

表 4-2-5 情報機器の所持とマスターベーションの経験率 ( % )

			マスターベーションの経験			カイ2乗値
			ある	ない	言葉の意味が分からない	
テレビ	全体	ない	41.5	41.8	16.7	87.5***
		ある	59.0	32.3	8.6	
	男子	ない	83.1	8.2	8.6	2.7
		ある	86.3	7.3	6.4	
	女子	ない	19.3	59.9	20.8	19.1***
		ある	22.1	66.4	11.5	
ビデオ	全体	ない	44.7	40.4	14.9	57.0***
		ある	60.3	31.0	8.7	
	男子	ない	83.9	8.3	7.8	1.7
		ある	86.7	6.8	6.6	
	女子	ない	19.4	61.2	19.4	11.1***
		ある	23.2	65.2	11.6	
携帯・PHS全体	全体	ない	57.6	25.3	17.2	26.1***
		ある	48.4	39.3	12.3	
	男子	ない	77.0	7.8	15.2	24.6***
		ある	86.8	7.6	5.5	
	女子	ない	23.8	55.6	20.6	2.6
		ある	19.9	62.8	17.2	
パソコン	全体	ない	47.7	39.0	13.2	16.5***
		ある	57.9	30.4	11.7	
	男子	ない	84.2	7.9	7.9	2.3
		ある	87.7	6.9	5.4	
	女子	ない	20.1	62.8	17.1	1.5
		ある	21.4	58.6	20.0	

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005



情報機器の所持とセックスの経験率に関しては、表 4-2-6 に示したようにテレビ、ビデオデッキ、携帯・PHS を所持している者のほうがセックスを経験している者が多い。この傾向は男子生徒にも女子生徒にも見られる。

表 4-2-6 情報機器の所持とセックスの経験率 ( % )

	全体	男子	女子
テレビ			
ない	27.9	21.9	31.3
ある	38.6	34.4	44.2
カイ2乗値	34.0***	21.9***	23.7***
ビデオ			
ない	28.8	23.7	32.1
ある	41.7	37.3	47.9
カイ2乗値	42.7***	25.2***	27.8***
携帯・PHS			
ない	19.6	19.1	20.6
ある	34.8	31.5	37.4
カイ2乗値	32.1***	13.3***	14.6***
パソコン			
ない	33.0	29.1	36.1
ある	31.7	29.4	34.4
カイ2乗値	0.3	0.0	0.2

注：\*p<.05   \*\*p<.01   \*\*\*p<.005

また、情報機器の所持と初交年齢との関係を見たところ、表 4-2-7 のとおり、テレビ、ビデオデッキの所持と初交年齢との間に統計的に有意な関連が見られ、テレビ、ビデオデッキを持っている者のほうが早い年齢でセックスを経験している者が多い。

表 4-2-7 情報機器の所持と初交年齢 ( % )

			初交年齢				カイ2乗値
			14歳未満	15歳	16歳	17歳以上	
テレビ	全体	ない	12.2	32.3	50.3	5.2	12.4**
		ある	17.2	39.4	38.4	5.0	
	男子	ない	15.5	30.9	43.3	10.3	7.9*
		ある	17.5	43.5	34.5	4.5	
	女子	ない	10.8	32.7	53.2	3.3	6.9
		ある	16.2	35.2	42.9	5.7	
ビデオ	全体	ない	12.1	35.5	46.5	5.9	10.5*
		ある	19.2	37.2	39.7	3.8	
	男子	ない	14.8	37.4	38.1	9.7	6.8
		ある	18.8	41.8	36.4	3.0	
	女子	ない	10.6	34.2	50.9	4.2	6.5
		ある	18.8	32.9	43.6	4.7	

注：\*p<.05   \*\*p<.01   \*\*\*p<.005

そのほか、表 4-2-8 に示したように、情報機器の所持と経験人数との間にも統計的に有意な関連がいくつか見られ、テレビ、ビデオを持っている人ほど、経験人数が多い。この傾向は特に男子生徒に見られる。

携帯・PHS、パソコンを持っているかどうかで、高校生たちの初交年齢と経験人数は大きく違わなかった。

表 4-2-8 情報機器の所持とセックスの経験人数 ( % )

			性行為の経験人数			
			1人	2～3人	4人以上	カイ2乗値
テレビ	全体	ない	53.3	28.9	17.8	11.0***
		ある	42.4	32.4	25.1	
	男子	ない	54.9	29.4	15.7	6.5*
		ある	40.8	33.8	25.4	
	女子	ない	52.7	28.9	18.3	4.5
		ある	44.0	31.2	24.8	
ビデオ	全体	ない	51.3	29.2	19.5	8.0*
		ある	41.5	33.3	25.2	
	男子	ない	53.5	27.7	18.9	8.6*
		ある	37.4	36.8	25.7	
	女子	ない	50.1	30.1	19.7	1.5
		ある	46.2	29.5	24.4	

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

テレビ、ビデオを持つ者ほど、マスターベーション(女子)性交を経験したことのある者が多く、初交年齢が低く、経験人数が多いことがこれまでの分析で明らかになった。

しかし、なぜテレビ・ビデオを持つ者には、このような傾向が見られるのか。男子生徒の47.2%がアダルトビデオから性情報を得ていることを考えれば、テレビ・ビデオデッキの所持によって若者は、アダルトビデオとの接触が可能となり、この風俗メディアから多くの影響を受けるのではないかと仮説が立てられよう。これについて、実際のデータで確認してみたい。

そして実際、テレビ・ビデオデッキを持つ者の何割がアダルトビデオと接触しているか、またアダルトビデオを見たことがある者が、実生活において、アダルトビデオで描かれるセックスを意識的にまねすることがあるか否かを確認しておきたい。

テレビ・ビデオデッキの所持とアダルトビデオとの接触に関しては、表 4-2-9 に示したとおりである。テレビ・ビデオデッキを持っている者ほど、アダルトビデオを見たことのある者の割合が高いことが確認された。この傾向は男女の両方に見られる。

表 4-2-9 情報機器の所持と風俗メディアとの接触

% (ケース数)

		アダルトビデオを 見たことがある	アダルトビデオを 見たことがない	合計	カイ2乗値
全体	テレビ				
	ある	60.0(709)	40.0( 473)	100.0(1,182)	90.6***
	ない	41.2(572)	58.8( 818)	100.0(1,390)	
	ビデオデッキ				
	ある	64.2(510)	35.8( 284)	100.0( 794)	95.6***
	ない	43.4(771)	56.6(1,007)	100.0(1,778)	
男子のみ	テレビ				
	ある	77.9(533)	22.1( 151)	100.0( 684)	12.7***
	ない	68.7(333)	31.3( 152)	100.0( 485)	
	ビデオデッキ				
	ある	81.5(380)	18.5( 86)	100.0( 466)	22.5***
	ない	69.1(486)	30.9( 217)	100.0( 703)	
女子のみ	テレビ				
	ある	35.0(172)	65.0( 319)	100.0( 491)	11.3***
	ない	26.4(237)	73.6( 660)	100.0( 897)	
	ビデオデッキ				
	ある	39.2(127)	60.8( 197)	100.0( 324)	19.3***
	ない	26.5(282)	73.5( 782)	100.0(1,064)	

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

さらに、表 4-2-10 に示したように、アダルトビデオを見たことがある者は、見たことのない者に比べて、アダルトビデオ等で描かれているようなセックスのまねをしたことが多いことが検証され、この傾向も男女双方に見られた。

表 4-2-10 アダルトビデオ等の影響

% (ケース数)

		アダルトビデオ等のまね				合計	カイ2乗値
		ある	したいと思った が、しなかった	ない	見たこと がない		
全体	アダルトビデオを 見たことがある	43.6(252)	18.7(108)	37.5(217)	0.2( 1)	100.0(578)	269.5***
	アダルトビデオを 見たことがない	7.5( 20)	5.6( 15)	59.7(160)	27.2(73)	100.0(268)	
男子のみ	アダルトビデオを 見たことがある	43.2(134)	26.5( 82)	30.3( 94)	0.0( 0)	100.0(310)	55.8***
	アダルトビデオを 見たことがない	14.7( 5)	20.6( 7)	50.0( 17)	14.7( 5)	100.0( 34)	
女子のみ	アダルトビデオを 見たことがある	42.1(106)	9.5( 24)	48.0(121)	0.4( 1)	100.0(252)	140.9***
	アダルトビデオを 見たことがない	6.6( 15)	3.1( 7)	61.1(138)	29.2(66)	100.0(226)	

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### 3. メディアの影響と若者の性

#### (1) メディアの影響と性意識

前節で情報機器の所持と青少年の性との関連を分析し、テレビやビデオデッキを持っている者と持っていない者との間で、性についての意識と行動が大きく異なっていることが明らかになった。そこで、情報機器の所持が青少年をアダルトビデオ等の性風俗メディアとの接触を可能にし、性風俗メディアから多くの影響を受けることになっているのではないかという仮説を立ててみた。

本節では、引き続きメディアの影響と若者の性との関連を見ていく。主にアダルトビデオ等の影響を大きく受けている者とそうでない者との性についての意識と行動の違いを分析し、アダルトビデオの持つ影響力を明らかにしたい。

実際、アダルトビデオの持つ影響力を見るために、「あなたは、アダルトビデオや雑誌などでしているようなセックスを、まねしたことがありますか」という質問項目を用いる。この質問に対して、「まねしたことがある」と回答した者を「模倣者」、  
「したいと思ったが、しなかった」と回答した者を「模倣欲望者」、  
「まねしたことがない」と回答した者を「非模倣者」と分類する。三者のうち、模倣者がメディアから受けた影響力が最も大きく、非模倣者が最も少ないものであると考える。

まず、どのぐらいの若者がメディアからの影響を受けているかを確認しておく。図 4-3-1 に示したように、男子生徒のほうが女子生徒よりメディアに描かれているセックスをまねしている者が多い。男子生徒の 40.2% が実際に「まねしたことがある」と回答し、26.1% の者が「まねしようと思ったが、しなかった」と回答している。「まねしたことがない」と答えた者は 33.7% である。男子の性のあり方はアダルトビデオなどのメディアから大きな影響を受けていると言えよう。

女子生徒では、24.5% の者が実際に「まねしたことがある」と答えている。また、「まねしようと思ったが、しなかった」と答えている者は 6.5% となっており、男子生徒の割合より低いものの、実際にメディアで描かれているセックスをまねした人が 4 人に 1 人あり、メディアの持つ影響力は大きいと言えよう。

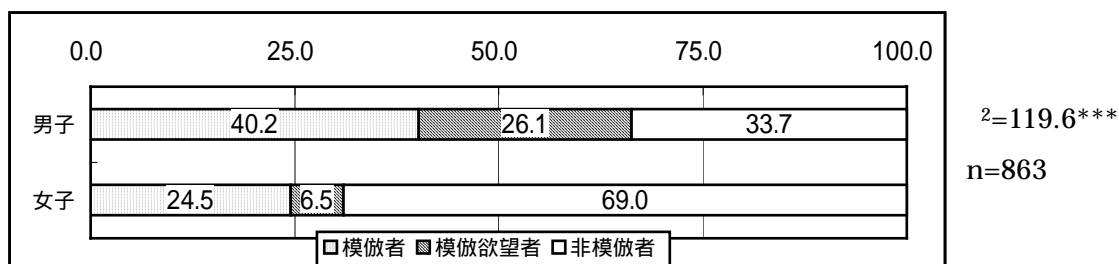


図 4-3-1 性別ごとにみたメディアの影響 (%)

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

次に、対象者を模倣者、模倣欲望者と非模倣者に分け、この三者は性・セックスについてどんなイメージを持っているのかを調べた。その結果は図 4-3-2 のとおり、前二者は性・セックスを「楽しい」、「よい」、「軽い」ものとして捉える者が多い。

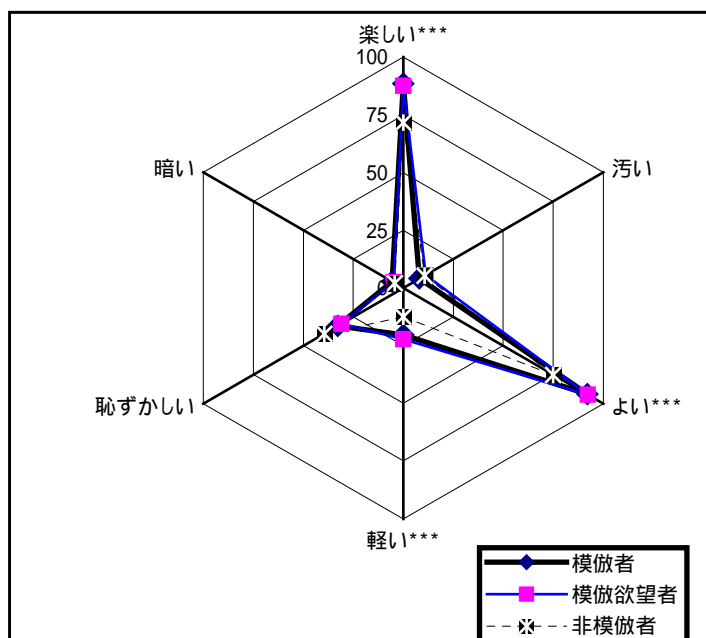


図 4-3-2 メディアの影響と性・セックスのイメージ

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

注：\*\*\*は、三者の間に統計的に有意な差があり、0.5%水準で有意であることを表している。

また、男女別に同じことを調べたが、男子生徒の間では模倣者、模倣欲望者と非模倣者の間に、セックスのイメージについては違いが見られなかった。女子生徒では、模倣者と模倣欲望者には性・セックスを「楽しい」「よい」「軽い」ものとして捉える者が多いことが分かった。その結果は図 4-3-3 に示した。

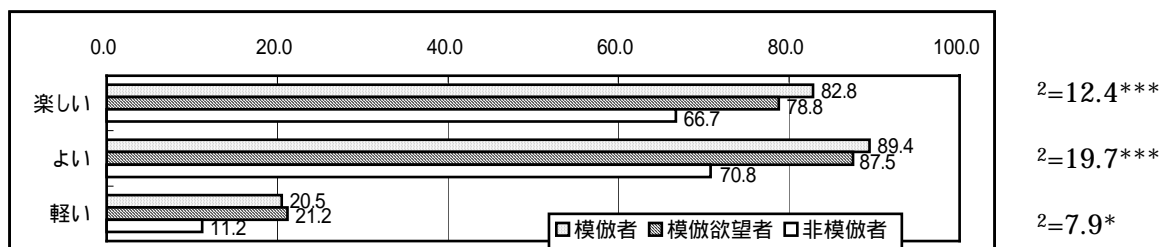


図 4-3-3 メディアの影響と性・セックスのイメージ (女子のみ) (n=495)

% (「そう思う」 + 「どちらかと言えばそう思う」)

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

次に、メディアの影響とセックスの位置づけとの関連を調べた。その結果の一部は図4-3-4に示した。模倣者と模倣欲望者のほうがセックスを「快樂」「安らぎ」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」「義務」と考える傾向がある。

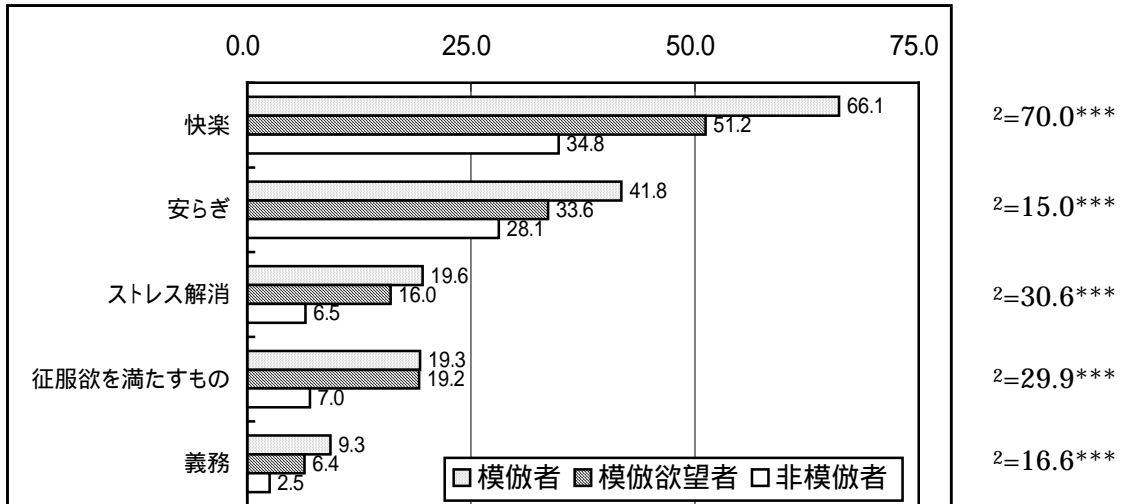


図 4-3-4 メディアの影響とセックスの位置づけ (n=879)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また、対象者を男女に分け、それぞれメディアの影響とセックスの位置づけとの関連を調べてみた。表4-3-1に示したように、男子では模倣者にセックスを「ストレス解消」「義務」として捉えている者が多く、女子では模倣者にセックスを「ふれあい」「やすらぎ」「快樂」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」として捉えている者が多い。

表 4-3-1 男女別でみたメディアの影響とセックスの位置づけ % (「そう思う」)

	愛情表現	ふれあい	安らぎ	子作り	快樂	ストレス解消	義務	征服欲を満たすもの
男子 模倣者	87.3	51.4	38.7	59.2	66.9	26.1	13.4	21.1
男子 模倣欲望者	89.0	48.4	35.2	65.9	56.0	19.8	8.8	19.8
男子 非模倣者	84.5	38.8	31.9	52.6	60.3	12.9	3.4	12.9
男子 加2乗値	1.0	4.3	1.3	3.8	2.9	6.9*	7.8*	3.1
女子 模倣者	93.6	67.2	44.8	58.4	64.0	14.4	4.0	18.4
女子 模倣欲望者	93.8	62.5	25.0	50.0	37.5	6.3	0.0	15.6
女子 非模倣者	87.0	53.3	26.8	53.0	26.8	4.3	2.3	4.9
女子 加2乗値	4.8	7.6*	14.5***	1.3	54.7***	14.5***	2.0	22.5***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

性規範に関しては、まず全体的な傾向としては、メディアから影響を受けている者ほど、様々な性規範を受容している。メディアで描かれているセックスをまねした者ほど、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を肯定している者が多い。

また、対象者を男女に分けて分析したところ、女子生徒ではメディアからの影響を強く受けている者ほど、愛のないセックス、金銭がらみのセックス、恋人以外の人とのセックスを受容する傾向が確認された。一方、男子生徒ではこのような傾向は見られなかった(表4-3-2)。

表 4-3-2 メディアの影響と性規範

% (「かまわない」 + 「どちらかといえばかまわない」)

	全体	男子	女子
高校生のセックス			
模倣者	97.1	95.8	98.4
模倣欲望者	98.4	98.9	97.0
非模倣者	96.5	97.5	96.6
カイ2乗値	1.4	2.1	1.1
愛のないセックス			
模倣者	33.6	41.5	24.0
模倣欲望者	34.4	35.9	27.3
非模倣者	16.7	33.3	10.8
カイ2乗値	34.9***	2.0	16.5***
金銭がらみのセックス			
模倣者	21.4	23.2	20.0
模倣欲望者	18.1	17.6	21.2
非模倣者	10.9	17.9	8.5
カイ2乗値	16.2***	1.6	14.0***
恋人以外の人とのセックス			
模倣者	22.9	26.8	19.2
模倣欲望者	24.2	27.2	18.2
非模倣者	12.1	19.7	10.0
カイ2乗値	19.4***	2.2	8.0*

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

男女のあり方に関しては、表4-3-3に示したように、まず全体的な傾向として、メディアからの影響を強く受けている者ほど、男性にレイプ願望と女性にレイプされたい願望があると思っている。

また、対象者を男女に分けてそれぞれ分析したところ、女子生徒ではメディアからの影響を強く受けている者ほど、男性にレイプ願望と女性にレイプされたい願望があると思っている。男子生徒ではメディアからの影響を強く受けている者ほど、男性のレイプ願望があると思っている。

表 4-3-3 メディアの影響と性における男女の性のあり方

%(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
男性は、セックスで女性をリードすべきだ			
模倣者	61.2	58.2	66.4
模倣欲望者	64.8	64.0	63.6
非模倣者	66.5	58.1	70.4
カイ2乗値	2.1	1.0	1.1
女性は、男性のリードに従うべきだ			
模倣者	34.4	36.0	34.4
模倣欲望者	30.3	27.6	34.4
非模倣者	32.8	27.0	35.3
カイ2乗値	0.7	3.0	0.0
男性には、レイプ願望がある			
模倣者	55.1	51.8	56.4
模倣欲望者	52.0	51.7	54.8
非模倣者	36.8	35.3	37.7
カイ2乗値	25.5***	8.3*	14.1***
女性には、レイプされたい願望がある			
模倣者	23.4	23.5	23.2
模倣欲望者	18.5	18.2	21.2
非模倣者	8.5	13.8	6.7
カイ2乗値	32.5***	3.8	26.9***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

(2) メディアの影響と性行動

ビデオ・雑誌で描かれているセックスをまねたことがある者とそうではない者との間に、性行動の違いが見られるのだろうか。分析の結果、模倣者のほうがセックスの経験人数が多いことが確認された。その傾向は、男女ともに見られた(図 4-3-5)。一方、セックスの経験率と経験時期には違いは見出せなかった。

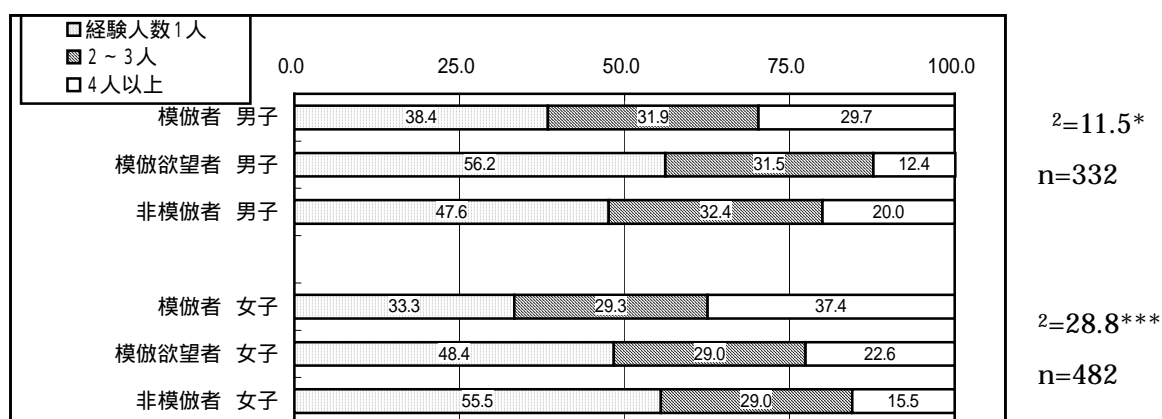


図 4-3-5 メディアの影響とセックスの経験人数 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005



また、メディアの影響と、彼らの避妊行動との間にも関連が見られた。図 4-3-6 に示したように、全体的にビデオ・雑誌で描かれているセックスをまねたことのある者は、避妊を「いつもしていない」と「場合による」と回答した者が多い。対象を男女に分けて分析したとき、女子生徒にはこの傾向が見られるが、男子生徒には見られなかった。

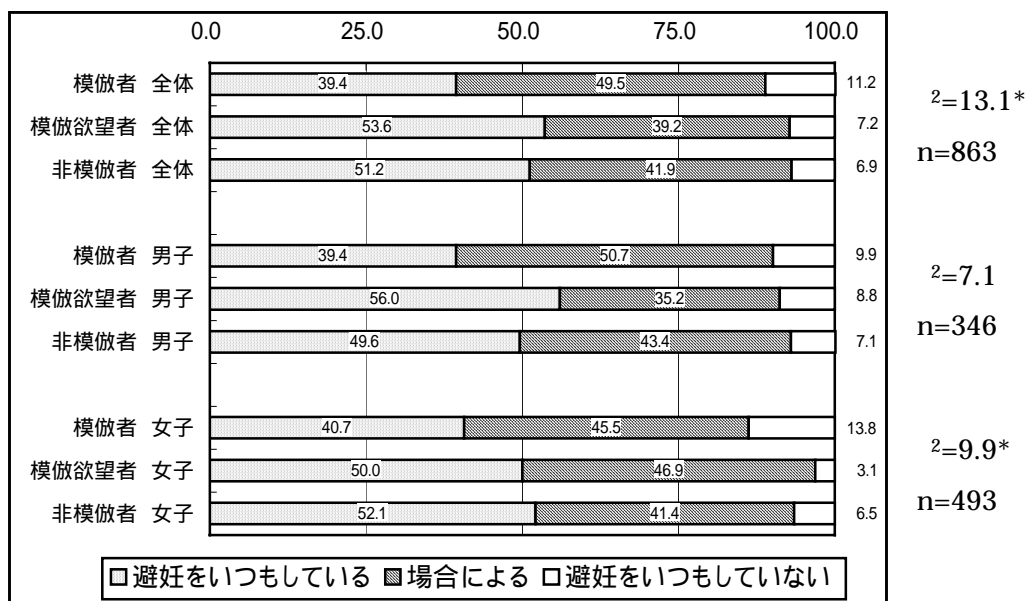


図 4-3-6 メディアの影響と避妊の実行 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

さらに、彼らの実際の避妊法を分析したところ、ビデオのまねをしたことがある者ほど、膣外射精法をとっている者が多いことが確認された(図 4-3-7)。

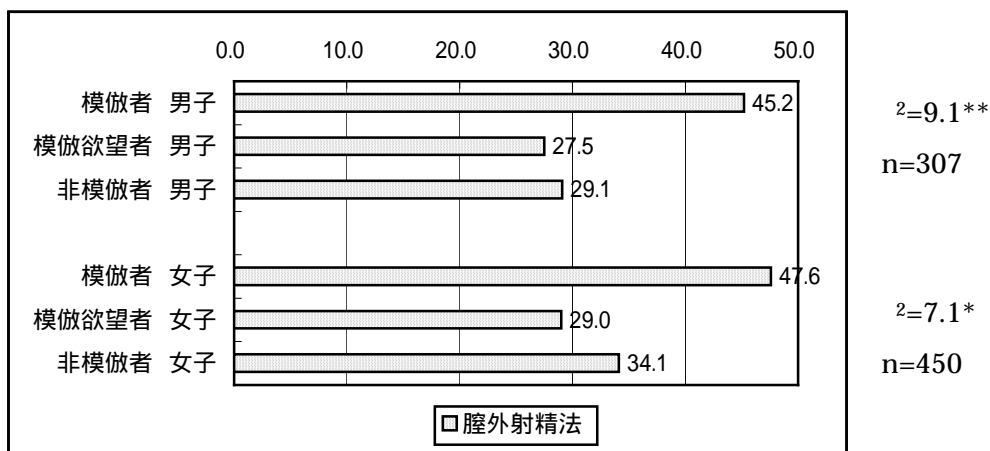


図 4-3-7 メディアの影響と避妊法 (膣外射精法) (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

彼らの性感染症の感染率と望まぬ妊娠の中絶率を調べたところ、図 4-3-8 と図 4-3-9 に示したように、女子生徒では模倣者には性感染症の感染率と望まぬ妊娠の中絶率が高いことが分かった(男子生徒にはそのような傾向は見られなかった)。女子では性感染症の感染率が非模倣者では 2.3%であるのに対し、模倣者では 12.0%となっている。また、中絶率に関しても非模倣者では 1.0%であるのに対して、模倣者では 8.8%にもなっている。

この結果は彼らが数多くの人と性交渉をしながらも、避妊をしない者が多く、また避妊している者でも膈外射精の方法をとっている者が多いこととも関連すると考えられる。

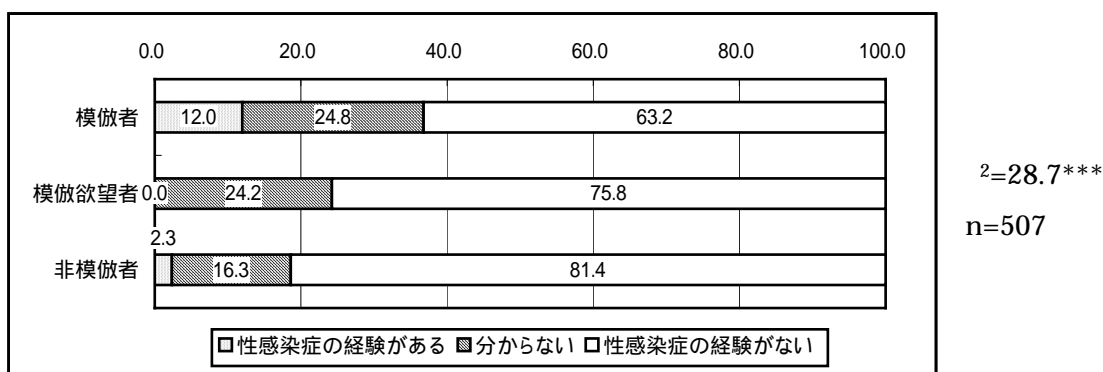


図 4-3-8 ビデオの真似と性感染症との経験 (女子のみ) (%)

注: \*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

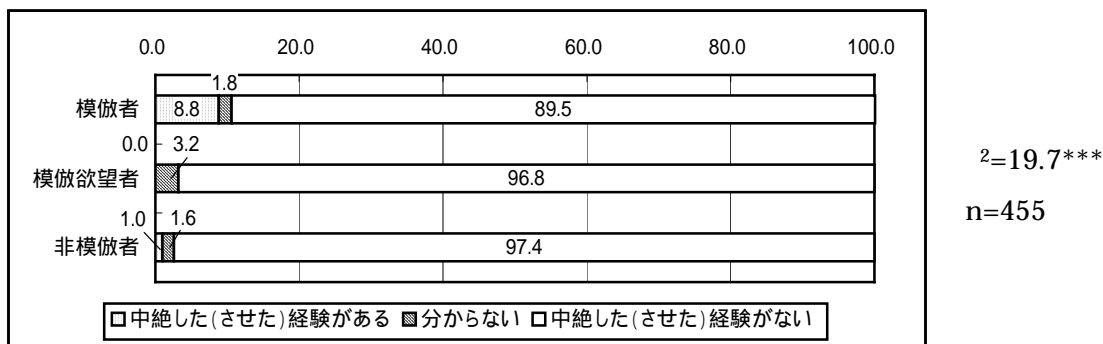


図 4-3-9 ビデオの真似と中絶経験 (女子のみ) (%)

注: \*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

メディアからの影響を多く受けている者ほど、性・セックスのイメージは「明るい」「よい」ものであり、また「軽い」ものでもある。彼らにとっては、セックスは「安らぎ」「快楽」を得るものであり、また「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」である。そして、メディアからの影響を多く受けている者ほど、セックスの経験人数が多い。しかし、多くの人と性交渉をしているにもかかわらず、避妊をしない者が多く、また、避妊をしている

者でも膈外射精法を利用している者が多いためか、女子生徒の性感染症の感染率、望まぬ妊娠の中絶率が高い。

## 4. 出会い系サイトと若者の性

### (1) 出会い系サイトの利用状況

最近、出会い系サイト関連の事件がマス・メディアで大きく取り上げられている。この節では出会い系サイトの利用状況を把握したうえで、若者の出会い系サイトの利用と彼らの性意識・行動とがどのような関連を持つかを、明らかにしたい。

まず、出会い系サイトの利用に関しては、図 4-4-1 に示したように、出会い系サイトを利用したことがあると答えた者は全体の 22.5%を占め、男子生徒の利用率は 18.7%で、女子生徒の利用率は 26.4%となっている。

そして利用者のうち、出会い系サイトで知り合った人と直接に会ったことがある者は 47.3%を占める。また男女別でみた場合、男子生徒の 42.0%、女子生徒の 50.8%が出会い系サイトで知り合った人と直接に会っている(図 4-4-2)。

出会い系サイトを知ったきっかけはメールが最も多く 48.5%、その次に多いのは友だち・知り合いから 30.7%、ネットで偶然にと答えた者は 16.7%となっており、男女の間に大きな違いは見られなかった(図 4-4-3)。

また、出会い系サイトの利用目的は、図 4-4-4 に示したとおりである。全体的に「興味本位」と答えた者が最も多く、全体の 56.0%を占める。その次に、「同じ趣味をもつ仲間を作るため」が 16.6%、「恋人を作るため」が 13.4%となっている。男女に分けてみたところ、「興味本位」を上げる者が男女ともに多く、それぞれ半数以上を占めるが、それ以外に、男子生徒は「恋人を作る」を上げる者が多く、20.4%(女子 9.6%)を占める。女子は「同じ趣味の仲間を作る」が 18.4%(男子 13.3%)、「悩み相談の友人を作る」が 10.4%(男子 4.9%)となっており、男子生徒の利用目的と女子生徒の利用目的にずれが見られる。

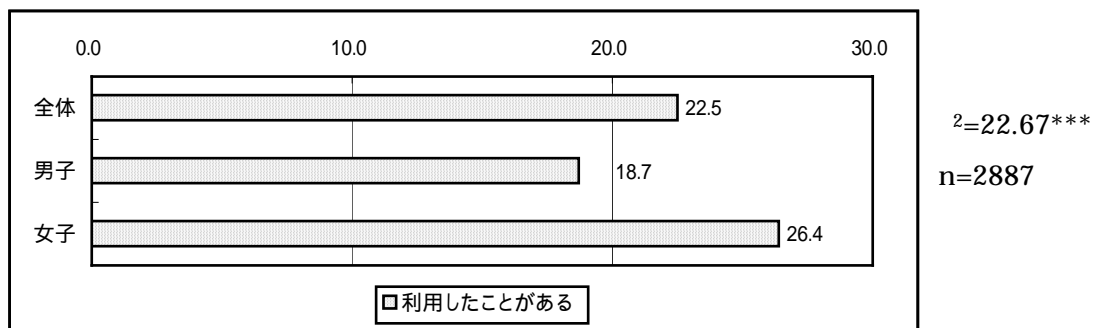


図 4-4-1 出会い系サイトの利用状況 ( % )

注: \* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

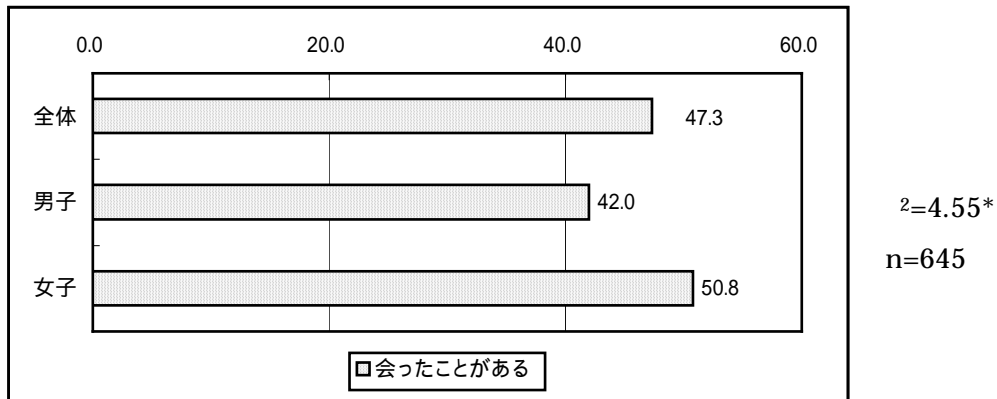


図 4-4-2 出会い系サイトで知り合った人との面会 (%)

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

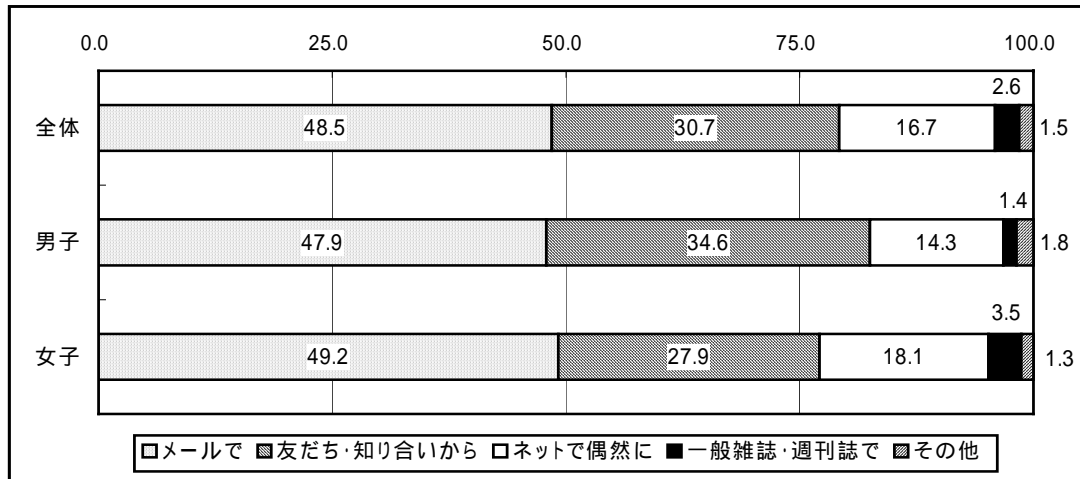


図 4-4-3 出会い系サイトを知ったきっかけ (n=606) (%)

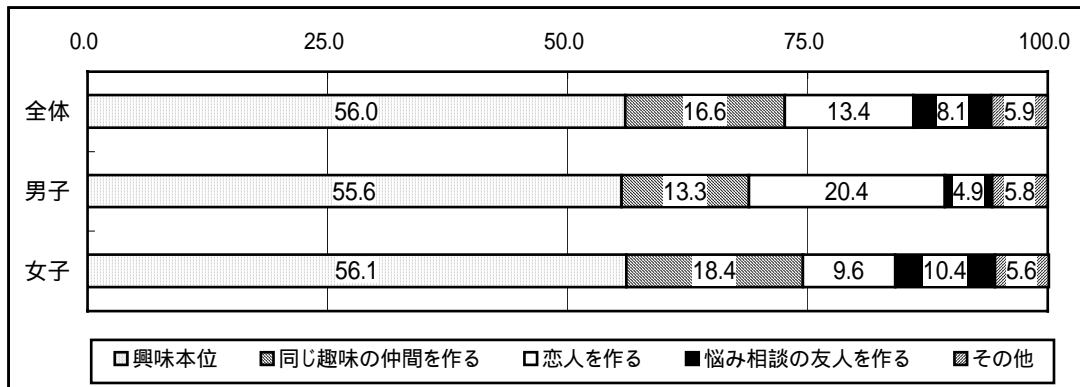


図 4-4-4 出会い系サイトの利用目的 (n=614) (%)

「出会い系サイト」の利用に関しては、図 4-4-5 に示したように、11.4%の者が「特に問題がない」、41.1%の者が「気をつけて利用すれば、問題がない」と答えており、両者を合わせると 52.5%の者が出会い系サイトの利用を肯定している。男女に分けてみたところ男女ともに、「気をつけて利用すれば問題がない」と答えている者が 4 割強となっているが、そのほか男子に多いのは、「特に問題がない」18.2%（女子 5.8%）で、女子では「利用してはいけない」34.4%（男子 21.9%）となる。出会い系サイトの利用については、女子生徒のほうが慎重であるようだ。

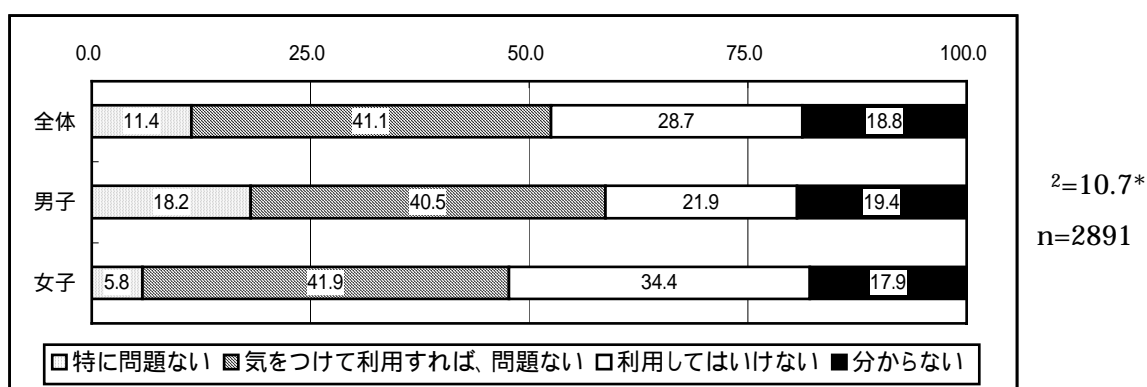


図 4-4-5 出会い系サイトの利用についての意見 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また、出会い系サイト関連の事件についてどう思うかを調べたところ、図 4-4-6 に示したように、「自分には関係ないと思うが、怖いと思う」と答えた者が男子で 52.8%、女子で 68.7%である。そのつぎに「自分には関係ないので、別に何も思わない」と答えた者が男子では 29.5%、女子では 12.7%となっている。女子は「自分も巻き込まれるかもしれないので、とても怖い」と答えた者が 15.4%（男子 10.2%）である。女子生徒のほうが男子生徒より、出会い系サイトを危険なものとして認識しているようだ。

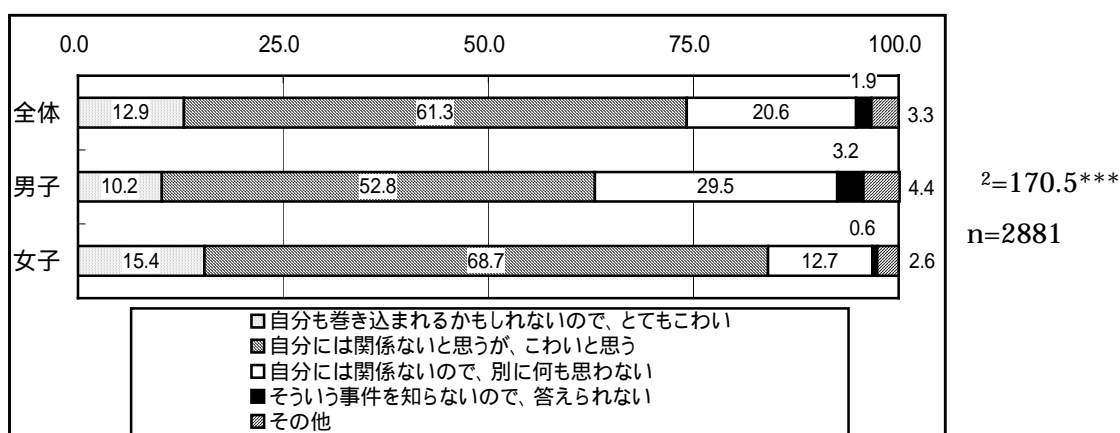


図 4-4-6 出会い系サイトに関する事件についての意見 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

出会い系サイトの利用と出会い系サイト関連の事件について、出会い系サイトの利用者  
とそうでない者との間に、異なった意見も見られた。図 4-4-7 に示したように、出会い系  
サイトの利用について、利用したことのある者に、「特に問題がない」「気をつけて利用す  
れば問題ない」と答えている者が多い。

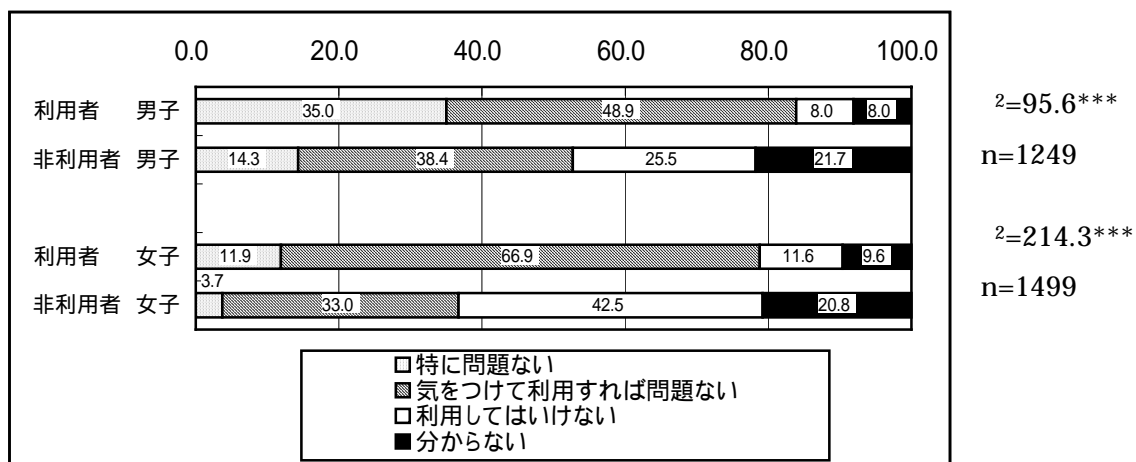


図 4-4-7 出会い系サイトの利用経験と出会い系サイトの利用についての意見

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また、出会い系サイト関連の事件に関して、図 4-4-8 に示したように、女子では利用者  
とそうでない者との間に違いが見られた。女子利用者には「自分も巻き込まれるかもしれ  
ないので、とてもこわい」と答えた者が 25.2% (非利用者 11.8%) となっており、自分にも  
その危険性があることを認識している。男子では利用者とそうでない者との間に違いは見  
られなかった。

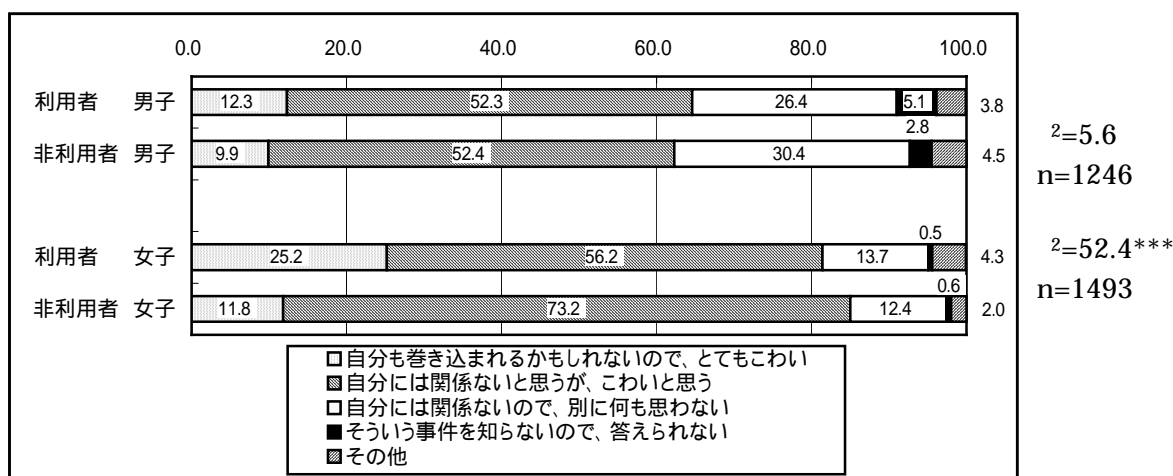


図 4-4-8 出会い系サイトの利用経験と出会い系サイト関連事件についての意見

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また、出会い系サイトの利用者に「出会い系サイトを使ったことで、イヤな思いをしたことがありますか」という質問を用い、被害状況を調べた。図 4-4-9 に示したように、実際に「トラブルに巻き込まれた」と答えた者は全体の 5.2%を占め、「迷惑メールでイヤな思いをした」と答えた者は 10.4%を占めている。被害状況に関しては、男女の間で実際に「トラブルに巻き込まれた」と答えた者の割合は大きく変わらないが、女子では「迷惑メールでイヤな思いをした」と答えた者が多く、利用者の 12.3% (男子 6.8%) となる。

また、出会い系サイトで知り合った人との関係についての認識にも男子と女子では異なっているようである。図 4-4-10 に示したように、男子は出会い系サイトで知り合った人を「セックス相手」と思う者が多い (男子 13.7% vs 女子 8.2%)。しかし、女子は出会い系サイトで知り合った人を「恋人」と思っている者が多い (女子 20.8% vs 男子 11.2%)。相手のことを恋人と思い付き合っている女子と単なるセックスの相手として付き合っている男子との間に、認識のギャップが存在することも確認された。このような意識のずれの中に事件まで発展する危険性も潜んでいると推測できよう。

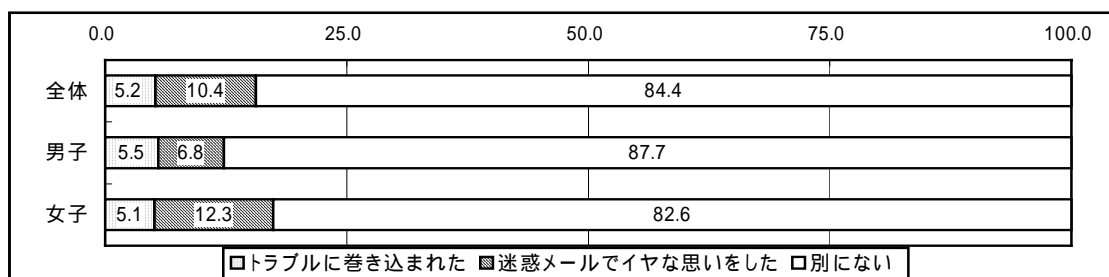


図 4-4-9 出会い系サイトの被害状況 (n=636)

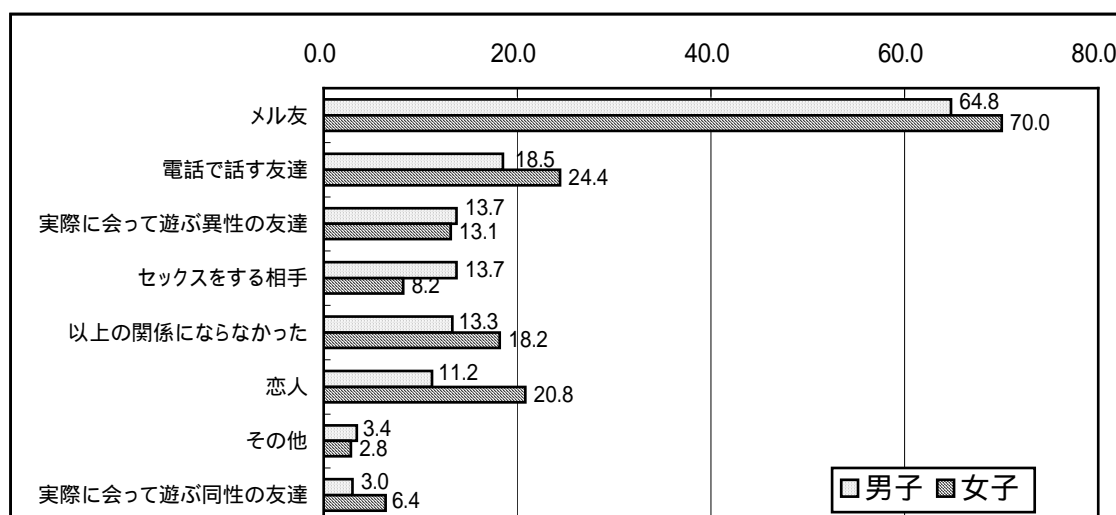


図 4-4-10 出会い系サイトで知り合った人との関係 (n=623)

注。「以上の関係にならなかった」の「以上」は、「その他」を除く全ての項目を指す。

最後に、出会い系サイトの利用を親に話しているかどうかを調べたところ、親に話している人が全対象者の 15.5%しかなく、ほとんどの人は親に内緒で利用していることが分かった。そして、出会い系サイトの利用について誰かから注意を受けたことがあるかどうかを聞き、「親」「先生」「友だち」「その他」「誰からも注意を受けていない」の選択肢から多重選択してもらった。その結果は図 4-4-11 のとおりである。全体的には親から注意やアドバイスを受けている者は 2 割強、先生からは 3 割弱、友だちから 2 割弱となっており、誰からも注意やアドバイスを受けていない者も 5 割程度存在する。男女に分けてみたとき、女子生徒のほうが男子生徒より親、先生と友だちから注意やアドバイスを受けている者が多い。

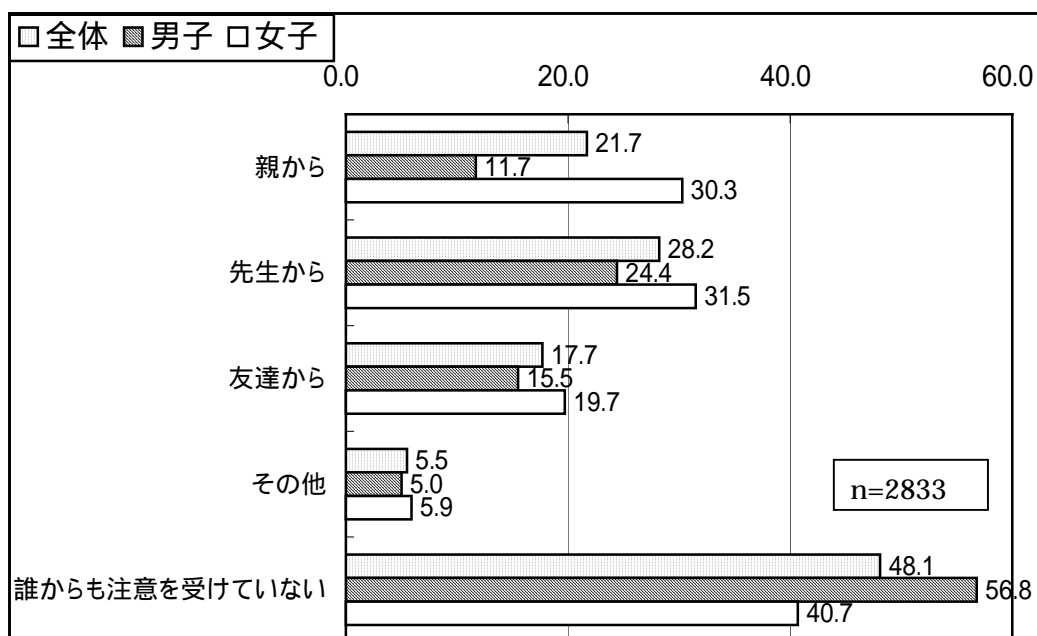


図 4-4-11 出会い系サイトの利用についてのアドバイス・注意 (%)



## (2) 出会い系サイトの利用と性意識

次に、出会い系サイトの利用と若者の性についての意識との関連を見ていこう。まず、性・セックスのイメージと出会い系サイトの利用との関連については、図4-4-12に示したとおりである。出会い系サイトを利用している者のほうが、性・セックスのイメージが「楽しい」「よい」「軽い」ものであり、「暗い」ものではないようだ。

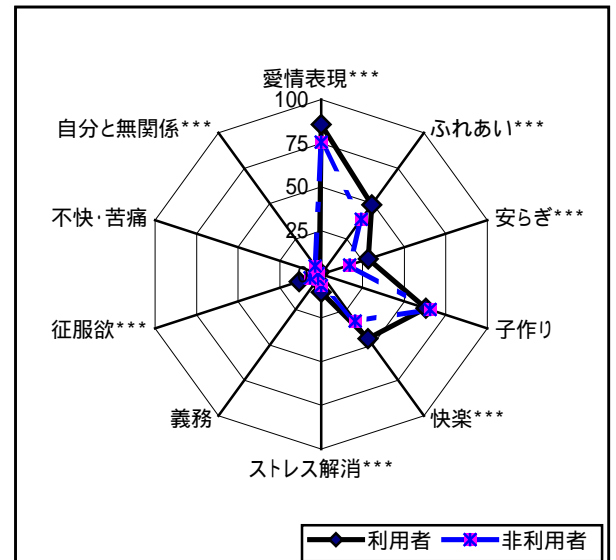
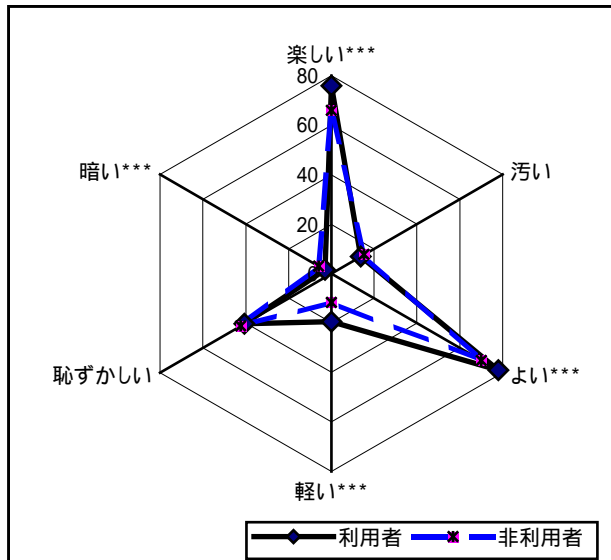


図4-4-12 出会い系サイトの利用と性のイメージ

図4-4-13 出会い系サイトの利用と

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)      セックスの位置づけ      % (「そう思う」)

注：\*\*\*は、利用者と非利用者との間に統計的に有意な差があり、0.5%水準で有意であることを表している。

セックスの位置づけに関しては、出会い系サイトの利用者はセックスを、「愛情表現」「ふれあい」「安らぎ」「快楽」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」と捉える傾向がある。出会い系サイトを利用しない者にはセックスは「自分と関係のないものである」と捉える者が多い(図4-4-13)。

性規範に関して、表4-4-1に示したように、出会い系サイトの利用者のほうが「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」のいずれも受容している者が多い。この傾向は男子生徒にも女子生徒にも見られる。

表 4-4-1 出会い系サイトの利用と性規範

% (「かまわない」 + 「どちらかといえはかまわない」)

	全体	男子	女子
高校生のセックス			
利用者	94.9	94.5	95.5
非利用者	81.6	83.7	79.5
カイ2乗値	68.0***	18.3***	54.2***
愛のないセックス			
利用者	26.3	38.8	18.7
非利用者	15.7	24.8	6.9
カイ2乗値	38.1***	18.9***	44.9***
金銭がらみのセックス			
利用者	16.9	21.9	14.1
非利用者	9.5	13.5	5.5
カイ2乗値	27.4***	10.5***	29.9***
恋人以外の人とのセックス			
利用者	19.8	27.4	15.7
非利用者	11.7	16.4	7.2
カイ2乗値	28.2***	15.4***	24.4***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

性関係における男女のあり方に関しては、表 4-4-2 に示したように、出会い系サイトの利用者のほうが、男性はセックスをリードし、女性は男性のリードに従うべきだと考えている者が多い。出会い系サイトの利用者のほうが、男性にレイプ願望、女性にレイプされたい願望があると考えている者が多い。これらの傾向は男女ともに見られる。

表 4-4-2 出会い系サイトの利用と男女の性のあり方

% (「そう思う」 + 「どちらかといえはそう思う」)

	全体	男子	女子
男性は、セックスで女性をリードすべきだ			
利用者	62.5	58.5	64.9
非利用者	53.8	49.5	58.6
カイ2乗値	15.0***	6.1*	4.7*
女性は、男性のリードに従うべきだ			
利用者	34.7	34.6	34.9
非利用者	24.7	24.6	25.4
カイ2乗値	24.6***	9.7***	12.7***
男性には、レイプ願望がある			
利用者	50.0	51.5	49.3
非利用者	36.6	40.2	32.6
カイ2乗値	34.9***	9.8***	31.4***
女性には、レイプされたい願望がある			
利用者	14.6	22.3	10.4
非利用者	9.4	11.4	7.1
カイ2乗値	13.8***	18.7***	4.2*

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### (3) 出会い系サイトの利用と性行動

出会い系サイトを利用している者ほど、マスターベーションと性交の経験率が高く、性交の経験人数も多い。これらの傾向は男子生徒にも女子生徒にも見られる(図4-4-14~図4-4-16)。

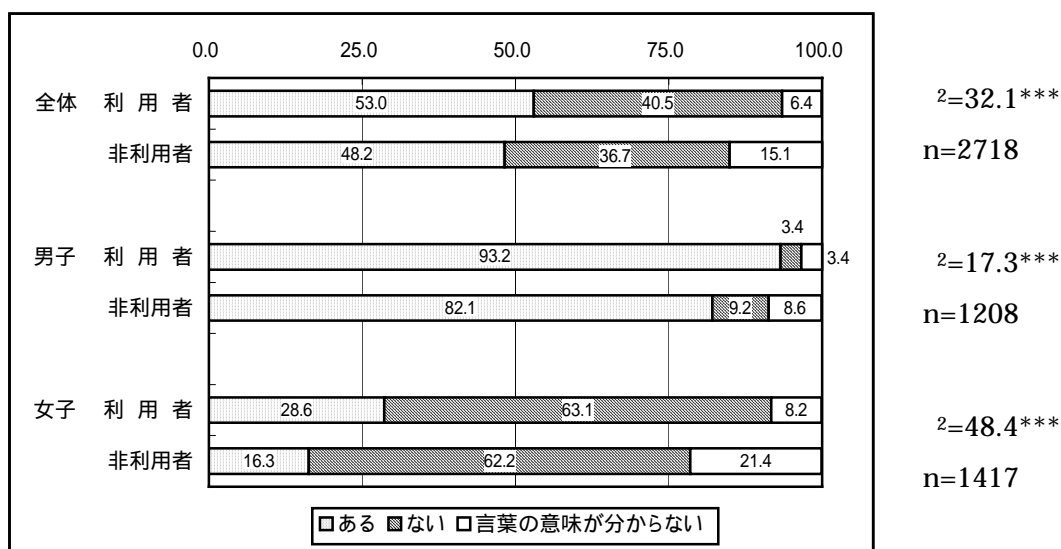


図4-4-14 出会い系サイトの利用とマスターベーションの経験率との関連

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

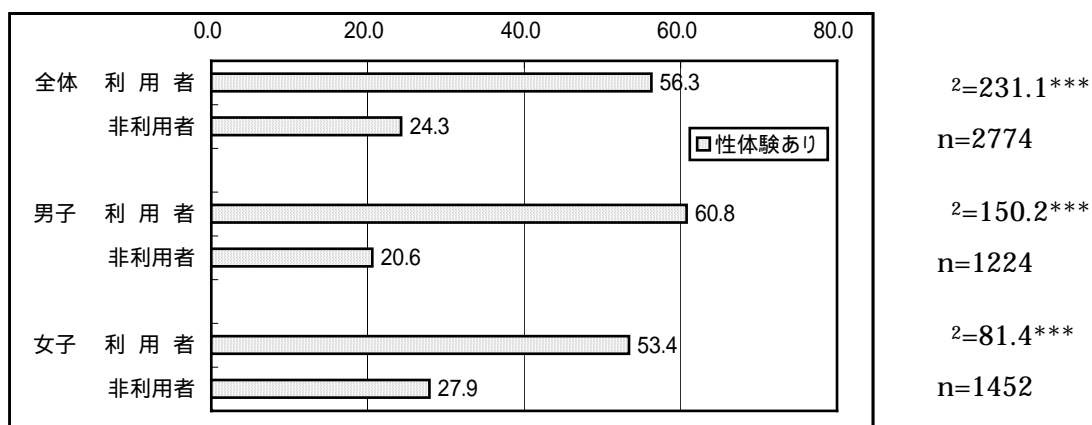


図4-4-15 出会い系サイトの利用と性交経験率との関連

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

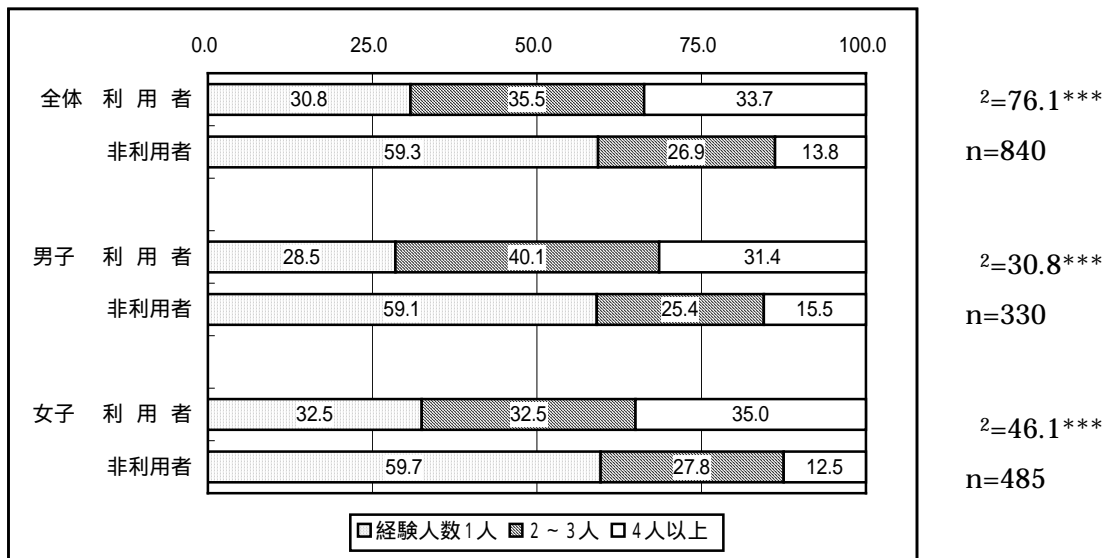


図 4-4-16 出会い系サイトの利用と性交の経験人数との関連 (%)

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

出会い系サイトの利用者と非利用者の避妊の実行率には大きな違いはないが、実際の避妊法を詳しく見ていくと、出会い系サイトの利用者は、非利用者より「膈外射精法」や「月経からの日数を数える」というような不確実な、あるいは間違っただ避妊法を使っている者が多いことが明らかになった(図 4-4-17 と図 4-4-18)。

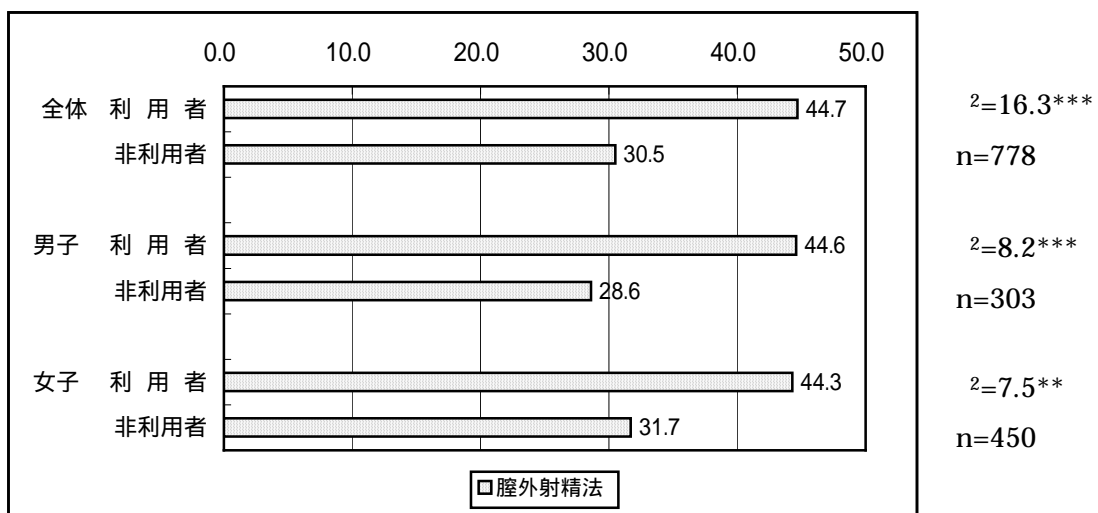


図 4-4-17 出会い系サイトの利用と避妊方法(「膈外射精法」) (%)

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

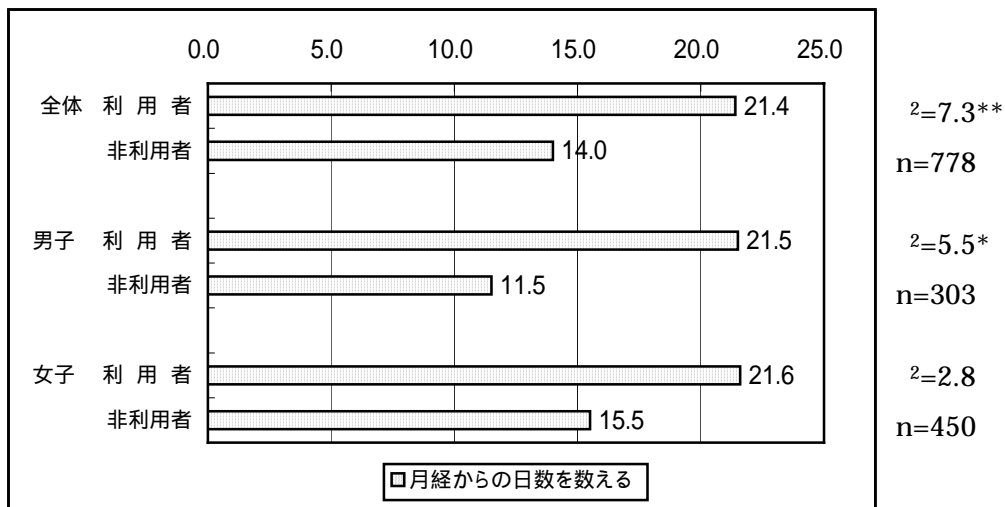


図 4-4-18 出会い系サイトの利用と避妊方法（「月経から日数を数える」）

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また、図 4-4-19 に示したように、出会い系サイトを利用している者ほど、性感染症の感染率が高い。また、感染しているかどうか「分からない」と答えている者も多いことが分かった。この傾向は特に女子生徒に見られる。

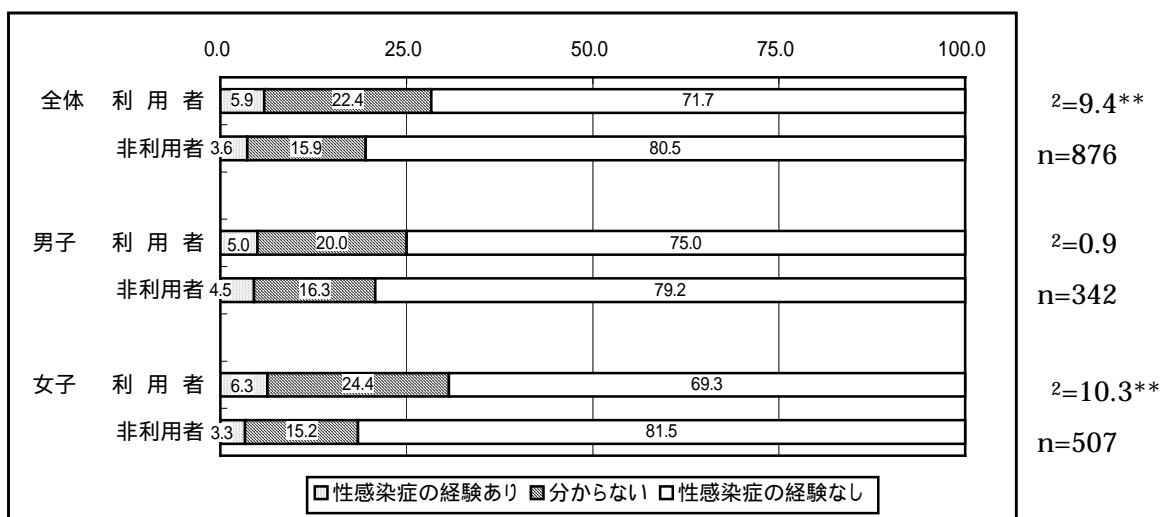


図 4-4-19 出会い系サイトの利用と性感染症の経験率（%）

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

女子生徒の 4 人に 1 人、男子生徒の 5 人に 1 人が出会い系サイトを利用し、そのうちの半数の者が出会い系サイトで知り合った人と直接会っていることが明らかになった。そして、出会い系サイトの利用に関しては、女子生徒のほうが男子生徒より出会い系サイトを

危険なものとして認識しており、また親・先生・友達から注意やアドバイスを多く受けていることが確認された。

出会い系サイトで被害そのものは、男女で大きく異ならないが、男子生徒は相手をセックスの相手として認識し、女子生徒は相手を恋人と認識して付き合っている結果から、男女の間に意識のギャップが存在し、それが原因となって事件まで発展する危険性につながっていることが推測される。

出会い系サイトの利用者とそうでない者との間に、性についての意識と行動に大きな相違が見られた。出会い系サイトの利用者にとっては、性・セックスのイメージは「楽しい」「よい」ものであり、また「軽い」ものでもある。彼らは、セックスを「愛情表現」「ふれあい」「安らぎ」と捉えながらも、「快楽」「ストレス解消」「征服欲をみたすもの」とも捉えている。

そして、出会い系サイトを利用している者は男女ともに、「高校生のセックス」「愛のないセックス」「金銭がらみのセックス」「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。そして、出会い系サイトの利用者はセックスの経験率が高く、経験人数が多い。さらに、出会い系サイトの利用者で不確実な、あるいは間違った避妊法を利用した者が多く、性感染症の感染率が高い。

## 第5章 友人・家族関係と若者の性

### 1. 全体像

仲間集団が若者の性を活発化させる傾向にあることがまず確認された。友人の性的経験や行動が気になると答えた者はそうでない者よりセックスの経験率が高い傾向はないが、初交年齢の遅い者ほど、またセックスの経験人数が少ない者ほど、友人の性的な経験や行動が気になると答える傾向が強い。このような傾向は、特に女子生徒に顕著である。

そして、友人との関係がうまくいっていない者ほど、初交年齢が低く、経験人数が多い。また、彼らはセックスを「快樂」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」と位置づけている。

家族との関係がうまくいっていない生徒も、セックスの経験率が高く、経験人数が多い。また、セックスを「快樂」「ストレス解消」と位置づけている者が多い。そして、友人との関係や家族との関係がうまくいっていない者には、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。

### 2. 友人の持つ影響力と若者の性

#### (1) 友人の持つ影響力と性意識

若者が主に友人とメディアから性についての知識と情報を得ていることはすでに第4章で明らかになった。この章から若者と友人や家族との関係に焦点を当て、これらの人間関係と若者の性のあり方との関連を見ていく。まずこの節では友人の持つ影響力に注目し、友人が若者の性にどのような影響を与えるかを見ていきたい。

10代の若者にとっては、性は極めてホットな話題であり、また非常に敏感な話題でもある。性的な話題を共有することによって仲間意識を強め、また性についての知識や情報を獲得していく。しかし、このような話題が逆にプレッシャーとなり、若者を自分がより遅れているのではないかと思わせ、若者の性をあおる側面もあることは否定できない。

ここで「あなたは、友人の性的な行動や経験が、どのくらい気になりますか」という質問を用い、「非常に気になる」と「少しは気になる」と答えた者を友人から受ける影響が大きいとみなし、「あまり気にならない」と「ぜんぜん気にならない」と答えた者を友人から受ける影響が小さいとみなす。友人から受ける影響力が大きい者とそうでない者との間に、性についての意識と行動はどのように異なっているかを見ていく。

分析に入る前に、まずどのくらいの人々が友人の性的経験や行動が気になるかを確認しておこう。図5-2-1に示したように、男子の59.7%、女子の65.6%が友人の性的な行動や経験が気になる(=「非常に気になる」+「少しは気になる」)と答えている。そして、女子は男子より、友人の性的な行動や経験が気になる者が多いようである。

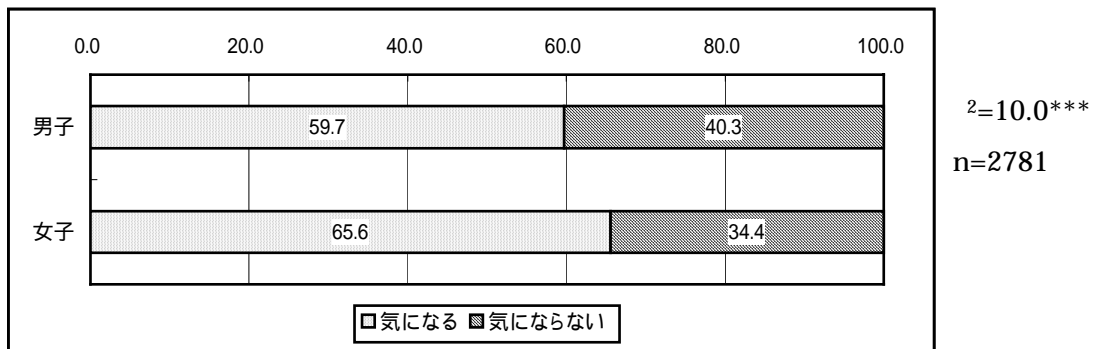


図 5-2-1 友人の持つ影響力 ( % )

注 : \* p < .05 \*\* p < .01 \*\*\* p < .005

性のイメージに関しては、表 5-2-1 に示したように、友人からの影響が大きい者は性・セックスを「楽しい」、「よい」、「恥ずかしい」と捉える者が多い。

表 5-2-1 友人の影響と性のイメージ

(「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
性・セックスは楽しい			
友人の影響が大	73.4	87.8	62.1
友人の影響が小	59.2	71.4	46.3
カイ2乗値	59.3***	51.6***	32.7***
性・セックスは汚い			
友人の影響が大	14.2	12.0	15.8
友人の影響が小	16.7	16.5	17.2
カイ2乗値	3.1	5.0*	0.5
性・セックスはよい			
友人の影響が大	77.1	88.2	68.7
友人の影響が小	62.9	72.3	53.2
カイ2乗値	62.5***	50.0***	33.2***
性・セックスは軽い			
友人の影響が大	13.7	14.9	12.5
友人の影響が小	13.3	14.0	11.8
カイ2乗値	0.1	0.2	0.2
性・セックスは恥ずかしい			
友人の影響が大	44.2	40.2	47.0
友人の影響が小	38.0	35.9	40.0
カイ2乗値	10.0***	2.3	6.4*
性・セックスは暗い			
友人の影響が大	5.2	6.7	3.6
友人の影響が小	5.5	6.0	4.5
カイ2乗値	0.1	0.2	0.6

注 : \* p < .05 \*\* p < .01 \*\*\* p < .005



次に、セックスの位置づけに関しては、表 5-2-2 に示したように、友人からの影響が大きい者のほうがセックスを「愛情表現」、「ふれあい」、「安らぎ」と捉えながらも、「快樂」とも捉えている（男子生徒では「征服欲を満たすもの」と回答している者が多い）。友人の性経験が気にならないと答えた者のほうが性・セックスは自分と関係ないものと思う者が多い。

表 5-2-2 友人の影響とセックスの位置づけ % (「そう思う」)

	全体	男子	女子
<b>愛情表現</b>			
友人の影響が大	83.4	80.8	85.5
友人の影響が小	68.2	63.6	73.1
カイ2乗値	85.9***	44.7***	33.3***
<b>ふれあい</b>			
友人の影響が大	45.3	43.8	47.0
友人の影響が小	34.3	33.9	34.8
カイ2乗値	32.2***	12.1***	19.8***
<b>安らぎ</b>			
友人の影響が大	22.2	22.9	21.3
友人の影響が小	16.7	16.9	16.0
カイ2乗値	12.2***	6.3*	6.0*
<b>子どもを作るための行為</b>			
友人の影響が大	65.5	66.3	64.8
友人の影響が小	65.1	63.2	66.2
カイ2乗値	0.0	1.2	0.3
<b>快樂</b>			
友人の影響が大	40.8	56.2	29.3
友人の影響が小	27.9	37.2	19.0
カイ2乗値	46.6***	42.1***	18.1***
<b>ストレス解消</b>			
友人の影響が大	7.7	12.0	4.4
友人の影響が小	6.9	9.5	4.9
カイ2乗値	0.7	1.9	0.2
<b>義務</b>			
友人の影響が大	2.9	5.1	1.1
友人の影響が小	3.8	5.0	2.4
カイ2乗値	1.6	0.0	3.6
<b>征服欲を満たすもの</b>			
友人の影響が大	9.3	13.4	6.4
友人の影響が小	6.3	6.8	5.3
カイ2乗値	8.0***	13.1***	0.8
<b>不快・苦痛</b>			
友人の影響が大	1.7	0.8	2.5
友人の影響が小	2.1	1.9	2.4
カイ2乗値	0.5	2.6	0.0
<b>自分と関係ないもの</b>			
友人の影響が大	3.1	1.8	4.2
友人の影響が小	8.5	8.3	8.9
カイ2乗値	40.4***	29.9***	13.4***
<b>その他</b>			
友人の影響が大	1.3	1.8	1.0
友人の影響が小	1.0	1.0	0.8
カイ2乗値	0.6	1.1	0.2

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

次に性規範に関しては表 5-2-3 に示したように、友人からの影響が大きい者のほうが「高校生のセックス」を受容している傾向が見られる。そして、友人からの影響が大きい者ほど、他の性規範を受容する傾向は反対に少ない。例えば、「金銭がらみのセックス」と「恋人以外の人とのセックス」について、友人からの影響が大きい者にはそれを受容する者が少ない。

表 5-2-3 友人の影響と性規範

%（「かまわない」 + 「どちらかといえばかまわない」）

	全体	男子	女子
高校生のセックス			
友人の影響が大	88.6	90.3	87.4
友人の影響が小	77.5	78.9	76.5
カイ2乗値	62.0***	32.2***	29.6***
愛のないセックス			
友人の影響が大	17.0	27.2	9.3
友人の影響が小	19.9	28.2	11.7
カイ2乗値	3.7	0.2	2.1
金銭がらみのセックス			
友人の影響が大	10.1	14.9	6.7
友人の影響が小	12.6	15.0	10.1
カイ2乗値	4.0*	0.0	5.6*
恋人以外の人とのセックス			
友人の影響が大	12.0	17.1	8.4
友人の影響が小	15.8	20.6	11.3
カイ2乗値	8.1***	2.5	3.4

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

最後に、性における男女のあり方に関しては、表 5-2-4 に示したように、友人の影響が大きい者に男性の主導性と女性の受動性を肯定し、また男性にはレイプ願望、女性にはレイプされたい願望があると思っている者が多い。この傾向は男子生徒にも女子生徒にも見られる。

表 5-2-4 友人の影響と男女の性のあり方

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
男性は、セックスで女性をリードすべきだ			
友人の影響が大	63.1	57.0	67.8
友人の影響が小	43.8	42.4	46.3
カイ2乗値	96.2***	24.9***	61.3***
女性は、男性のリードに従うべきだ			
友人の影響が大	30.4	30.3	30.8
友人の影響が小	21.2	21.2	22.0
カイ2乗値	27.5***	12.2***	12.3***
男性には、レイプ願望があると思う			
友人の影響が大	45.8	51.1	41.2
友人の影響が小	29.4	29.6	29.1
カイ2乗値	68.2***	55.6***	18.3***
女性には、レイプされたい願望があると思う			
友人の影響が大	12.5	15.7	9.9
友人の影響が小	7.0	9.8	3.8
カイ2乗値	19.9***	8.5***	16.4***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

## (2) 友人の持つ影響力と性行動

どのような若者が友人の性経験を気にするのだろうか。自分がまだセックスを経験していない者のほうが友人の性経験を気にするのか。そして性経験のある者のうち、初体験が遅い者ほど、友人の性経験を気にするのか。または経験人数の少ない者ほど、友人の性経験を気にするのかを見ていく。

まず、友人の性経験が気になるかどうかは、セックスの経験者と非経験者で違いがあるか否かを分析した。その結果を図 5-2-2 に示した。女子では性経験のある者のほうが友人の性経験が気になる傾向が強い。男子では統計的に有意な差は見られなかった。

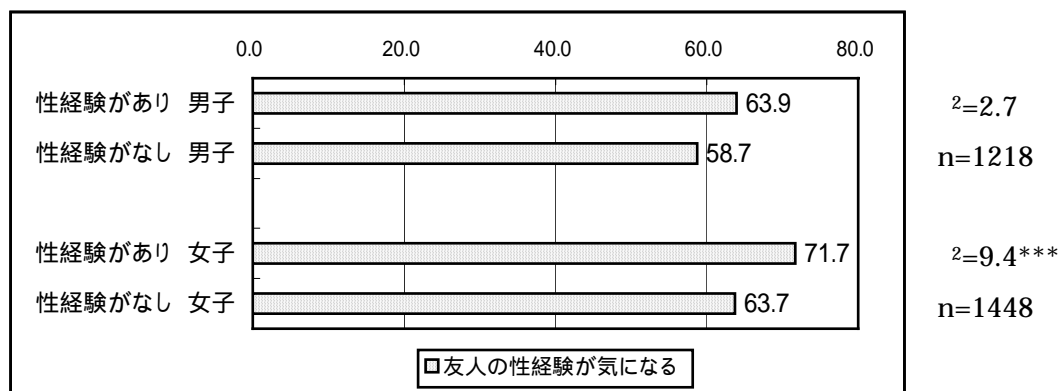


図 5-2-2 性経験と友人の性経験 ( % )

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

つぎに、性経験のある者のなかで、自分の初交年齢と性交渉の相手人数によって、友人の性経験が気になるかどうかの違いがあるか否かを分析した。その結果は図 5-2-3 と図 5-2-4 である。男女とも初交年齢の遅い者ほど友人の性経験が気になると答える傾向がある。また、女子生徒では性交渉の経験人数が少ない者ほど、友人の性経験が気になると答える傾向がある。

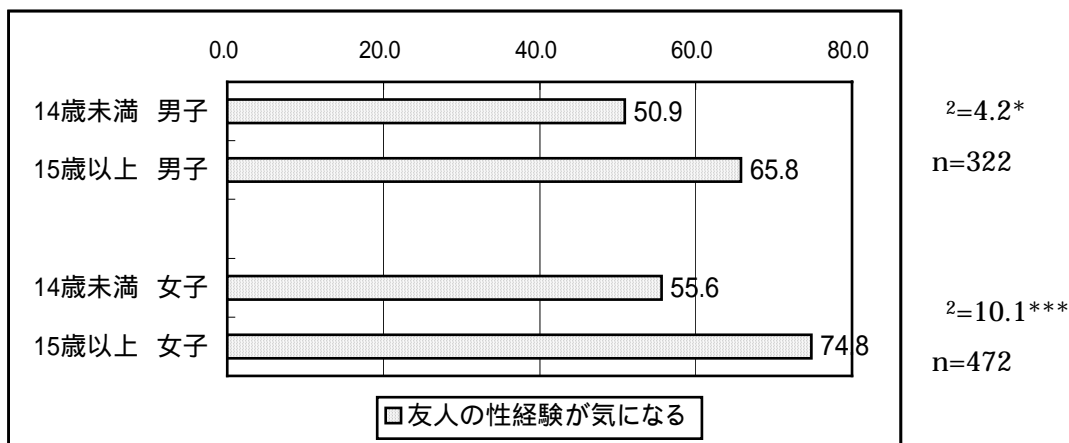


図 5-2-3 初交年齢と友人の性経験 (%)

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

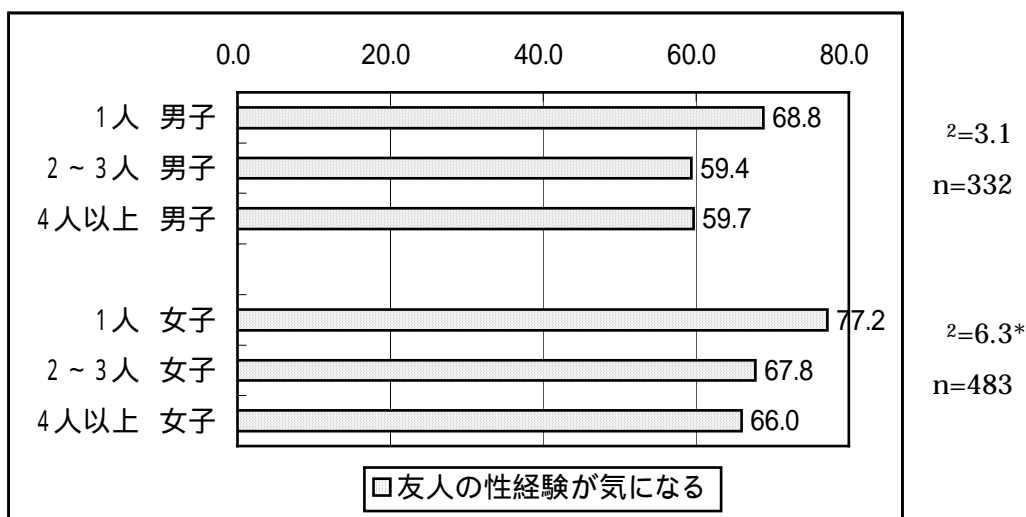


図 5-2-4 性交渉の人数と友人の性経験 (%)

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

性交渉を持たない生徒ほど、友人の性経験が気になると予測していたが、分析の結果、

むしろ経験者のほうが友人の性経験が気になる者の割合が高い(女子)。また、男子では初交年齢の遅い者ほど、友人の性経験が気になると回答する傾向がある。女子では初交年齢が遅い者、性交渉の相手人数が少ない者が友人の性経験が気になると回答している。

この分析結果から、友人の性的な行動や経験が一部の生徒の性をおおっていると言えよう。自分がセックスするとは限らないものの、友人の性的な行動や経験が気になり、また、性交経験のある者の中では、自分の初交年齢が遅い者ほど、性交渉の経験人数が少ない者ほど友人の性的な行動や経験が気になると答えている。特に女子生徒のほうがより仲間集団からの影響を受け、集団に同調しようとする傾向が見出せる。このような集団の力学が女子生徒の性交の早期化・活発化の一役を買っていることが推測されよう。

高校生は仲間集団の影響を受けている(=同調している)者ほど、性を「楽しい」、「よい」とポジティブに捉え、性交を「愛情」、「ふれあい」、「安らぎ」と見なし、また快樂的な側面も同時に捉えている。そして、このような仲間集団では性における男女のあり方は固定化しており、男性の主導性/女性の受動性、男性のレイプ願望/女性のレイプされたい願望を肯定している。

今日の若者が性に関する情報や知識を主に友人から得ていることと関連づけて考えると、仲間集団のもつ影響力に注目することが重要であろう。

### 3. 友人関係と若者の性

#### (1) 友人関係と性意識

友人の性的な経験は、若者の性意識と性行動に直接に影響を与えるとともに、若者がどのような友人関係を持っているかによっても、彼らの性意識・性行動も大きく異なると考えられよう。例えば、友人関係がうまくいっていない若者は、セックスに走りやすいと言われているが、果たしてそうなのかを、この節で見たい。

『あなたにとって、「学校の友人」のイメージはどんなものですか』という質問を用い、それぞれの項目について「楽しい」から「楽しくない」の4つの選択肢を設けた。友人との関係を「楽しい」と「どちらかといえば楽しい」と答えた者を「友人関係が良好」と見なし、「楽しくない」と「どちらかといえば楽しくない」と答えた者を「友人関係が良好でない」と見なす。友人関係が良好な者と良好でない者の間に、性についての意識と行動が異なっているかどうかを調べる。

友人関係と若者の性との関連に入る前に、若者の友人関係の実態を確認しておこう。図5-3-1に示したように、9割前後の者が友人との関係が楽しい(=「楽しい」+「どちらかといえば楽しい」と答えており、1割前後の生徒が楽しくないと答えている。

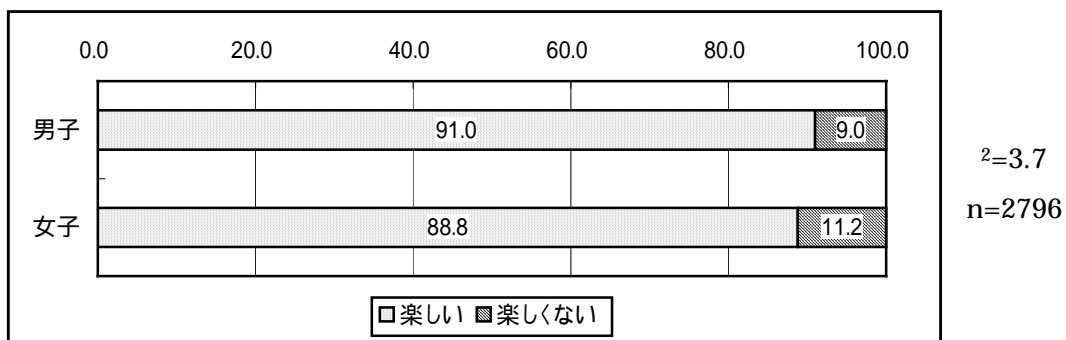


図 5-3-1 男女別で見た友人関係 ( % )

性のイメージに関しては、表 5-3-1 に示したように、友人関係が良好でない者のほうが、性・セックスのイメージはネガティブであり、性・セックスは「汚い」と思う者が多く、そして、「楽しい」と「よい」と思う者が少ない。

表 5-3-1 友人関係と性・セックスのイメージ

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
性・セックスは楽しい			
友人関係が良好	68.8	82.1	57.3
友人関係が良好でない	62.4	73.6	53.8
カイ2乗値	4.8*	4.7*	0.7
性・セックスは汚い			
友人関係が良好	14.1	13.3	15.0
友人関係が良好でない	22.4	16.4	25.9
カイ2乗値	13.7***	0.8	12.6***
性・セックスはよい			
友人関係が良好	72.8	82.5	64.7
友人関係が良好でない	63.9	78.9	52.8
カイ2乗値	9.8***	0.9	8.6***
性・セックスは軽い			
友人関係が良好	13.0	14.0	11.8
友人関係が良好でない	16.1	18.3	14.2
カイ2乗値	2.1	1.5	0.8
性・セックスは恥ずかしい			
友人関係が良好	42.0	38.5	44.9
友人関係が良好でない	43.4	40.2	43.1
カイ2乗値	0.2	0.1	0.2
性・セックスは暗い			
友人関係が良好	5.0	6.3	3.5
友人関係が良好でない	7.1	6.4	6.8
カイ2乗値	2.4	0.0	4.1

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

次に、セックスの位置づけに関しては、表 5-3-2 に示したように、女子生徒では友人関係が良好でない者のほうが、セックスを「愛情表現」、「ふれあい」と思う者が少なく、その反対に「快楽」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」、また、「自分と関係ない」と思う者が多い。男子生徒では友人関係が良好ではない者のほうが、セックスを「ふれあい」「子どもを作るための行為」と思う者が少なく、「自分と関係ない」と思う者が多い。



表 5-3-2 友人関係とセックスの位置づけ

% (「そう思う」)

	全体	男子	女子
<b>愛情表現</b>			
友人関係が良好	78.8	74.4	82.5
友人関係が良好でない	72.8	71.6	74.5
カイ2乗値	5.4*	0.4	6.3*
<b>ふれあい</b>			
友人関係が良好	42.2	41.1	43.9
友人関係が良好でない	32.9	29.4	35.2
カイ2乗値	9.2***	5.7*	4.5*
<b>安らぎ</b>			
友人関係が良好	19.8	20.6	19.0
友人関係が良好でない	20.8	20.2	21.2
カイ2乗値	0.2	0.0	0.4
<b>子どもを作るための行為</b>			
友人関係が良好	66.6	66.7	66.5
友人関係が良好でない	54.8	50.5	55.8
カイ2乗値	15.7***	11.5***	7.4**
<b>快樂</b>			
友人関係が良好	35.4	48.9	24.3
友人関係が良好でない	42.4	47.7	38.8
カイ2乗値	5.4*	0.1	16.1**
<b>ストレス解消</b>			
友人関係が良好	7.0	10.9	3.9
友人関係が良好でない	11.0	12.8	10.3
カイ2乗値	5.6*	0.4	13.9**
<b>義務</b>			
友人関係が良好	3.1	4.9	1.3
友人関係が良好でない	4.9	7.3	3.6
カイ2乗値	2.8	1.2	5.3*
<b>征服欲を満たすもの</b>			
友人関係が良好	8.0	10.9	5.3
友人関係が良好でない	10.6	9.2	12.1
カイ2乗値	2.3	0.3	11.9**
<b>不快・苦痛</b>			
友人関係が良好	1.7	1.2	2.3
友人関係が良好でない	2.8	1.8	3.6
カイ2乗値	1.7	0.4	1.1
<b>自分とは関係ない</b>			
友人関係が良好	4.3	3.5	5.1
友人関係が良好でない	9.9	10.1	9.7
カイ2乗値	17.0***	10.9***	5.9*
<b>その他</b>			
友人関係が良好	1.2	1.4	1.1
友人関係が良好でない	0.7	1.8	0.0
カイ2乗値	0.6	0.2	1.9

注：\*p&lt;.05 \*\*p&lt;.01 \*\*\*p&lt;.005

次に性規範に関しては表 5-3-3 に示したとおりである。友人関係が良好でない者のほうが様々な性規範を肯定する傾向がある。男子では友人関係が良好でない者のほうが「金銭がらみのセックス」を受容する者が多い。女子では友人関係が良好でない者のほうが「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。

表 5-3-3 友人関係と性規範

% (「かまわない」 + 「どちらかといえばかまわない」)

	全体	男子	女子
高校生のセックス			
友人関係が良好	84.8	86.2	83.8
友人関係が良好でない	82.4	83.0	82.0
カイ2乗値	1.1	0.9	0.3
愛のないセックス			
友人関係が良好	17.2	27.3	8.8
友人関係が良好でない	22.6	28.8	18.7
カイ2乗値	5.1*	0.1	16.2***
金銭がらみのセックス			
友人関係が良好	10.0	14.4	6.4
友人関係が良好でない	18.8	22.5	16.9
カイ2乗値	20.8***	5.2*	23.0***
恋人以外の人とのセックス			
友人関係が良好	12.4	17.9	8.0
友人関係が良好でない	20.6	22.5	19.3
カイ2乗値	14.9***	1.4	22.4***

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

最後に、男女の関係性に関しては表 5-3-4 に示したように、友人関係が良好でない者のほうが男性にはレイプ願望、女性にはレイプされたい願望があると考えられる生徒が多い。しかし、男性の主導性と女性の受動性については、友人関係の良し悪しで違いは見出せなかった。

表 5-3-4 友人関係と男女の性のあり方

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
男性には、レイプ願望がある			
友人関係が良好	38.5	42.5	34.8
友人関係が良好でない	52.2	45.9	56.3
カイ2乗値	19.1***	0.5	26.5***
女性には、レイプされたい願望がある			
友人関係が良好	9.4	12.6	6.7
友人関係が良好でない	18.7	21.9	16.3
カイ2乗値	22.9***	7.2*	18.3***

注：\* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

(2) 友人関係と性行動

友人関係と性行動との関連においては、友人関係が楽しくないと思う者ほど、男子は性行動を早い年齢で行ない(図5-3-2)、また男女ともセックスの相手人数が多いという傾向が見られる(図5-3-3)。

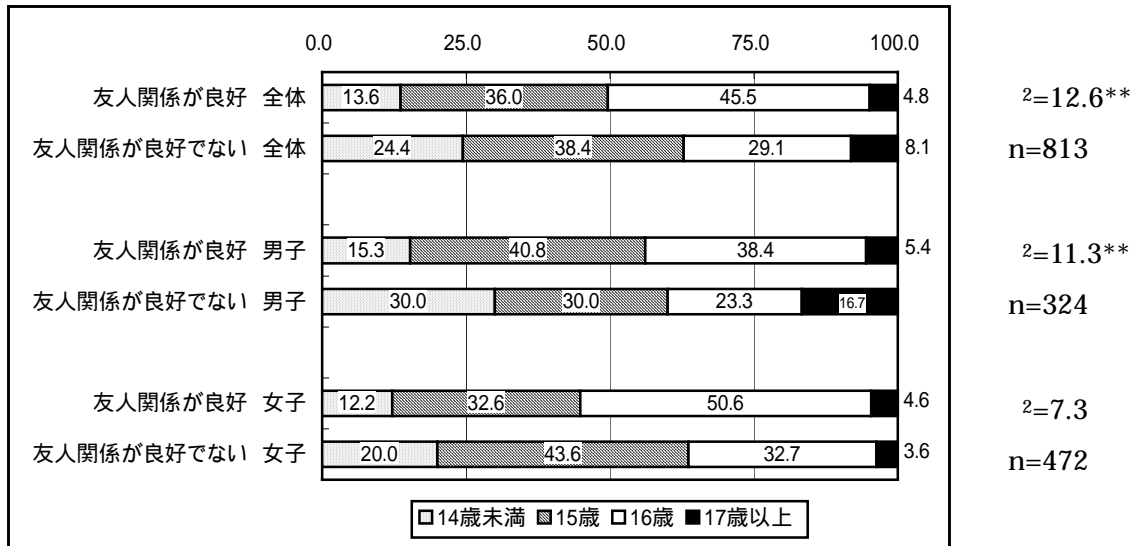


図5-3-2 友人関係と初交年齢との関連 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

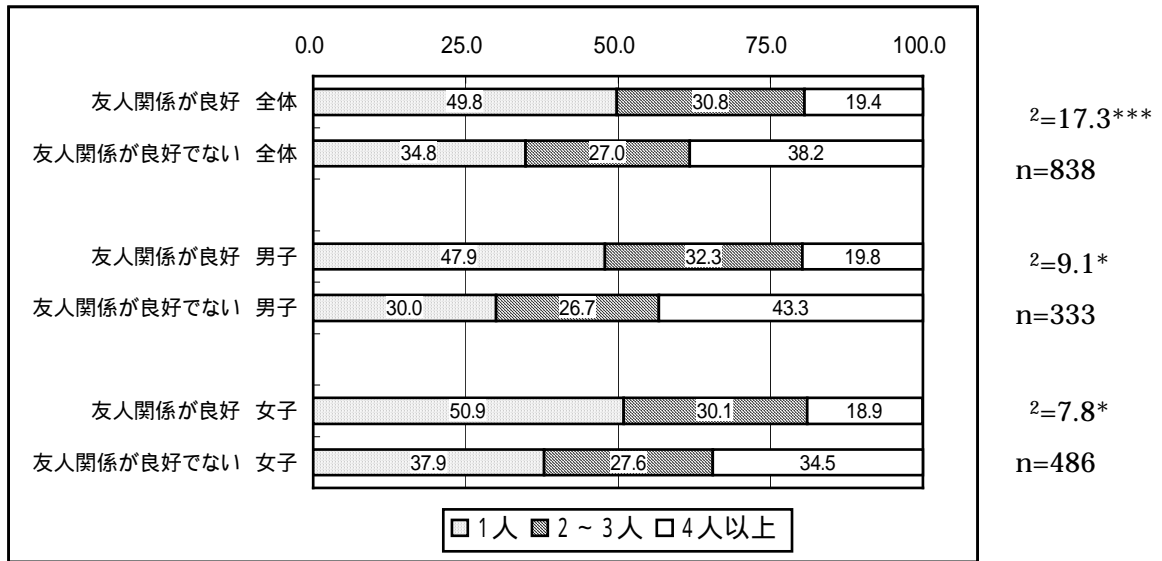


図5-3-3 友人関係と性交渉の相手人数との関連 (%)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

同年代の友人関係がうまくいかない若者は、早い年齢でセックスを経験し、性交渉の相手人数も多い。彼ら（主に女子生徒）にとって、セックスは愛情表現やふれあいの意味合いが比較的弱く、快楽を得たり、ストレスを解消し、征服欲を満たすものとしての意味合いが強い。

この分析結果から、友人関係がうまくいかずに仲間集団から孤立した若者は、セックスを通してストレスを解消し、征服欲を満たし、また快楽を得ていることが明らかになった。セックスは仲間集団から孤立した若者に癒しと快楽を提供している一方で、セックスのもつ愛情表現やふれあいなどのコミュニケーションとしての側面が若干弱められていると言えよう。

## 4 . 家庭環境と若者の性

### (1) 家庭環境と性意識

友人関係以外に、家庭環境も若者にとって大きな影響を持つものであろう。家庭を「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と答えた者を「家庭環境が良好」と見なし、「楽しくない」「どちらかといえば楽しくない」と答えた者を「家庭環境が良好でない」と見なし、家庭環境が良好な者と良好でない者の間に、性についての意識と行動が異なっているかどうかを調べる。

分析に入る前に、まず対象者たちの家庭環境の実態を確認しておこう。図 5-4-1 に示したように、男子の 22.5%、女子の 18.4%が家庭が楽しくない( = 「楽しくない」 + 「どちらかといえば楽しくない」) と答えている。

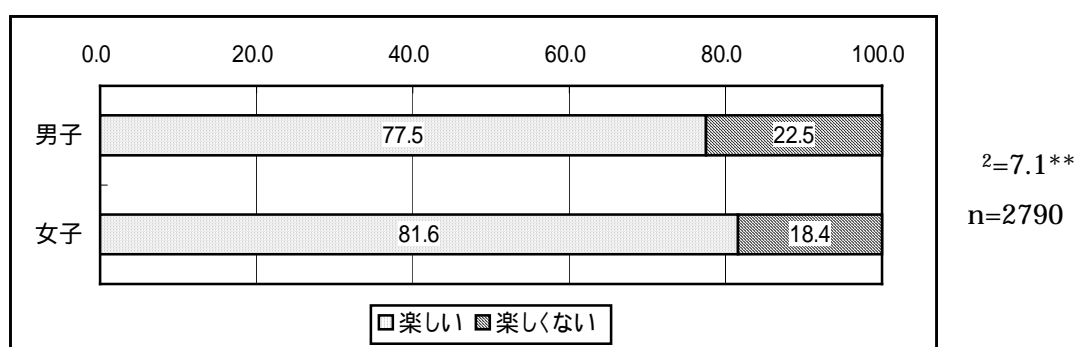


図 5-4-1 男女別で見た家庭環境 ( % )

注 : \* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

性・セックスのイメージに関しては、家庭環境が良好でない者のほうが性・セックスを「楽しい」「軽い」と捉えており、この傾向は特に女子生徒に見られる(図 5-4-2)。

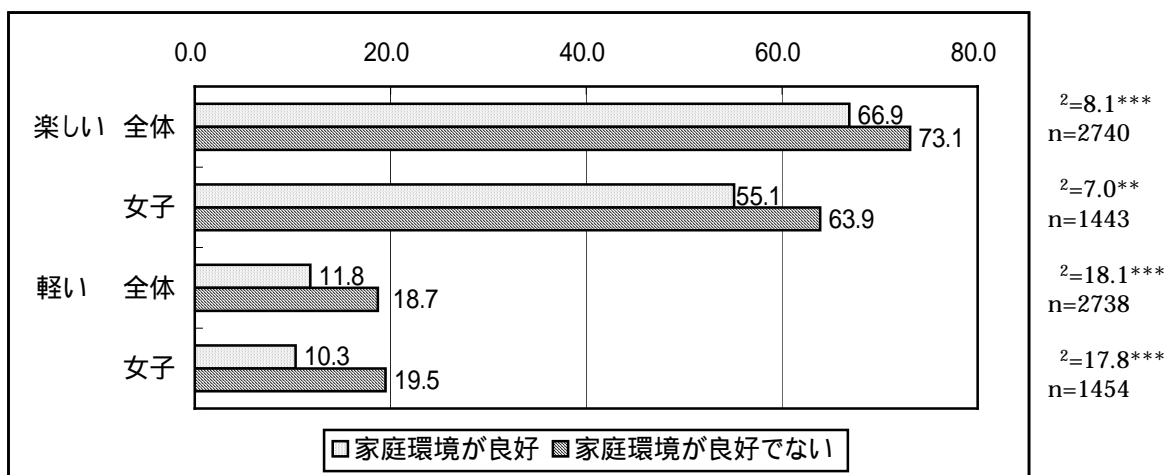


図 5-4-2 家庭環境と性・セックスのイメージ

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

次に、セックスの位置づけに関しては表 5-4-1 に示したように、家庭環境が良好でない者ほど、セックスを「快樂」、「征服欲をみたすもの」と位置づける者が多く、「子どもを作るための行為」と位置づける者が少ない。この傾向は特に女子生徒に見られる。

表 5-4-1 家庭環境とセックスの位置づけ

% (「そう思う」)

	全体	男子	女子
<b>快樂</b>			
家庭環境が良好	34.7	49.1	23.5
家庭環境が良好でない	41.8	47.6	36.9
カイ 2 乗値	9.8***	0.2	20.6***
<b>征服欲をみたすもの</b>			
家庭環境が良好	7.2	9.8	5.0
家庭環境が良好でない	11.9	13.9	10.0
カイ 2 乗値	13.5***	3.8	9.6***
<b>子どもを作るための行為</b>			
家庭環境が良好	67.4	67.2	67.2
家庭環境が良好でない	57.7	58.2	56.8
カイ 2 乗値	18.7***	7.5**	10.6***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

その次に、性規範に関しては表 5-4-2 に示したように、家庭環境が良好でない者ほど、「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」と「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。このような傾向はほぼ男子生徒にも女子生徒にも見られる。

表 5-4-2 家庭環境と性規範

%(「かまわない」+「どちらかといえばかまわない」)

	全体	男子	女子
高校生のセックス			
家庭環境が良好	83.3	84.6	82.4
家庭環境が良好でない	88.9	89.9	89.2
カイ2乗値	10.7***	5.0*	7.7***
愛のないセックス			
家庭環境が良好	16.0	26.1	8.3
家庭環境が良好でない	24.1	31.3	16.8
カイ2乗値	20.6***	3.0	18.5***
金銭がらみのセックス			
家庭環境が良好	9.3	13.2	6.5
家庭環境が良好でない	16.7	20.5	12.9
カイ2乗値	25.7***	8.9***	13.3***
恋人以外の人とのセックス			
家庭環境が良好	11.5	16.2	8.0
家庭環境が良好でない	19.3	24.8	14.0
カイ2乗値	24.4***	10.8***	9.8***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

最後に、男女の関係性に関しては、表 5-4-3 に示したように、家庭環境が良好でない者ほど、男性にはレイプ願望、女性にはレイプされたい願望があると思う者が多い。この傾向は特に女子生徒に見られる。男性の主導性と女性の受動性は家庭環境の良し悪しで違いは見出せなかった。

表 5-4-3 家庭環境と男女の性のあり方

%(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)

	全体	女子
男性には、レイプ願望がある		
家庭環境が良好	38.4	35.3
家庭環境が良好でない	45.2	44.9
カイ2乗値	8.5***	8.2***
女性には、レイプされたい願望がある		
家庭環境が良好	9.2	6.7
家庭環境が良好でない	14.3	12.3
カイ2乗値	12.3***	9.6***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

## (2) 家庭環境と性行動

家庭環境が良好でない者のほうが、セックスを経験した者が多い。この傾向は男子生徒にも女子生徒にも見られる(図5-4-3)。

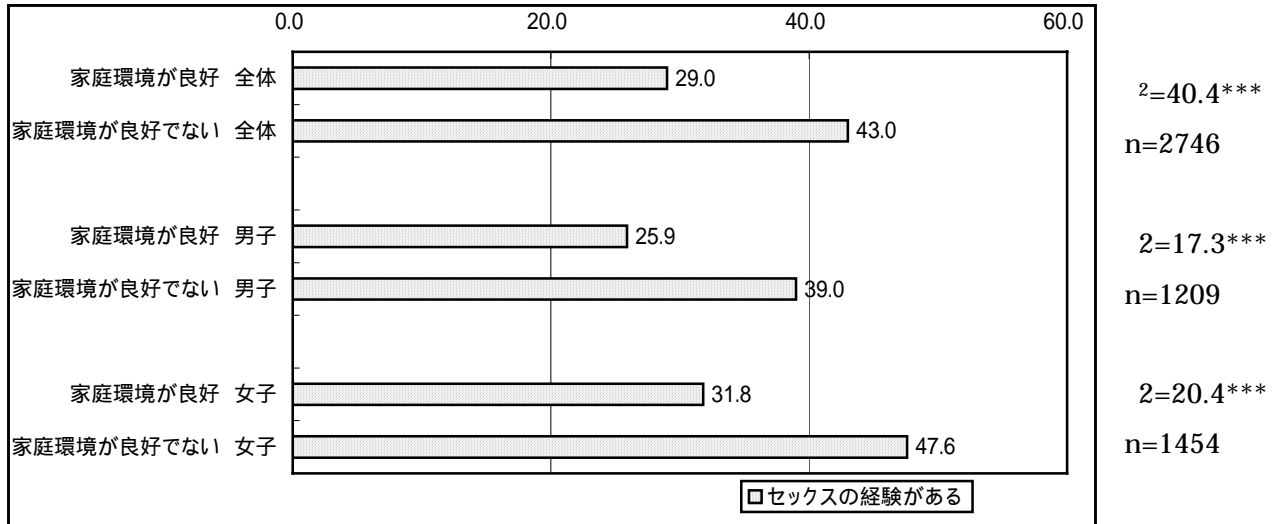


図5-4-3 家庭環境とセックスの経験率

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

そして、家庭環境が良好でない者のほうが、セックスの経験人数が多い。この傾向は特に女子生徒に見られる(図5-4-4)。家庭環境と初交年齢との間に、統計的に有意な関連は見出せなかった。

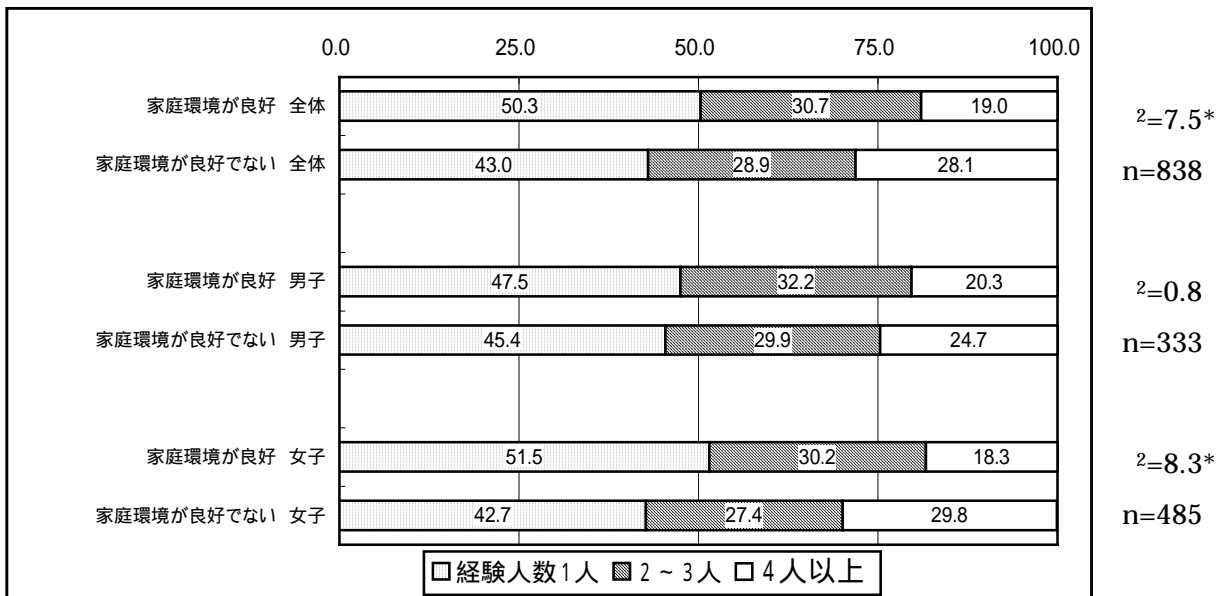


図5-4-4 家庭環境とセックスの経験人数との関連

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### (3) 家庭環境と親子間コミュニケーション

実際に家庭が楽しいと思う生徒とそうでない生徒との間で、親とのコミュニケーションはいかに異なっているのだろうか。「困ったときに頼りになる」「気持ちを分かってくれる」から「子どもに無関心」「子どもの嘘にだまされやすい」などの6項目に関して、父との関係、母との関係をそれぞれたずねた。その結果は、表5-4-4に示したとおりである。

家庭が楽しくないと思う生徒には、両親が「困ったときに頼りになる」、「気持ちを分かってくれる」と思う者が少なく、親が「子どもに無関心」、「子どもの嘘にだまされやすい」と思う者が多い。家庭環境が良好でない家庭では親子のコミュニケーションに問題が多いと言えよう。



表 5-4-4 家庭環境と親子コミュニケーション

%(人数)

	楽しい家庭	楽しくない家庭	カイ2乗値
父は困ったときに頼りになる			
そう思う	51.1	17.9	301.8***
どちらとも言えない	32.8	33.2	
そう思わない	16.1	48.9	
合計	100.0(2091)	100.0(524)	
母は困ったときに頼りになる			
そう思う	63.9	28.8	347.9***
どちらとも言えない	28.6	37.0	
そう思わない	7.5	34.1	
合計	100.0(2208)	100.0(548)	
父は気持ちを分かってくれる			
そう思う	30.9	10.9	260.9***
どちらとも言えない	41.7	24.4	
そう思わない	27.4	64.7	
合計	100.0(2091)	100.0(521)	
母は気持ちを分かってくれる			
そう思う	42.9	14.7	369.1***
どちらとも言えない	42.1	33.5	
そう思わない	14.9	51.8	
合計	100.0(2202)	100.0(546)	
父は子どもに無関心			
そう思う	9.1	22.2	90.6***
どちらとも言えない	32.6	37.9	
そう思わない	58.2	39.8	
合計	100.0(2086)	100.0(522)	
母は子どもに無関心			
そう思う	4.2	8.5	44.4***
どちらとも言えない	23.9	33.8	
そう思わない	71.8	57.7	
合計	100.0(2201)	100.0(544)	
父は子どもの嘘にだまされやすい			
そう思う	10.6	19.0	29.7***
どちらとも言えない	33.0	33.5	
そう思わない	56.4	47.5	
合計	100.0(2083)	100.0(522)	
母は子どもの嘘にだまされやすい			
そう思う	11.3	15.9	14.4***
どちらとも言えない	31.4	34.9	
そう思わない	57.3	49.2	
合計	100.0(2196)	100.0(541)	
父は教育熱心だ			
そう思う	13.5	15.2	20.3***
どちらとも言えない	35.1	24.8	
そう思わない	51.4	60.0	
合計	100.0(2094)	100.0(525)	
母は教育熱心だ			
そう思う	27.0	30.7	14.3***
どちらとも言えない	43.8	34.9	
そう思わない	29.2	34.4	
合計	100.0(2206)	100.0(547)	
父は門限に厳しい			
そう思う	28.9	36.8	14.3***
どちらとも言えない	26.3	20.5	
そう思わない	44.8	42.7	
合計	100.0(2083)	100.0(517)	
母は門限に厳しい			
そう思う	31.1	35.9	10.0**
どちらとも言えない	31.3	24.6	
そう思わない	37.6	39.4	
合計	100.0(2205)	100.0(540)	

注：\*p&lt;.05 \*\*p&lt;.01 \*\*\*p&lt;.005

家庭環境が良好でない者は、セックスの経験率が高く、性交渉の経験人数が多い。彼ら（特に女子生徒）の性のイメージは「楽しい」ものであり、「軽い」ものである。また、家庭環境が良好でない女子にとっては、セックスは快楽を得たり、征服欲を満たすものである。家庭環境が良好でない者は男女ともに「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。

家庭環境が良好ではないと答えた生徒と親とのコミュニケーションにおいても、親に理解されない、親が頼りにならない、または親は子どもに無関心というような親子間のコミュニケーションに問題が多いことが確認された。

## 第6章 若者の価値観・経験と性

### 1. 全体像

価値観と若者の性意識・性行動との間に大きな関連が見られた。退屈感、享楽感、虚無感と徒労感の強い者ほど、セックスを「快樂」「征服欲を満たすもの」と位置づけ、セックスを早い時期に体験し、多くの人と性交渉を持つ。さらに、このような価値観を強く持つ者ほど、出会い系サイトや援助交際などに走る傾向も見られた。

また、友人関係、家庭環境と学校が楽しくないと思う者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。

そして、初交年齢、性交渉の経験人数と若者の性意識との関連を調べた。初交年齢の早い者ほど、経験人数の多い者ほど、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」等を受容する者が多く、セックスを「快樂」「ストレス解消」と捉える傾向が見られる。

### 2. 若者の価値観と若者の性

#### (1) 若者の価値観と性意識

これまでの分析では、メディアから多くの影響を受ける者ほどセックスが快樂を得たり、ストレスを解消したり、征服欲を満たすための手段となっている。友人関係や家庭環境などの人間関係が良好でない者ほど、同じくセックスを手段化していることも確認された。しかし、メディアから影響を受けやすい者、また、人間関係が希薄な者には、ある種の価値観が存在し、これらの価値観を持っているからこそ、若者はセックスを手段化しているのではないかと推測される。

本節では、若者の価値観と性についての意識・行動との関連を見ていくことにする。価値観では「毎日が退屈でつまらない」(以下、「退屈感」と略す)、「今が楽しければそれでいい」(「享楽感」とする)、「世の中はお金がすべてだ」(「虚無感」とする)、「まじめに努力しても報われない」(「徒労感」とする)の4項目を取り上げる。毎日の生活に退屈しており、努力しても報われない、今が楽しければよいと思う者、世の中はお金がすべてだと思う者は、勉強や人間関係、趣味に時間やエネルギーをつぎ込むこともなく、若い体に湧き上がってくるエネルギーをどこに、何に向けて発散しているのだろうか。彼らにとってセックスは身近にあるもので、手っ取り早いものの一つではないかと推測されよう。セックスで日常生活の退屈さを紛らわせ、また性的な相手から異性として承認されることによって、自己肯定感が高まり、男としてのアイデンティティ、または女としてのアイデンティティを確保していることが考えられる。

価値観と若者の性のあり方との関連を見る前に、まず若者の価値観の実態を確認しておこう。図 6-2-1 に示したように、努力しても報われない(「徒労感」と思う者は 4 割弱、毎日が退屈(「退屈感」と思っている者は 4 割前後、お金がすべて(「虚無感」)、今が楽しければ(「享楽感」と思う者は 5 割前後いることが確認された。

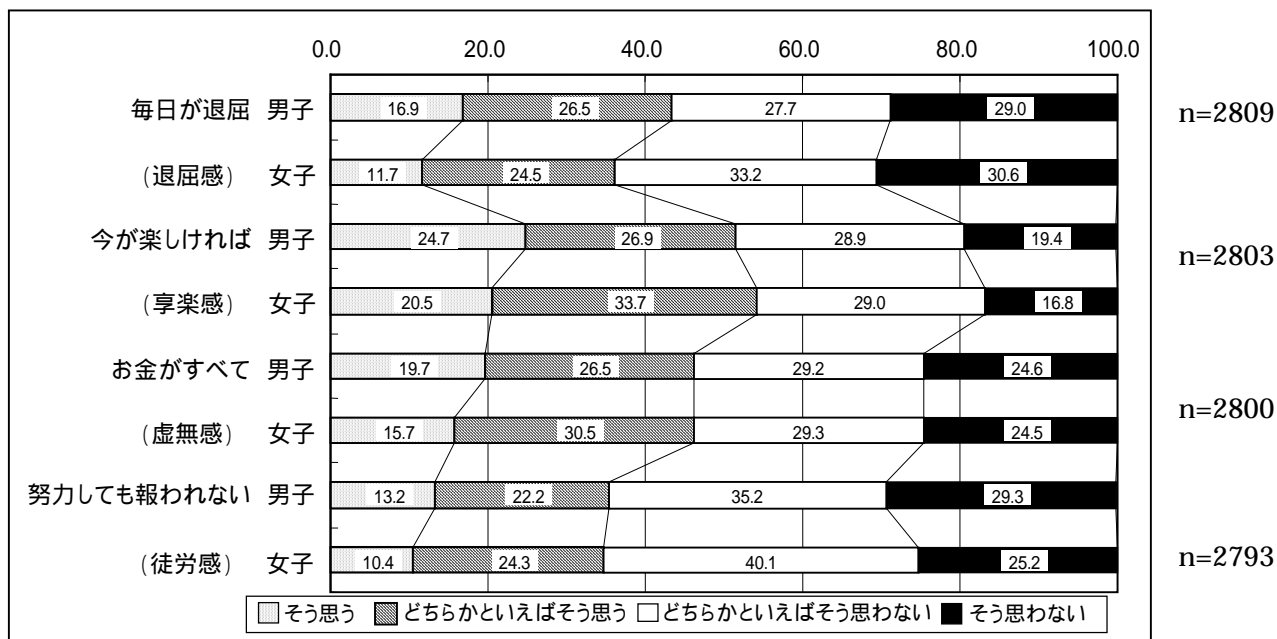


図 6-2-1 男女別で見た若者の価値観 ( % )

### 性のイメージ

性のイメージに関しては、表 6-2-1 に示したように、性・セックスを「楽しい」「汚い」「軽い」と捉える者は、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が高い。他の項目に関しては、統計的な違いは見出せなかった。

表 6-2-1 若者の価値観と性のイメージ 平均値 ( ケース数 )

	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感
性は楽しい				
そう思う人	2.26(1891)	2.66(1888)	2.46(1884)	2.21(1880)
そう思わない人	2.18( 885)	2.41( 885)	2.28( 885)	2.19( 883)
F 値	4.36*	36.20***	17.46***	0.39
性は汚い				
そう思う人	2.37( 420)	2.48( 420)	2.63( 417)	2.44( 418)
そう思わない人	2.21(2374)	2.60(2373)	2.36(2372)	2.16(2363)
F 値	7.81***	4.51*	24.09***	28.04***
性は軽い				
そう思う人	2.48( 373)	2.89( 372)	2.79( 372)	2.49( 370)
そう思わない人	2.20(2400)	2.53(2399)	2.34(2396)	2.16(2392)
F 値	25.37***	40.47***	61.88***	39.00***

注：F 検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4 と得点化する。

\* P<.05   \*\* P<.01   \*\*\* P<.005

### セックスの位置づけ

セックスの位置づけに関しては、セックスを「快楽」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」「義務」と思う者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い ( 表 6-2-2 )。

表 6-2-2 性の位置づけと若者の価値観 平均値 ( ケース数 )

	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感
快楽				
そう思わない人	2.20(1791)	2.52(1788)	2.32(1787)	2.15(1786)
そう思う人	2.30(1020)	2.69(1018)	2.55(1017)	2.27(1012)
F 値	6.40*	18.23***	32.99***	9.03***
ストレス解消				
そう思わない人	2.21(2601)	2.56(2597)	2.37(2595)	2.18(2592)
そう思う人	2.62( 210)	2.89( 209)	2.83( 209)	2.42( 206)
F 値	32.39***	20.48***	37.51***	11.71***
征服				
そう思わない人	2.20(2580)	2.55(2575)	2.38(2573)	2.17(2566)
そう思う人	2.60( 231)	2.90( 231)	2.74( 231)	2.44( 232)
F 値	31.93***	24.43***	26.87***	15.58***
義務				
そう思わない人	2.23(2716)	2.57(2712)	2.39(2710)	2.18(2704)
そう思う人	2.40( 95)	2.79( 94)	2.84( 94)	2.65( 94)
F 値	2.47	3.91*	17.02***	21.48***

注：F 検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4 と得点化する。

\* P<.05   \*\* P<.01   \*\*\* P<.005

## 性規範

性規範に関しては、表 6-2-3 に示したように、「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を肯定している者ほど（＝「かまわない」＋「どちらかといえばかまわない」）、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。

表 6-2-3 若者の価値観と性規範 平均値（ケース数）

	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感
高校生のセックス				
肯定派	2.28(2420)	2.67(2418)	2.46(2411)	2.22(2405)
否定派	1.98( 447)	2.14( 444)	2.11( 446)	2.09( 447)
F値	33.78***	102.21***	43.63***	7.21**
愛のないセックス				
肯定派	2.52( 522)	2.88( 522)	2.86( 516)	2.44( 518)
否定派	2.17(2349)	2.52(2344)	2.30(2345)	2.15(2338)
F値	51.04***	52.40***	130.38***	41.21***
金銭がらみのセックス				
肯定派	2.62( 318)	2.90( 319)	3.03( 316)	2.54( 315)
否定派	2.19(2551)	2.55(2548)	2.32(2545)	2.16(2540)
F値	50.48***	33.60***	134.02***	44.63***
恋人以外の人とのセックス				
肯定派	2.51( 386)	2.93( 385)	2.98( 383)	2.49( 383)
否定派	2.19(2482)	2.53(2480)	2.31(2476)	2.15(2469)
F値	32.47***	51.87***	142.71***	40.02***

注：F検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4と得点化する。

\*P<.05 \*\*P<.01 \*\*\*P<.005

## 男女の性のあり方

男女の性のあり方に関しては、表 6-2-4 に示したように、男性の主導性や女性の受動性を肯定している（＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）者ほど、また、男性のレイプ願望、女性のレイプされたい願望を肯定している者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。

表 6-2-4 若者の価値観と男女の性のあり方

平均値(ケース数)

	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感
男性は、セックスでは女性をリードすべきだ				
肯定派	2.27(1562)	2.70(1562)	2.46(1557)	2.22(1557)
否定派	2.20(1235)	2.43(1238)	2.33(1237)	2.18(1231)
F値	2.87	47.53***	11.02***	1.36
女性は、男性のリードに従うべき				
肯定派	2.37( 775)	2.78( 753)	2.56( 752)	2.32( 750)
否定派	2.20(2025)	2.51(2031)	2.35(2027)	2.16(2023)
F値	15.61***	39.48***	23.08***	14.96***
男性には、レイプ願望がある				
肯定派	2.41(1068)	2.70(1070)	2.58(1067)	2.34(1067)
否定派	2.13(1624)	2.50(1624)	2.27(1622)	2.12(1617)
F値	47.52***	24.80***	58.56***	33.21***
女性には、レイプされたい願望がある				
肯定派	2.44( 288)	2.84( 287)	2.71( 288)	2.43( 287)
否定派	2.22(2467)	2.55(2468)	2.36(2464)	2.18(2459)
F値	12.38***	20.27***	28.99***	17.15***

注：F検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4と得点化する。

\*P<.05 \*\*P<.01 \*\*\*P<.005

## (2) 若者の価値観と性行動

これまでの分析で性・セックスを「楽しい」「軽い」「汚い」と捉える者ほど、セックスを「快樂」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」「義務」と位置づける者ほど、「高校生のセックス」、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者ほど、また、男性の主導性と女性の受動性、男性のレイプ願望と女性のレイプされたい願望を肯定する者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強いことが確認された。

次に、若者の価値観と性行動との関連を見ていく。まず、セックスの経験者とそうでない者との間に、価値観の違いが見られた。表 6-2-5 に示したように、セックスの経験者に退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。この傾向は女子生徒が特に顕著である。また、男子生徒にもセックスの経験者のほうが享楽感、虚無感が強いことが確認された。

表 6-2-5 セックスの経験と若者の価値観 平均値(ケース数)

	全体	男子	女子
<b>退屈感</b>			
経験あり	2.33( 884)	2.40(351)	2.29(506)
経験なし	2.20(1902)	2.29(876)	2.12(957)
F 値	9.33***	2.70	10.00***
<b>享楽感</b>			
経験あり	2.80( 883)	2.84(350)	2.78(506)
経験なし	2.47(1900)	2.46(877)	2.47(953)
F 値	64.72***	33.50***	32.30***
<b>虚無感</b>			
経験あり	2.59( 881)	2.63(349)	2.56(506)
経験なし	2.31(1899)	2.33(878)	2.27(951)
F 値	46.06***	20.59***	26.95***
<b>徒労感</b>			
経験あり	2.27( 875)	2.21(347)	2.31(501)
経験なし	2.17(1897)	2.19(874)	2.14(953)
F 値	6.19*	0.07	10.37***

注：F 検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4 と、得点化する。

\*p<.05   \*\*p<.01   \*\*\*p<.005



次に、性交渉の経験人数と若者の価値観との関連を表 6-2-6 に示した。性交渉の経験人数が多い者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。

表 6-2-6 性交渉の相手人数と若者の価値観 平均値（ケース数）

	全体	男子	女子
<b>退屈感</b>			
1人	2.20(410)	2.26(156)	2.19(241)
2～3人	2.39(260)	2.49(108)	2.31(146)
4人以上	2.51(185)	2.51(74)	2.50(105)
F値	6.53***	1.92	3.68*
<b>享楽感</b>			
1人	2.66(410)	2.66(156)	2.69(241)
2～3人	2.92(261)	3.02(108)	2.85(147)
4人以上	2.97(184)	2.99(73)	2.92(105)
F値	8.46***	4.60*	2.49
<b>虚無感</b>			
1人	2.42(409)	2.40(155)	2.43(241)
2～3人	2.71(261)	2.79(108)	2.66(147)
4人以上	2.86(184)	3.03(73)	2.72(105)
F値	13.61***	9.35***	4.22*
<b>徒労感</b>			
1人	2.15(407)	2.09(155)	2.21(239)
2～3人	2.39(259)	2.41(108)	2.37(145)
4人以上	2.45(182)	2.28(71)	2.53(105)
F値	7.36***	2.98	4.61**

注：F検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4と、得点化する。

\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .005$

また、初交年齢と若者の価値観との間にも、表 6-2-7 に示したように統計的に有意な関連が確認された。初交年齢の低い者は、享楽感、虚無感と徒労感が強い。

表 6-2-7 初交年齢と若者の価値観 平均値（ケース数）

	全体	男子	女子
<b>退屈感</b>			
14 歳未満	2.46(124)	2.60( 55)	2.33( 64)
15 歳以上	2.28(707)	2.31(274)	2.28(416)
F 値	3.28	3.18	0.15
<b>享楽感</b>			
14 歳未満	3.17(123)	3.19( 54)	3.14( 64)
15 歳以上	2.74(708)	2.75(274)	2.74(417)
F 値	19.10***	7.81**	9.21***
<b>虚無感</b>			
14 歳未満	2.90(124)	3.07( 55)	2.78( 64)
15 歳以上	2.54(706)	2.56(272)	2.52(417)
F 値	12.65***	9.81***	3.71
<b>徒労感</b>			
14 歳未満	2.45(121)	2.30( 53)	2.60( 63)
15 歳以上	2.24(702)	2.18(272)	2.27(413)
F 値	5.01*	0.59	6.87**

注：F 検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4 と、得点化する。

\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

さらに、アダルトビデオや出会い系サイトなどの性風俗メディアとの接触と若者の価値観の間にも有意な関連が確認された。表 6-2-8 に示したように、男子ではアダルトビデオを見る者、出会い系サイトを利用する者は、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。女子でも男子と同様の傾向が確認される。それ以外にも、女子ではテレクラ、伝言ダイヤル、ソープランド、デートクラブ、援助交際などを利用する者にも、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。この分析結果から、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い者ほど、風俗メディアへアクセスする者が多いと言えよう。

表 6-2-8 若者の価値観と性風俗との接触

平均値(ケース数)

	男子				女子			
	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感
インターネットでアダルト画像を見ること								
ない	2.28(579)	2.53(577)	2.39(579)	2.13(575)	2.14(1204)	2.57(1199)	2.35(1198)	2.16(1193)
ある	2.35(629)	2.60(630)	2.44(627)	2.48(627)	2.32( 220)	2.59( 220)	2.53( 219)	2.39( 221)
F 値	1.23	1.23	0.71	3.97*	5.79*	0.06	6.03*	11.64***
アダルトビデオを見ること								
ない	2.18(324)	2.39(322)	2.28(322)	2.23(323)	2.12(1015)	2.52(1010)	2.29(1010)	2.16(1008)
ある	2.37(884)	2.63(885)	2.47(884)	2.17(879)	2.30( 409)	2.70( 409)	2.59( 407)	2.29( 406)
F 値	7.27**	12.15***	7.27**	0.83	9.95***	9.27***	27.24***	5.35*
テレクラを使うこと								
ない	2.32(1183)	2.56(1182)	2.41(1181)	2.19(1177)	2.14(1305)	2.56(1300)	2.35(1298)	2.18(1295)
ある	2.24( 25)	3.00( 25)	2.72( 25)	1.96( 25)	2.47( 119)	2.71( 119)	2.71( 119)	2.40( 119)
F 値	0.14	4.23*	2.06	1.28	11.99***	2.52	13.96***	5.83*
伝言ダイヤルを使うこと								
ない	2.30(1143)	2.56(1143)	2.39(1141)	2.18(1138)	2.16(1386)	2.57(1381)	2.36(1379)	2.19(1376)
ある	2.57( 65)	2.78( 64)	2.89( 65)	2.31( 64)	2.68( 38)	2.95( 38)	2.84( 38)	2.55( 38)
F 値	3.78	2.73	13.84***	1.08	10.56***	5.47*	8.33***	5.68*
ソープランドを利用すること								
ない	2.31(1183)	2.56(1182)	2.40(1181)	2.18(1177)	2.17(1420)	2.57(1415)	2.37(1413)	2.19(1410)
ある	2.68( 25)	3.04( 25)	3.08( 25)	2.48( 25)	3.25( 4)	4.00( 4)	4.00( 4)	4.00( 4)
F 値	2.92	5.05*	10.00***	2.19	4.77*	8.27***	10.39***	15.16***
デートクラブを利用すること								
ない	2.31(1197)	2.56(1196)	2.42(1195)	2.18(1191)	2.17(1419)	2.57(1414)	2.37(1412)	2.19(1409)
ある	2.82( 11)	3.18( 11)	2.82( 11)	2.82( 11)	3.20( 5)	3.40( 5)	3.60( 5)	3.40( 5)
F 値	2.43	3.71	1.58	4.40*	5.43*	3.45	7.37**	8.40***
援助交際をすること								
ない	2.32(1199)	2.56(1198)	2.41(1197)	2.18(1193)	2.16(1396)	2.57(1391)	2.36(1389)	2.19(1386)
ある	2.56( 9)	3.44( 9)	3.33( 9)	2.89( 9)	2.89( 28)	3.11( 28)	3.29( 28)	2.79( 28)
F 値	0.45	6.18*	6.78**	4.45*	15.32***	8.20***	23.44***	11.45***
出会い系サイトを利用すること								
ない	2.28(1013)	2.51(1013)	2.34(1012)	2.17(1009)	2.11(1101)	2.49(1097)	2.29(1096)	2.15(1094)
ある	2.46( 235)	2.84( 234)	2.71( 234)	2.31( 233)	2.37( 396)	2.82( 395)	2.64( 394)	2.35( 393)
F 値	5.59*	19.21***	23.39***	4.13*	20.22***	31.81***	35.63***	14.19***

注：F 検定の分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4 と得点化する。

\*P<.05   \*\*P<.01   \*\*\*P<.005

退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い者ほど、セックスを「快楽」、「ストレスを解消するもの」、「征服欲を満たすもの」として位置づけている。また、このような価値観を持つ者ほど、セックスの経験率が高い。そして、彼らはセックスを経験する時期が早く、セックスの経験人数も多い。さらに、性風俗と接触する者も多い。

### (3) 若者の価値観と彼らを取り囲む人間関係

若者の価値観は彼らの性意識、性行動、また性風俗との接触との間に関連があることが確認された。しかし、若者の価値観は友人関係や家族関係などの若者を取り囲む重要な他者との関係によって大きく規定されると推測できる。

ここでは主に、このような若者の価値観と若者を取り囲む人間関係との関係に焦点を当て、分析を進める。

表 6-2-9 に示したように家族関係、友人関係、学校の授業が楽しくないと思う者( = 「楽しくない」 + 「どちらかといえば楽しくない」) ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。このような傾向は、男子生徒にも女子生徒にも見られる。

表 6-2-9 人間関係と若者の価値観との関連 平均値( ケース数)

	男子				女子			
	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感	退屈感	享楽感	虚無感	徒労感
家庭環境								
楽しい	2.21(962)	2.53(960)	2.35(962)	2.12(956)	2.09(1233)	2.54(1229)	2.30(1227)	2.11(1225)
楽しくない	2.68(278)	2.73(278)	2.65(275)	2.42(277)	2.55( 281)	2.73( 280)	2.67( 279)	2.55( 278)
F値	44.05***	7.32**	17.40***	19.67***	51.80***	8.51***	30.66***	52.89***
友人関係								
楽しい	2.27(1132)	2.59(1130)	2.39(1129)	2.17(1126)	2.08(1347)	2.57(1343)	2.32(1339)	2.13(1338)
楽しくない	2.88( 111)	2.41( 111)	2.65( 111)	2.42( 110)	2.89( 169)	2.60( 168)	2.74( 169)	2.73( 168)
F値	35.11***	3.15	6.20*	6.46*	107.72***	0.08	25.31***	64.07***
学校の授業								
楽しい	1.93(337)	2.42(336)	2.21(336)	2.06(337)	1.69( 445)	2.34( 441)	2.17( 443)	1.90( 441)
楽しくない	2.47(904)	2.64(902)	2.49(901)	2.24(896)	2.38(1072)	2.67(1071)	2.45(1067)	2.32(1066)
F値	67.57***	9.98***	17.86***	7.86***	168.10***	35.69***	25.30***	63.99***

注：F検定による分析結果

それぞれの価値観について、「そう思わない」= 1、「どちらかといえばそう思わない」= 2、「どちらかといえばそう思う」= 3、「そう思う」= 4と得点化する。

\*p<.05 \*\*P<.01 \*\*\*P<.005

若者の価値観や心理的状态は、周囲の人々との関係によって大きく規定され、家庭環境と学校環境(友人関係、授業内容)を楽しくないと思う者ほど、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。このような価値観を持つ者は様々な性規範を受容し、セックスを快樂、ストレス解消、性征服欲を満たすものとして位置づける傾向がある。また、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い者ほど、セックスの経験率が高く、初交年齢が低く、また経験人数が多い。

### 3. 若者の性経験と性意識

#### (1) 性経験の有無と性意識

これまで若者の価値観と性のあり方との関連を扱ってきた。価値観によって若者の性についての意識と行動がいかにより異なるか、また、彼らの価値観が友人関係、家庭環境および学校的环境によっていかにより異なってくるかを見てきた。

ここでは、若者の性行動と性意識との関連を見ていこう。性交経験（以下、「性経験」と略す）のある者とそうでない者との間の性意識の相違、また性経験のある者のうち、経験人数の多い者と少ない者、または初交年齢の早い者と遅い者との間の、性意識の相違を見ていこう。ただし、この場合、行動が先にあって、意識が異なってくるのか。あるいは意識が先にあって、行動が異なってくるのかを判定できないために、あくまで互いに関連しあうものとして捉えることをお断りしておきたい。

図 6-3-1 は性経験のある者と性経験のない者で性・セックスについてのイメージがどのように異なっているかを示しているものである。性経験があるか否かで、若者の性についての意識が大きく異なっている。経験のある者は「楽しい」「よい」「軽い」と思う者が多く、「汚い」「恥ずかしい」と思う者が少ない。性経験のある者のほうが性・セックスをポジティブに捉えている。

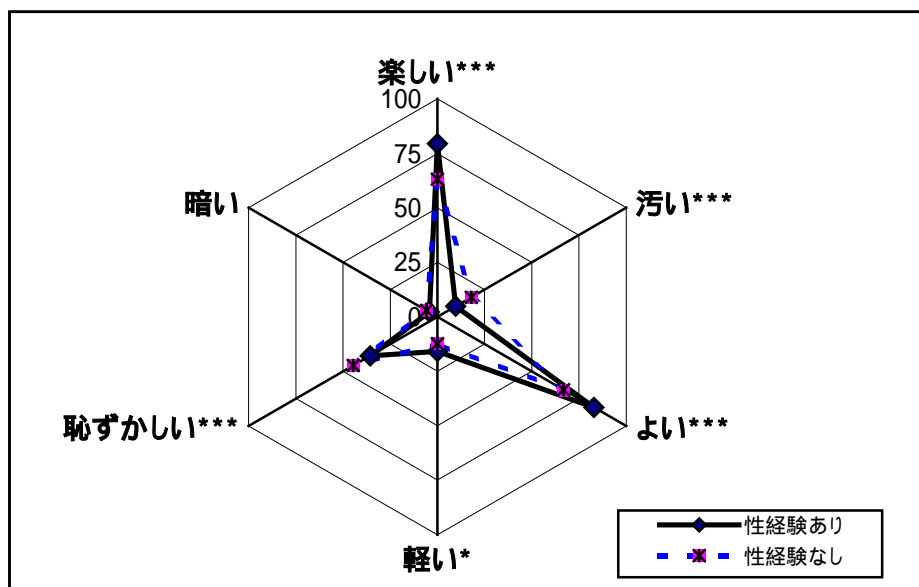


図 6-3-1 性経験の有無と性・セックスのイメージ

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

注：\*、\*\*\*は、性経験者とそうでない者との間に統計的に有意な差があり、前者は5%、後者は0.5%水準で有意であることを表している。

セックスの位置づけに関しては、図 6-3-2 に示したように、性経験のある者のほうがセックスを「愛情表現」、「ふれあい」、「安らぎ」、「快樂」、「ストレス解消」、「征服欲を満たすもの」、「義務」と位置づける者が多い。一方、性経験のない者のほうがセックスを「子どもを作るための行為」と位置づける者が多い。性経験があるか否かでセックスへの位置づけが大きく異なり、経験者のほうがセックスのコミュニケーションとしての側面を大きく肯定しながらも、快樂を得たり、ストレスを解消したり、征服欲を満たすものとしてのセックスの手段的な側面も理解しているようだ。

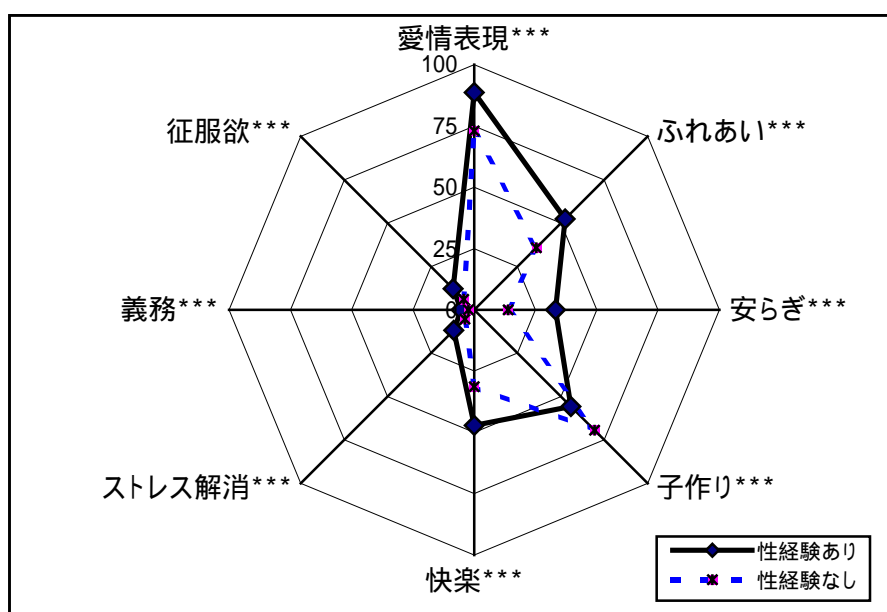


図 6-3-2 性経験の有無とセックスの位置づけ % (「そう思う」)

注：\*\*\*は、性経験者とそうでない者との間に統計的に有意な差があり、0.5%水準で有意であることを表している。

さらに、経験者と非経験者との間で、性規範が大きく異なっていることも、表 6-3-1 に示したとおりである。経験者のほうが、「高校生のセックス」「愛のないセックス」「金銭がらみのセックス」「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。

表 6-3-1 性経験の有無と性規範

% (「かまわない」 + 「どちらかといえばかまわない」)

	全体	男子	女子
高校生のセックス			
性経験があり	97.1	97.2	97.3
性経験がなし	78.5	81.3	76.1
カイ2乗値	159.3***	52.4***	107.9***
愛のないセックス			
性経験があり	24.7	37.1	15.4
性経験がなし	15.1	24.1	6.7
カイ2乗値	37.7***	21.0***	28.5***
金銭がらみのセックス			
性経験があり	15.4	19.9	12.3
性経験がなし	9.2	13.5	4.9
カイ2乗値	23.4***	7.9**	25.9***
恋人以外の人とのセックス			
性経験があり	16.9	23.8	12.5
性経験がなし	11.7	16.4	7.3
カイ2乗値	14.3***	9.2***	10.9***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

また、性交の経験者と非経験者では、男女の性のあり方に関する意識も大きく異なっている。表 6-3-2 に示したように、経験者のほうが、性関係における男性の主導性と女性の受動性を肯定する者が多いし、男性のレイプ願望、女性のレイプされたい願望があると肯定する者も多い。

表 6-3-2 性経験の有無と男女の性のあり方

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
男性は、セックスでは女性をリードすべきだ			
性経験があり	64.7	60.3	68.7
性経験がなし	51.9	47.9	56.1
カイ2乗値	39.3***	15.3***	21.3***
女性は、男性のリードに従うべきだ			
性経験があり	33.2	31.4	34.9
性経験がなし	24.2	24.8	24.2
カイ2乗値	24.4***	5.5*	18.3***
男性には、レイプ願望がある			
性経験があり	44.9	46.1	43.5
性経験がなし	37.3	41.6	33.2
カイ2乗値	14.0***	2.0	13.9***
女性には、レイプされたい願望がある			
性経験があり	14.8	19.3	11.6
性経験がなし	8.5	11.1	5.8
カイ2乗値	24.6***	13.9***	14.8***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

(2) 経験人数と性意識

ここまで性経験があるか否かで若者の性意識に大きな違いが存在することを見てきた。次に、セックスの経験人数の多い者と少ない者との間に、同様の違いが見られるかどうかを見ていくことにする。

まず図 6-3-3 に示したように、経験人数の多い者ほど、性・セックスのイメージを「軽い」と思う者が多く、「恥ずかしい」と思う者が少ないとの傾向が見られる。

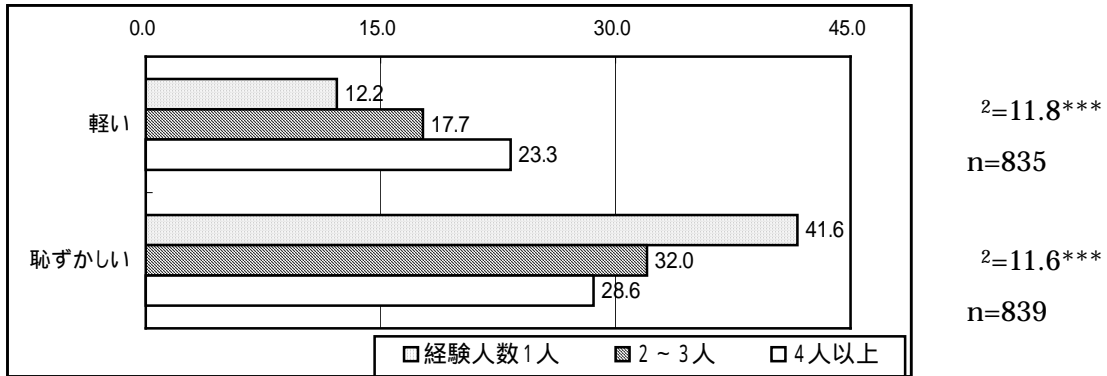


図6-3-3 経験人数と性・セックスのイメージ % (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)

注: \*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

次に、経験人数の多い者ほど、セックスを「快楽」、「安らぎ」、「ストレス解消」、「征服欲を満たすもの」、「義務」と捉える傾向がある (図 6-3-4)。

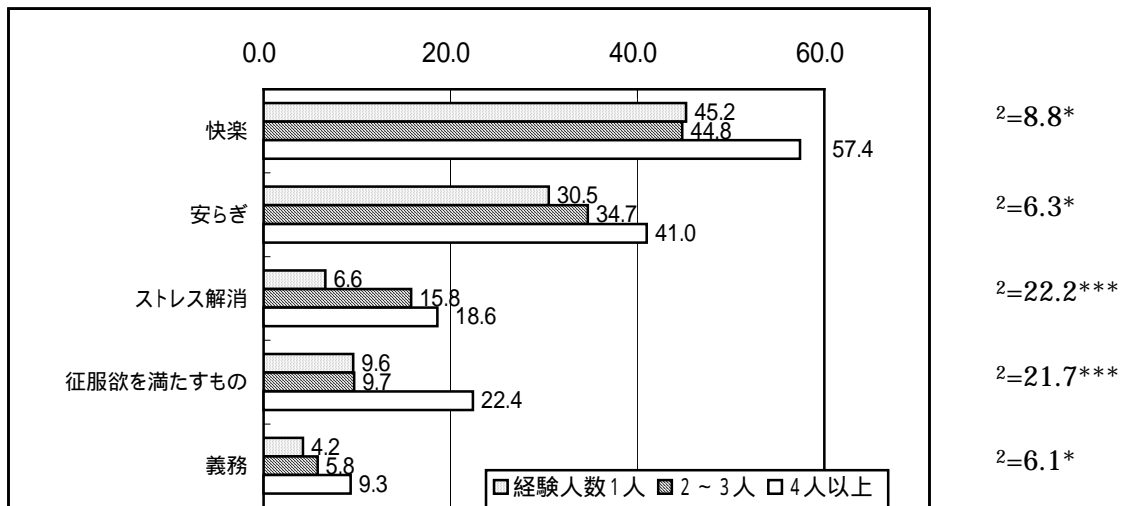


図 6-3-4 経験人数とセックスの位置づけ (n=849) % (「そう思う」)

注: \*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005



次に、性規範に関しては、表 6-3-3 に示したように、経験人数の多い者ほど、「愛のないセックス」「金銭がらみのセックス」「恋人以外の人とのセックス」を受容する者が多い。

表 6-3-3 性交の相手人数と性規範

%(「かまわない」+「どちらかといえばかまわない」)

	全体	男子	女子
<b>高校生のセックス</b>			
1人	96.6	96.8	96.7
2～3人	97.7	97.2	98.6
4人以上	98.4	98.6	98.1
カイ2乗値	1.8	0.7	1.6
<b>愛のないセックス</b>			
1人	15.8	24.8	9.5
2～3人	28.0	44.9	15.0
4人以上	40.5	52.7	30.5
カイ2乗値	43.9***	20.5***	24.5***
<b>金銭がらみのセックス</b>			
1人	10.4	10.8	10.3
2～3人	14.9	22.4	9.5
4人以上	26.1	32.9	21.9
カイ2乗値	24.2***	16.6***	10.7***
<b>恋人以外の人とのセックス</b>			
1人	11.2	14.0	9.5
2～3人	17.6	26.2	11.6
4人以上	28.6	39.2	21.9
カイ2乗値	27.9***	18.5***	10.4**

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

最後に、性における男女のあり方に関しては、表 6-3-4 に示したように、経験人数の多い者ほど、女性のレイプされたい願望を肯定する者が多い。この傾向は男子生徒も女子生徒も見られる。

表 6-3-4 性交の相手人数と男女の性のあり方

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
男性は、セックスでは女性をリードすべきだ			
1人	66.8	59.6	72.7
2～3人	66.9	62.0	70.1
4人以上	57.1	56.2	60.0
カイ2乗値	6.1*	0.6	5.6
女性は、男性のリードに従うべきだ			
1人	31.9	25.8	35.8
2～3人	36.5	37.4	36.7
4人以上	32.2	34.2	31.7
カイ2乗値	1.7	4.2	0.7
男性には、レイプ願望がある			
1人	42.4	43.9	41.0
2～3人	43.8	45.4	41.9
4人以上	48.6	45.8	49.0
カイ2乗値	1.9	0.1	1.9
女性には、レイプされたい願望がある			
1人	10.8	14.1	8.0
2～3人	13.2	17.3	10.2
4人以上	24.6	27.8	22.9
カイ2乗値	19.7***	6.2*	15.9***

注：\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.005

### (3) 初交年齢と性意識

#### 性・セックスのイメージ

初交年齢と性・セックスのイメージとの関連について、初交年齢が14歳未満の者は性・セックスが「恥ずかしい」と思う者が少なく、25.0%であるのに対し、初交年齢が15歳以上の者は37.5%となっている( $\chi^2=7.0^{**}$ )。その項目に関しては統計的な違いは見出せなかった。

#### セックスの位置づけ

次に初交年齢とセックスの位置づけに関しては、図6-3-5に示したように、初交年齢の低い者ほど、セックスを「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」「義務」と捉える者が多い。

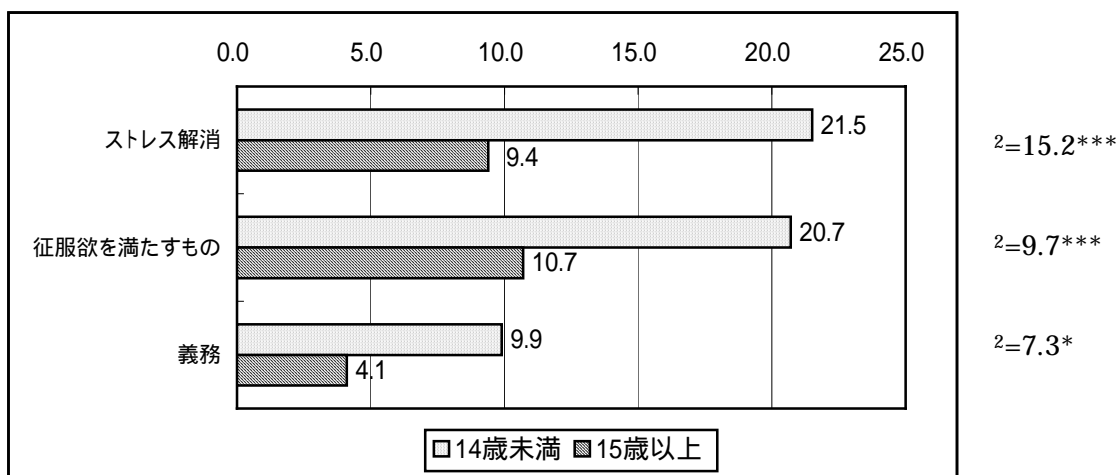


図 6-3-5 初交年齢とセックスの位置づけ (n=824) % (「そう思う」)

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

### 性規範

また、初交年齢と性規範との関連に関しては、表 6-3-5 に示したように、初交年齢の低い者ほど、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」を受容している者が多い。このような傾向は男女ともに見られる。

表 6-3-5 初交年齢と性規範

%(「かまわない」+「どちらかといえばかまわない」)

	全体	男子	女子
<b>高校生のセックス</b>			
14 歳未満	99.2	100.0	98.4
15 歳以上	97.2	96.7	97.6
カイ2乗値	1.7	1.8	0.2
<b>愛のないセックス</b>			
14 歳未満	38.2	53.7	25.0
15 歳以上	21.7	32.7	13.7
カイ2乗値	15.6***	8.6***	5.5*
<b>金銭がらみのセックス</b>			
14 歳未満	26.2	34.0	21.9
15 歳以上	13.0	15.6	11.0
カイ2乗値	14.5***	9.9***	6.0*
<b>恋人以外の人とのセックス</b>			
14 歳未満	20.3	25.9	17.2
15 歳以上	15.8	21.8	11.8
カイ2乗値	1.6	0.4	1.5

注：\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.005

## 男女の性のあり方

最後に、初交年齢と男女の性のあり方との関連を見た。表 6-3-6 に示したように、男子生徒では初交年齢の低い者ほど、男性のレイプ願望と女性のレイプされたい願望を肯定している者が多い。女子ではそのような傾向は見出せなかった。

表 6-3-6 初交年齢と男女の性のあり方

% (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

	全体	男子	女子
男性は、セックスでは女性をリードすべきだ			
14 歳未満	60.2	61.1	64.1
15 歳以上	65.2	59.9	69.1
カイ2乗値	1.2	0.0	0.6
女性は、男性のリードに従うべきだ			
14 歳未満	31.4	35.8	30.2
15 歳以上	33.1	29.0	36.0
カイ2乗値	0.1	1.0	0.8
男性には、レイプ願望がある			
14 歳未満	52.9	60.4	47.5
15 歳以上	42.9	41.8	42.6
カイ2乗値	4.2*	6.2*	0.5
女性には、レイプされたい願望がある			
14 歳未満	24.0	32.7	17.2
15 歳以上	12.4	14.3	10.6
カイ2乗値	11.4***	10.2***	2.3

注：\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .005$

セックスの経験者と非経験者では性の意識が大きく異なっており、経験者のほうがセックスを「楽しい」「よい」「軽い」「暗くない」「恥ずかしくない」ものとして思っている者が多い。そして経験者のほうが、セックスを「愛情表現」「ふれあい」として位置づけながらも、「快楽」「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」とも位置づけている。セックスは彼らにとって、コミュニケーションとしての側面と（快楽やストレス発散のための）手段的な側面を持ち合わせているものである。

しかし、性交の経験人数の多い者、また、初交年齢の早い者には、セックスが「ストレス解消」「征服欲を満たすもの」というような手段的な側面の色合いが強くなる。

## 4．性教育のあり方と若者のニーズ

### (1) 若者のニーズ

すでに第4章の「情報機器の個人化と若者の性」で明らかにしたように、若者の性知識や性情報の多くは、友人とメディアから得ている。この節では、若者は現在、性・セックスについて何を知りたいのか、誰に教えてもらいたいのかを明らかにする。その次に、若者の性感染症や妊娠・中絶についての意識と行動を明らかにしたうえで、今後の若者の性教育のあり方について考えてみたい。

若者は性・セックスについて何を知りたいかについて調べた。図6-4-1に示したように、最も多くの者が知りたいのは、「男性と女性の心理や行動の違い」「性感染症のこと」「異性との交際の仕方」などである。また、男子では女子より「異性との交際の仕方」「セックスの方法」について、多くの者が知りたいと思っている。女子では男子より「性感染症のこと」「避妊の方法」、また「悩みの相談にのってくれるところ」について、多くの者が知りたいと思っている。

付き合いや性交に際してイニシアティブを取らざるを得ない男子生徒は、実際にいかにして女性と付き合いをしたらいいのか、また、セックスをするとき何をしたらいいのか、という具体的なものに関心を持っているようだ。一方、女性のほうは主に自分の体の安全を守ることに関心を示しているようだ。

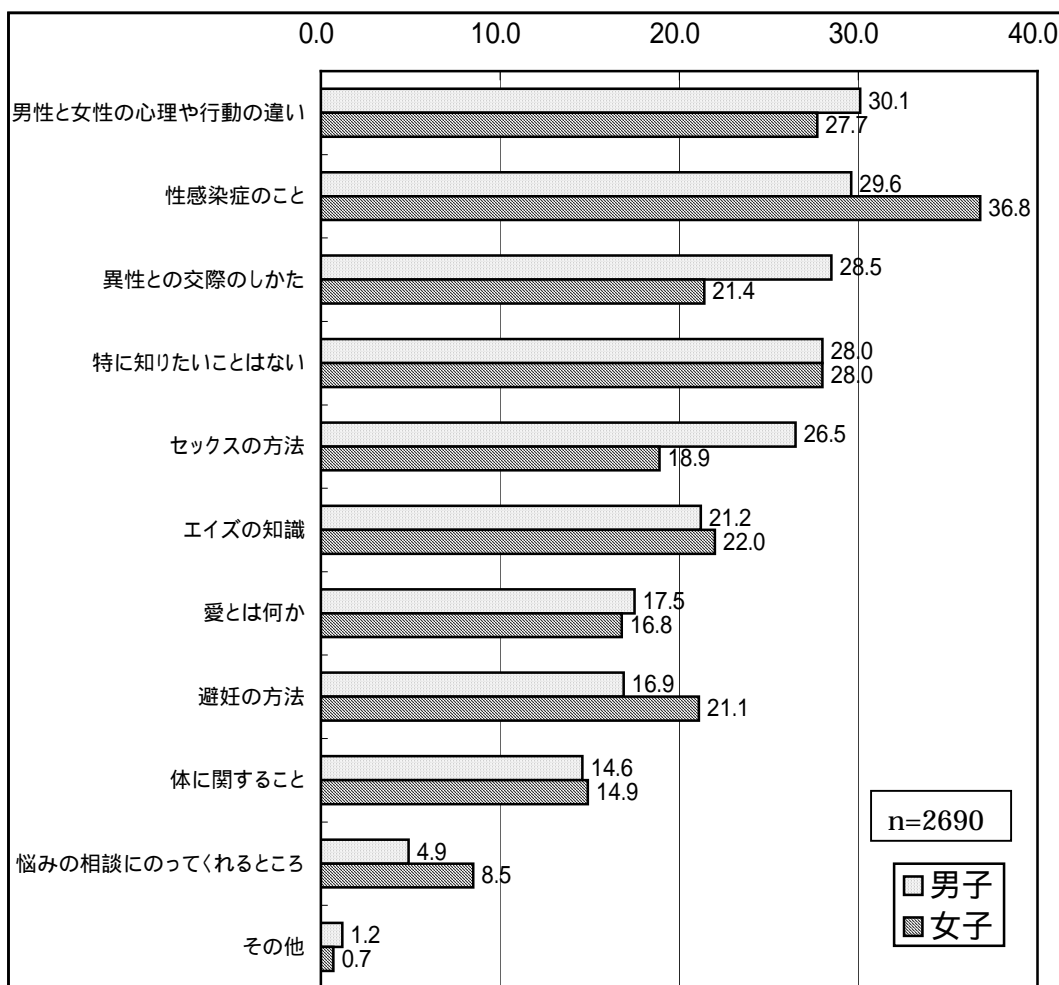


図 6-4-1 性・セックスについて現在知りたいこと ( % )

次に、性に関する知識や情報を今後どこで得たいかを調べたところ、図 6-4-2 に示したように、男女ともに多いのは、「友だち」「本」である。その次に男子生徒に多いのは、雑誌、テレビ、ビデオ、先輩とインターネットである。女子生徒に多いのは、雑誌、テレビである。また学校の先生からそのような情報を得たいと思っている生徒は、男女ともに 12% 以上である。しかし、親から得たいと思っている生徒は、わずか 4~5% 程度で少ない。この結果は、第 4 章で明らかになった若者の情報源とも一致する。若者にとって、現在も将来も性に関する知識の情報源は、同年代の友人とメディアである。学校の先生や親は、それほど発信源になっておらず、また期待も低いようだ。

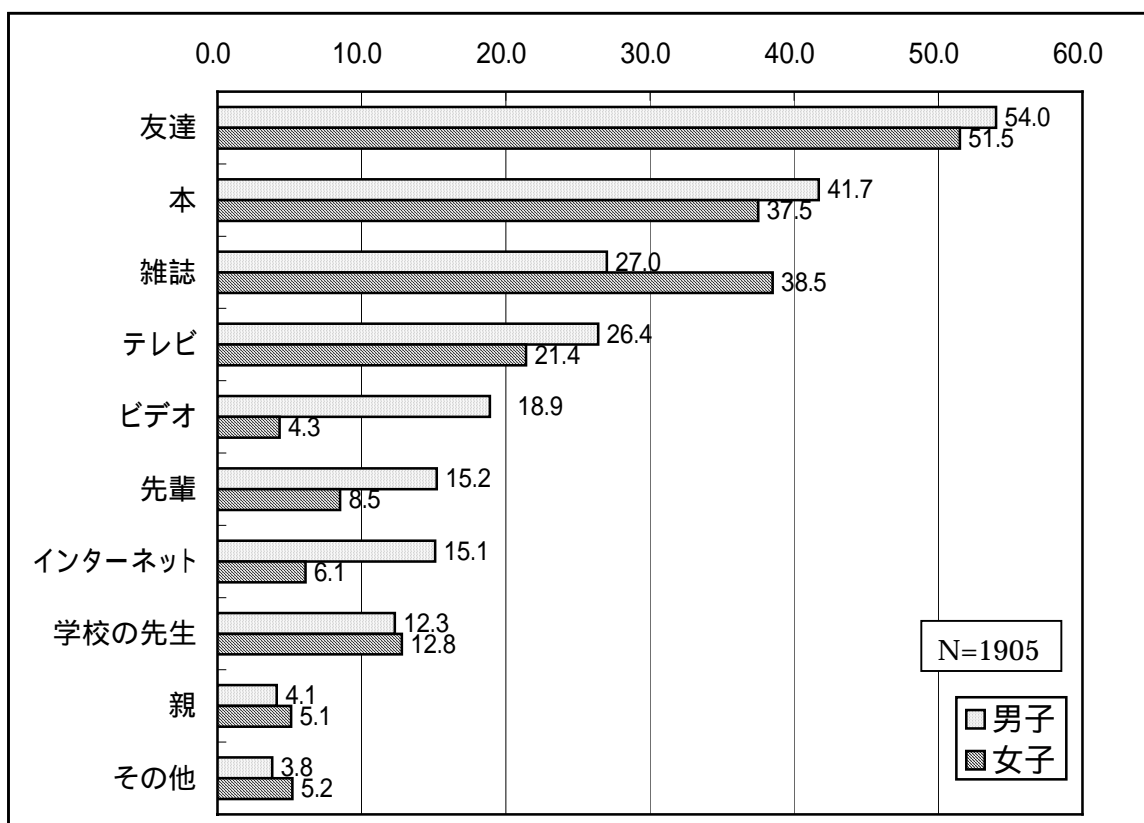


図 6-4-2 性について誰に教わりたいか (%)

## (2) 性感染症、避妊についての意識と行動

しかし、同年代の友人やメディアから多くの性知識・性情報を得ている若者は、自分や相手の身の安全や健康を守る知識を正しく獲得しているのだろうか。

すでに第3章で明らかにしたように、高校2年生の32.0%がセックスを経験しており、彼らのセックスを止めることが不可能となっている現在、10代の若者にとっては性感染症や望まぬ妊娠から自分と相手の身の安全と健康を守ることが非常に重要になってきている。

彼らは性感染症や妊娠のことをどのくらい認識し、それらを防ぐためにどのような対策を講じているのか。また、どのくらいの若者が感染症や中絶を経験しているのか。次に順を追って、これらの疑問を解いてみたい。

まず、セックスをするときに、エイズや性感染症のことが気になるかどうかを調べた。図6-4-3に示したように、エイズや性感染症のことが気になると答えた者が約74.9% (= 「非常に気になる」 + 「少しは気になる」) 気にならない者も25.2%いる。

妊娠のこととなると、気になる者が87.3%となり、それでも12.7%の者が気にならないと回答している。この二つの質問に対して、男女の間に大きな違いは見出せなかった。

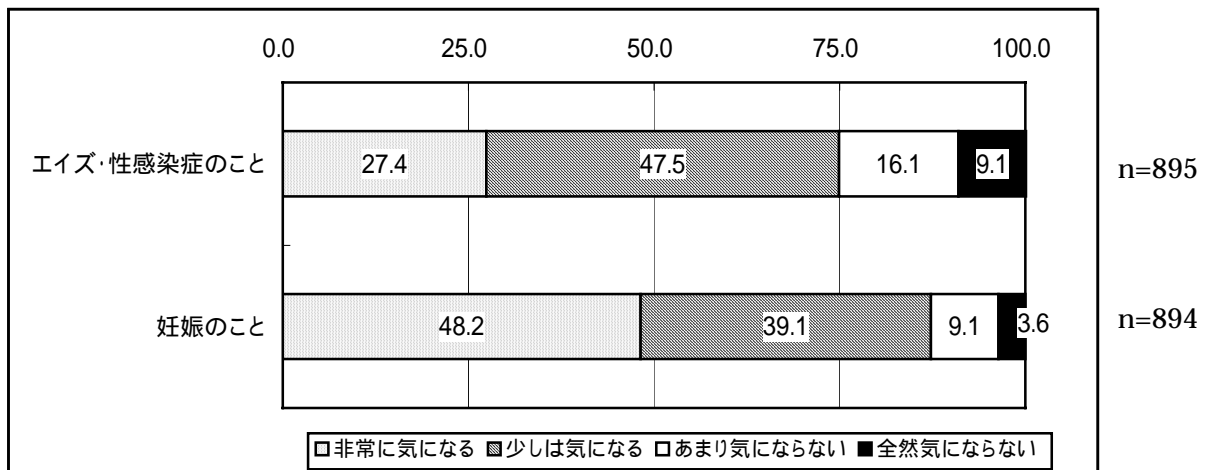


図 6-4-3 性感染症や妊娠についての心配 ( % )

次に、性感染症や望まぬ妊娠を防ぐために、どのような予防方法が用いられているかを見ていきたい。図 6-4-4 に示したように、避妊を「いつもしている」と答えた者は 47.9%、「場合による」と答えた者は 43.7%である。「いつもしていない」と答えた者も 8.3%である。

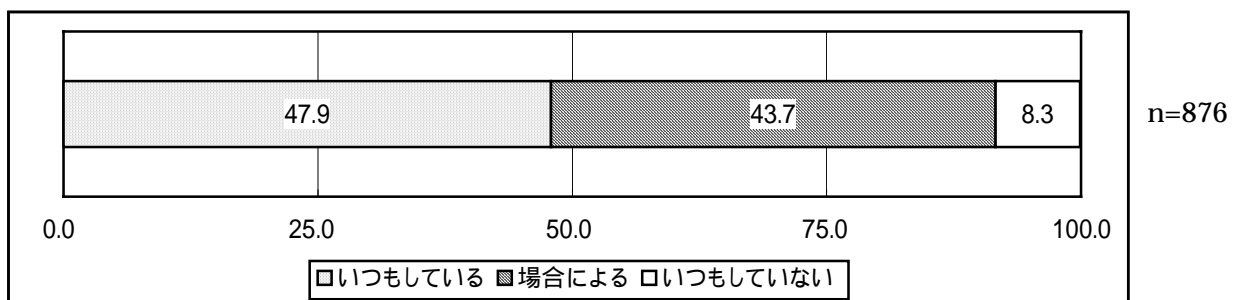


図 6-4-4 避妊の実行率 ( % )

また、実際に避妊を実行している者にその方法を聞いたところ、図 6-4-5 に示したように、最もよく用いられる避妊法はコンドームである。しかし、「膣外射精法」をとっている者も男子で 35.0%、女子で 36.7%となっている。また、「月経から日数を数える」方法をとっている者も男子で 15.1%、女子は 17.9%となっている。



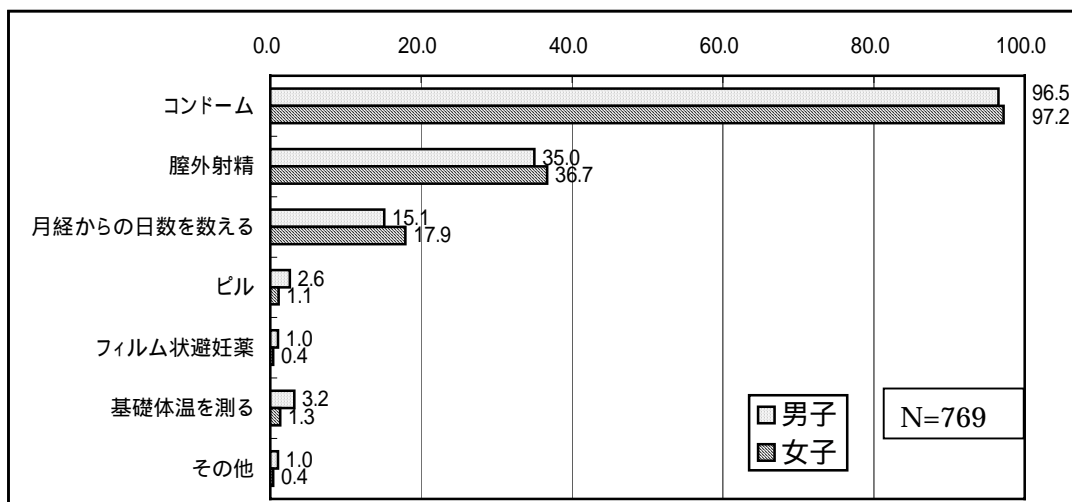


図 6-4-5 男女別で見た避妊の方法 (%)

避妊しない者に理由を聞いたところ、男子では「面倒くさい」52.0%、「たぶん妊娠しないと思うから」40.0%、「準備していないことが多いから」28.0%となる。女子では「面倒くさいから」41.5%、「準備していないことが多いから」41.5%、「その他」34.1%となっている。その他、男子では「相手に断られるから」16.0%、女子は「避妊を言い出せないから」9.8%である。

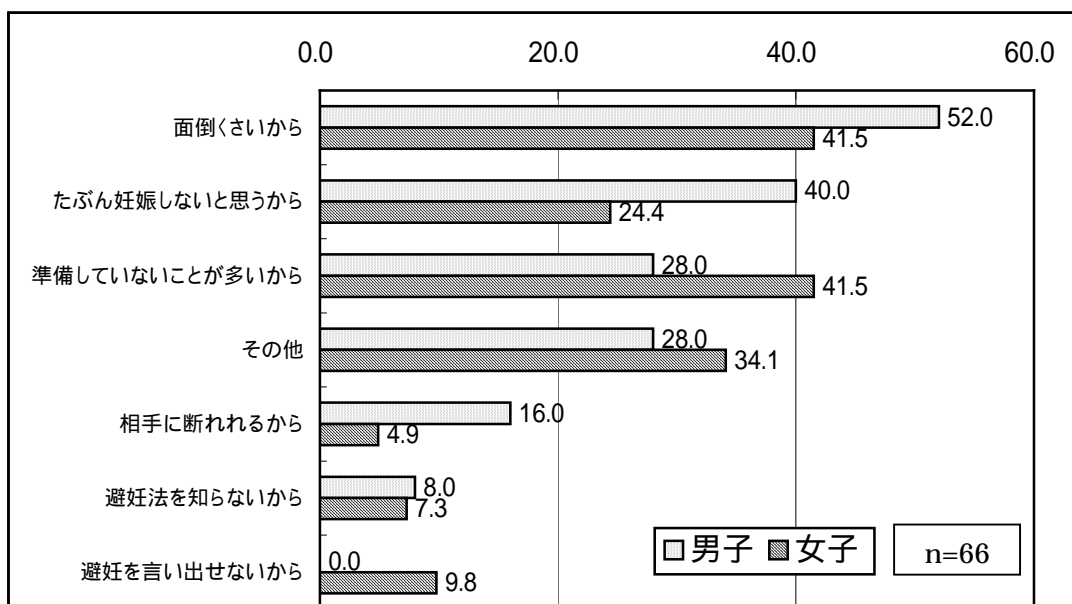


図 6-4-6 男女別で見た避妊しない理由 (%)

避妊していない者（「場合による」＋「いつもしていない」）が多く、そして避妊を実行している者でも不確実な、あるいは間違った避妊法が多く使われているという現状から、

性感染症の感染率や望まぬ妊娠の可能性が高いことが推測される。

実際、性感染症にかかった者、または中絶した者はどのくらいいるのかを調べてみた。図 6-4-7 に示したように、性感染症の感染率は 4.5% である。しかし、感染しているかどうか分からないと答えている者が男子で 18.4%、女子で 19.0% となっていることから、性感染症の感染率は、4.5% より高いことが予測される。

中絶した(させた)ことがある者は、男子で 4.8% と女子で 2.8% となっている。この数字を高いと判断するのか、それとも低いと判断するかは難しい。しかし、実際 4.8%(女子 2.8%) の者が望まぬ妊娠をし、中絶していることと、4.5% の者が性感染症に感染していることを考えれば、彼らに避妊方法と感染症の予防方法を正確に教える必要があることは確かである。

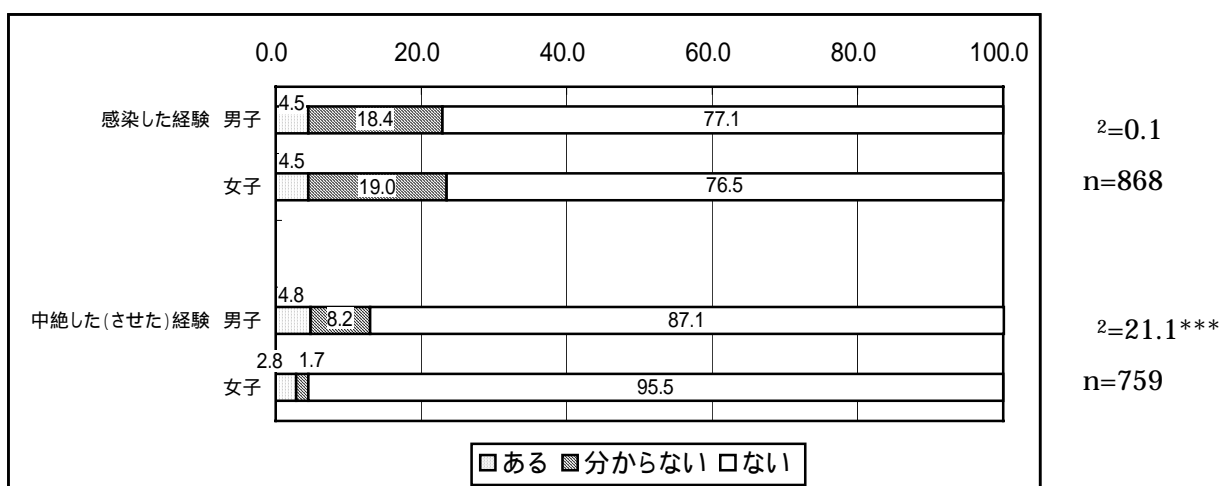


図 6-4-7 性感染症の感染率と望まぬ妊娠の中絶率 (%)

注: \* $p<.05$  \*\* $p<.01$  \*\*\* $p<.005$

また、すでに第 4 章の第 3 節で明らかにしたように、アダルトビデオなどで描かれているセックスをまねする者に、避妊法として「膣外射精法」を利用する者が多く、また女子では性感染症の感染率や中絶率が、アダルトビデオなどで描かれているセックスをまねする者はまねしない者より断然多い(性感染症の感染率は模倣者の 12.0% vs 非模倣者の 2.3%、中絶率は模倣者 8.8% vs 非模倣者 1.0%)。若者がアダルトビデオなどの性風俗メディアから間違った性知識を得ていることは明らかである。若者に正しい知識と間違った知識を見分ける能力を身に付けさせることは、直接若者とその相手の身の安全を守ることに繋がるのである。

しかし、若者の持つもう一つの性の情報源である同年代の友人ネットワークでは、このような正しい性知識を伝達することが困難であることも推測されよう。学校、家庭、そして社会の大人たちが若者に正しい性知識を伝え、若者の安全と健康を守ることが緊急の課題となっている。

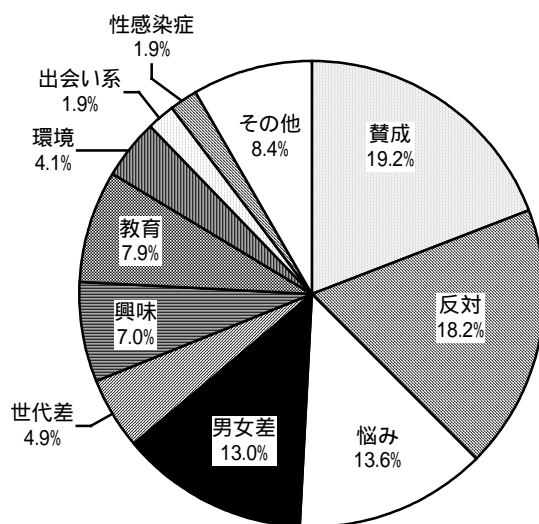
## 第7章 性についての若者からのメッセージ

### (自由回答から)

若者の性についての自由回答では、「男女交際や性について、日頃感じること」を回答してもらった。そこには彼らの様々な思い、苦悩が寄せられた。ここでは、その一部を紹介し、若者の本音から現れてくる性の実態を把握するとともに、私たち大人が現在の若者の性とどのように向き合っていくべきか考察する。

自由回答には369件(回答率12.5%)が寄せられた。そのうちの7割弱は女子生徒であった(女子生徒241件、男子生徒128件)。

回答内容(図7-1)をみると、「高校生の男女交際やセックスはかまわない」とする意見と「すべきではない」とする意見が、それぞれ約2割に分かれ、身体の成熟と性的欲求の高まる年頃の、性の受け止め方は多様であることがみてとれる。また、心身の成長過程の時期にみられる葛藤や「悩み」、性に対する男女の意識の違いによる「男女差」が、それぞれ13%程度を占めた。性について関心があり、早く経験してみたいとする「興味」、学校・メディアから正しい知識を得たいとする「教育」も、7%程度の意見があった。性についての大人の見方との違いによる「世代差」、学校・社会についての「環境」、「出会い系サイト」、「性感染症」、「同性愛」についても、少数の回答が寄せられた。



[ n=369 ]

図7-1 自由回答の内容

1. 高校生の男女交際やセックスはかまわない(賛成)
2. 高校生が男女交際やセックスをするべきでない(反対)
3. 自分は他人と違うの?(悩み)
4. 男子(女子)のことがわからない(男女差)
5. 大人がうるさい(世代差)
6. はやく経験したい(興味)
7. 性について知りたい(教育、情報)
8. 学校、社会がかわった(環境)
9. 出会い系サイトがあぶない(出会い系)
10. 怖い性感染症(性感染症)

表7-1 自由回答の分類

次に男女別の回答内容（図 7-2）をみると、「賛成」と「反対」は男子女子ともにほぼ同数を占めたものの、身体的なリスクと隣り合わせている女子生徒たちの現実的な思いが、「男女差」「世代差」「性感染症」の数字に表われている。それに対して、男子生徒の「興味」に対する意見は、やはり多く、全体的に性に対する男女の相違がみられる。

この回答内容を表 7-1 のとおりに分類し、項目別に特徴的な回答をいくつか紹介する。

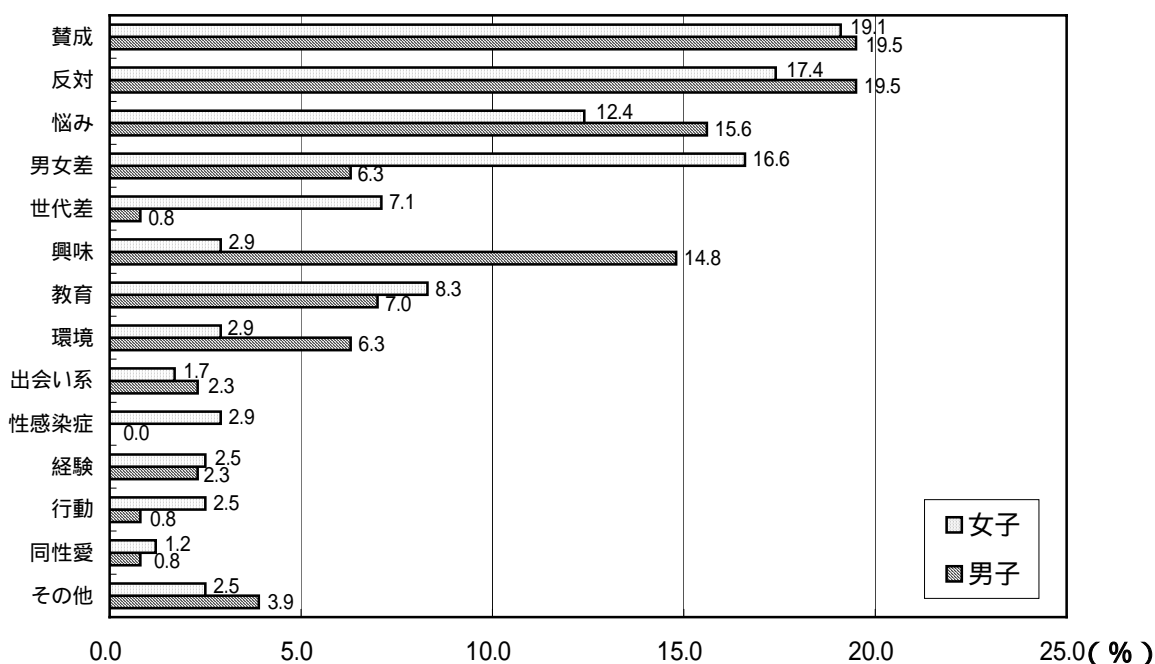


図 7-2 男女別の回答内容

## 1. 高校生の男女交際やセックスはかまわない（賛成）

### 【女子生徒】

- ・経験するのは悪いことではなく、むしろよいことだと思う。ただ問題とされるのは自分の責任がとれるかどうかという点であり、今の世代それができない人間が多いせいで、問題点ばかりが注目される。だから異性交際や性行為まで悪いイメージを持たれがちなのではないだろうか。異性経験の少ない私がここまで語るのは何だが、もう少しよい意味でオープンになってもよいのではないかと思う。
- ・セックスをしたことのない人は「怖い」とか「不安」とか言うけど、私もはじめはそう思っていたけど、男と女が付き合うということは、セックスも一つの愛情表現でもあるし、安らぎでもあり、ふれあいでもあると思う。だから、セックスは大事なことだと思う。

- ・もっとセックスのこととかオープンにすべき。何か日本はセックスを隠す傾向があるというか、子どもたちに対して秘密主義すぎる。別に恥じることもない、生きていくためにも必要だから、ビデオや映画にもあまり規制をかけなくてもよいと思う。
- ・高校生が性行為をすることは大人の目から見ると、あまりよいとは思われていない気がする。でも、本当に好きな人で大切な人だったら、年も何も関係ないと思う。自分の意志をしっかりとって、それを理解してくれる相手ならば問題はないのではないのでしょうか。
- ・初めて会った人でも友達同士でも、お互いに合意しているなら別にセックスしてもかまわないと思う。後で後悔しないのなら。快感を得ただけの理由でも私はいいと思いました。でも、避妊は絶対に必要と思います。
- ・他人に迷惑をかけない限りは本人の好きにすればいいのではと思う。
- ・私は高校生や中学生が心も体も大人に近づき成長している時に、いろいろなことを経験することは大切なことだと思う。だから、高校生や私たちと同じ世代の人が人を好きになり、自分が心から好きな人とセックスしたりすることは大切なことだと思う。年より心だと思う。
- ・大人はみんなSEXっていけないって言うけど、何がいけないの？好きなもの同士が抱き合ってキスしてSEXして何も恥ずかしくないし、普通だと思う。
- ・別にそんな個人の勝手だし、他人がどうこう言うものじゃないと思う。
- ・男女交際は本当にお互いを信頼できる相手なら、素晴らしいことだと思う。セックスも前はいやらしい行為だと思っていたけど、今では愛情表現の一つとして、とても大切なことだと思っています。

### 【男子生徒】

- ・うただ言い過ぎ。恋愛とか交際や性とかは自由！その二人が納得してセックスをするならどんな関係とか別にいいと思うし、初体験が早いとか別にいつでもいいと思う。
- ・その人の個人の意識が重要なことと思うので、あまり周りが騒ぐ必要はない。
- ・人それぞれが自分の考えで行動しているのだから、何かあればその人がばかだし、その人自身で責任を取ればよいと思う。

- ・これから先、性のことは大事になってくると思う。でもこういう事をして、今を楽しんでいる人がいてもいいと思う。勉強やクラブの好きな人がその事をやっているのと、あまり変わらない事だと思う。
- ・みんな仲がよければ、周りに迷惑をかけないことなら、セックスしようが出会い系サイトを利用しようが何してもいいと思う。
- ・とりあえず自由だと思う。それは、やっぱり誰が何と言おうと自分が自覚や責任をもつから。

高校生の男女交際やセックスはかまわないとする女子高生の多くは「セックスも一つの愛情表現」で大切なことと思っている。しかし一方では「他人に迷惑をかけない限りは本人の好きにすればいい」「別にそんな個人の勝手」と自己中心的、自分本位主義的な傾向がみられる。これは「賛成」とする回答全体にみられる傾向で、今の世の中の風潮と言っていいたろう。社会に対して自己責任を持つことは、成長の過程として大切なことであるが、回答からみえるものは、感情まかせの意見、行為であり、身体の成熟に比べて心の未熟さがみてとれる。本当に自分自身、相手、家族のことを考えた上での「自由」「責任」なのか疑問を感じる。今、若者たちに必要なのは、先走る行動よりも、むしろ判断の基準となる情報、知識の習得と、身近に相談しあえるよき理解者ではないだろうか。

## 2. 高校生が男女交際やセックスをするべきでない(反対)

### 【女子生徒】

- ・結構友達とか簡単に異性と付き合っているがどうかと思う。付き合うのは簡単やけど、本気で好きになれる人は少ないと思う。気軽にHするのはよくないと思う。
- ・セックスを簡単にしてしまう友達がわからない。あと、するならちゃんと避妊をしると思う。子どもができてからでは遅すぎる。あと、男子に流されてしまう子も、もっと自分の体を大切にしたいと思う。その行為がだめだと思わないけれど、もっと大切にすべきだと思う。
- ・私は周りの高校生などを見ると、今の高校生は性的な交際について無責任すぎる人が多いと思いました。もっと責任のあることをしてほしいと思う。
- ・最近は若いうちに多くの人とSEXするのがステータス(?)っぽくなっていて、結構安易に考えている人が多い。もっと自分を大切にすべきだと思う。簡単にSEXして後悔しても遅い。
- ・今の性についての考え方が軽すぎるのじゃないかと思う。安易にセックスをし、病気をうつされても平気、中絶をためらいもせず。もっときっちり考えるべきと思う。自分のために。

・あまり好きじゃない人とセックスをするのはよくないと思う。むしろ、好奇心だけでは自分の体がかわいそうだ。

・最近の男女交際や性は、本来のあるべき姿から離れたものになってしまっているのではないだろうか。そんな軽々しいものではないはずだと思っている。周りの男女交際を見ていると、なんだか遊びの内のひとつという感じがして、自分が恋愛をする気にはなれない。

### 【男子生徒】

・「出会い系かどっかで適当に彼女を作って早く童貞を捨てよ」とよく言われます。でも、恋愛ってそんなに軽い物であってはいけないと思います。異性は遊び道具ではありません。

・最近、付き合う＝セックスをする、みたいな感じになっているからよくないと思う。

・性について意識がうすい。その時が楽しければいいと思っている。このままだとよくないと思う。

・セックスしたという友達が多い。だから、自分もってあせる気持ちがどうしてもある。でも本当に相手のことを考えるなら、セックスはいけないと思う。セックス以外にも愛は伝えられるはず。軽率な行動はしないように心得ている。

・遊び感覚で性交をすることが、非常に腹立たしい。

高校生の男女交際やセックスはするべきではないとする回答は、身体的影響を受ける女子生徒の「もっと自分を大切にすべきだ」「自分の体がかわいそう」とする自分の身に置きかえた意見が多数を占めたのに対して、男子生徒は「その時が楽しければいいと思っている」「遊び感覚で性交をすることが、非常に腹立たしい」と同性の行為に対して否定するなど、男女の意識の相違が見受けられる。また、一部の高校生の性行動に対して「反対」している生徒は、理解できずに一線を引き、高校生の中でも二分している現状がうかがえる。「自分たちはかれらとは違う、一緒にしないでほしい」とお互いに距離をとるのでなく、若者全体でこの性意識と行動について考えていくべきである。そしてこの答えが、若者から社会へ波紋のように広がることを願う。

### 3. 自分は他人と違うの？（悩み）

#### 【女子生徒】

- ・周りの子を見ていると、だんだんみんながやったりしていて、たまに自分がやっていないことに焦ることがある。でも焦ってそんなことをするのは絶対に嫌いだから、心の底から信じられる人が現れるまで、しないでおこうと思う。
- ・自分が他の人や友達よりいろいろな経験が劣っているように感じる。どうしたらいいのかわからない場面に遭遇することが多い。
- ・なんとなく自分の体と他の女の子の体が違うのじゃないか、とか思ってしまう。Hはよくないとは思わないけど、なかなか決心がつかない。
- ・彼氏にふられる前は、セックスって大事な行為だと思っていたのに、ふられた。それからセックスが簡単な気持ちでできるものだと思ってしまう、軽いものだと思っけてしまっています。
- ・周りの子が男女交際を始めてカップルが増え、自分は取り残されている感じがします。
- ・私は2、3人と付き合ったことがあるけど、どれももうまういなくて自然消滅しちゃいます。時々、自分は本当に好きやったんかな、と考えることがあります。本当の「好き」とはどんなものかわよく分からなくなってきました。

#### 【男子生徒】

- ・自分の好きな人がセックスしたのか、とかがとても気になる。
- ・僕は高校2年ですけど、僕はまだSEXの経験がありません。しかも僕の考えでは、彼女 = SEXみたいなイメージがあるので、彼女ができた時に性欲だけを満たそうと思っていると恐ろしいから、どうしたらこういう考え方を換えられますか。
- ・メールのやり取りだけで付き合うようになる人達が多いし、自分もそう言うことがあったが、あまり理想的な恋愛とは思わない。本当の恋なのか？と思う。

「自分が他の人や友達よりいろいろな経験が劣っているように感じる」「自分がやっていないことに焦ることがある」など女子生徒は、友人の性的行動、経験が気になり「自分は取り残されている」と思い悩んでいる。かえって男子生徒は、異性に対する純粋な恋愛感情からくる葛藤など、男女の悩みの相違がここでも見受けられる。



#### 4. 男子(女子)のことが分からない(男女差)

##### 【女子生徒】

- ・これは偏見かもしれないけど、男の子は正直女の子の体のこと(少しエッチなこと)しか考えていないような気がしてなりません。純粋な恋愛をしていても男の子はきっと、女の子が考えているほど重く恋愛について考えていないのではないかと思ったりもします。っていうか軽い!簡単に人を傷つけるし、女の子も気持ちはなかなか理解してくれない。
- ・男の子はとにかくHをやりたいというのが困る。もっと学校でも性の話を詳しくしてほしい。男の子は付き合っていると、Hはあたりまえだと思っている。
- ・時々、恋人の気持ちが分からなくなる。セックスのとき、相手が何を求めているのかが分からなくなる。何か相手が満足しているのか不安になる。時々、セックスが怖くなる。
- ・私は女に生まれて損をしたと思っています。生物的にも社会的にも女は損だと思います。セックスは男のためだけにあるような気がしてなりません。なぜ、女ばかりこんな想いをしないといけないのか。
- ・好きな人や恋人同士だったらセックス、性的行為は平気だとか気持ちいいとか思っている人がいるかもしれないけど、全然好きじゃない人もいるってことを知ってほしいと思う。女の子も「嫌われるかも知れないから。」という理由で黙っているのはどうかと思うので、勇気を出していうべきだと思う。
- ・彼氏といっても、どうしても性的なことを気にしてしまう。男の人は怖いと思う。信用できない。

##### 【男子生徒】

- ・男としては、女の子の気持ちってすごく分からなくて不器用で、どうしようもなく、泣かしてしまったりして、あほでつらいです。恋愛とは難しい。
- ・男女の問題はいつも面倒だ。
- ・女は魔性だと思う。
- ・女はむずかしい。

性行為に対して、身体的リスクと隣り合わせている女子生徒から「男の子は正直、女の子の体のことしか考えていない」「男の子はHはあたりまえだと思っている」とする意見が多数あった。これは男子生徒の性交を、快楽、ストレス解消と捉えていることに、女子生

徒は不安感、不信感を抱いているとみることができる。そして、この悩みから女子生徒が「男の人は怖い」「信用できない」という感情を抱くようになることは問題視すべきであろう。また、男子生徒は「女の子の気持ちが分からない」「男女の付き合いが難しい」「女は難しい」「女は魔性だ」とする意見があった。男子生徒と女子生徒が互いに相手の気持ちや行動が理解できない部分が多いようだ。

## 5．大人がうるさい（世代差）

### 【女子生徒】

- ・高校生がセックスするのは構わないと思うが、避妊は絶対必要だと思う。中絶してなお思う。日本は性に対する意識が親と子で違いすぎると思う。中途半端に秘め事にしているから、親の知らないところで性犯罪（援助交際）とかが増えるのだと思う。1度性行為をしてしまったら、するなというのは無理である。親の言うことは一理あるのも昔の話、ということに少し気づいてほしい。
- ・大人や子ども関係なく、誰もが一度は経験することだと思う。年齢が若いから性行為をしたら親がおこるのは、時代遅れ！こういう社会になったのだから、分かってもらわないと。
- ・性やセックスのことをいけないことだとか、そんなもの子どもに見せたら犯罪になるとか言う人ってすごく嫌いです。そうじゃない人もたくさんいるのに、何かあったら「犯罪だ！最低だ！」と悪いほうにばかり言って決めつけて否定しまくる人のほうがよっぽど最低だと思います。
- ・今の若者は性についてちゃんと考えていないって言われているけど、結構私の周りの子は、ちゃんと考えてHしてます！大人は性のことになると、悪いとこばかり見つけようとしている気がします！
- ・男女交際について親がうるさい。もっと私の気持ちを分かってほしい。
- ・世の中、男と女しかいないのだから、交際についてうるさく言ってはいけない。お互いに考えもあるのだから、頭ごなしに言わない。ただ、過度な行動等は、親もしくは大人がしっかりと叱ってくれればいいと思う。

「親の言うことは一理あるのも昔の話」「こういう社会になったのだから、分かってもらわないと」の意見など、若者と大人の性に対する考え方の開きがあるものの「過度な行動等は、親もしくは大人がしっかりと叱ってくれればいい」とする、大人の支えを求める意見もあることから、若者たちとの対話により性に関する正確な情報や知識を与えることが大切である。

## 6. はやく経験したい(興味)

### 【女子生徒】

- ・最近、性・セックスをしてみたいと思うようになりました。男性がやりたいと思っているような感じになります。こんな自分が少し不安です。
- ・お互いに大好き同士で付き合いことができたら、セックスしてみたいと思うけど、友達の話とか聞くと痛いとか聞き、病気のことや避妊法がいまいち分からないので、実際そういう状況になると怖くなって何もできない。

### 【男子生徒】

- ・病気になるか心配だけど、1回でいいからセックスをしてみたい。
- ・たくさんの人とHしたい。いろんな女とやってみたい。
- ・早くセックスをしたい。童貞を卒業したい。

性についての興味は、結果的にリスクをとまわらない男子生徒の意見が多数であったが、女子生徒にも同様の傾向がみられるようになってきている。

## 7. 性について知りたい(教育、情報)

### 【女子生徒】

- ・学校では性に関しての基本の基本を事務的にしか教えてくれないので、不満を感じています。私は性知識に関する無料のメールマガジンを購読していますが、ハッキリ言って有料の学校教育よりも断然ためになると思いました。「こうこうして妊娠が成立します。避妊法にはこれだけ種類があります。STDもこれだけあります。」これだけでは実践で何の役にも立たないと思います。どうすればいいのかという事や、男性と女性の心理の違いや、恋愛とは何なのか。という哲学的なこととかもっと教えて欲しいです。雑誌とかTVの影響で間違った知識を持ってしまった人とか、望まれない妊娠や悲しい想いをしている人にも、ちゃんとした知識をもって欲しいし、そんなことのない世の中になってほしいと思います。
- ・性や出会い系サイトやエイズにしても正しい知識を一人一人が持つことが大切だと私は思う。でも、私を含めて出会い系サイトやエイズとか、言葉は聞いたことあるけど、全然知らないものが多い。だから、こういうことを知る機会が私は必要だと思った。

- ・高校の保健での性教育について。卵巣がどうかという話は中学まででいい。高校生に必要なのは、避妊法と性病、エイズの知識。特に性病やエイズについて、もっと教えた方がみんなのためになると思う。
- ・高校生のくせにセックスだなんて、みたいなことをいわれるとムカつく。セックスをいやらしくいう大人もよくないと思う。もっと海外の性教育にも目を向け、いいところはどんどん活用すべき。日本はセックスを、いやらしいとか恥ずかしいとか教え込まれすぎ！もっとオープンに話をしたりすれば、性犯罪も減ると思う。
- ・テレビなどでセックスやレイプの場面が多すぎる。セックスを軽く見ている人が多い。
- ・最近TVなどで高校生や若い十代の中でのセックスが非常に多く、その後のエイズ、性感染症の被害も多く、私はそんなたやすくするものではないぞ！と十代の人達に対して思いました。改めてセックスというものの怖さを実感させられました。

### 【男子生徒】

- ・人びとが何しようとか関係ないが、自分に彼女ができたとき浮気はされたくないし、妊娠させたくないからしっかり知識をもちたい。
- ・全体的に隠されている所があってあまりよいとは思わない。もっと自然に話し合えてもよいと思う。ちゃんと話し合えていないから、いろいろな事件が今までに起きてきたのだと思う。

「性や出会い系サイトやエイズにしても正しい知識を一人一人が持つことが大切」  
 「こういうことを知る機会が必要だと思った」「妊娠させたくないから、しっかり知識をもちたい」  
 という意見が多いことから、自分の体を守るにはどのような選択肢があるのか、誤った情報が飛びかう社会の中で、正しい知識を伝えることが重要である。

## 8 . 学校、社会がかわった（環境）

### 【女子生徒】

- ・高校に入学したばかりの頃、先生が男女交際について結構オープンなことに驚いた。社会でも性についてオープンになりすぎていると思うけど、周りの一部の人は性に関しては軽く考えているように思える。
- ・最近では社会の状況が大変悪いし、狂っているように思う。高校生でも善悪のけじめがつけられない人が多いように思う。このままだと、ますます日本がおかしくなると思う。

- ・男女交際をするなって学校は言うけれど、男女交際してこそ分かることがたくさんあると思います。

### 【男子生徒】

- ・最近簡単にセックスする人が増えたと思う。自分は住む環境や世の中が原因ととても感じる。
- ・性のことに関しては、大人の方が高校生よりもたちが悪いと思う。なんとかするべきだ！子どもは大人の真似をしたがるのだから、子どもに影響を与える言動は控えるべきだ。

「社会でも性についてオープンになりすぎている」「社会の状況が大変悪い」など、学校、社会の現状に対して、若者が不信感を持っていることも、性意識に影響を与える一つの要因であることも見逃せない。

## 9. 出会い系サイトがあぶない(出会い系)

### 【女子生徒】

- ・知らない人と出会い系で会って殺されている人が多いけど、そういうのはやっぱり自分で気をつけてなくて、軽いからだと思う。
- ・最近本当に出会い系サイトが増えたと同時に、エッチ経験がありの人もすごく増えたと思う。私もその中の一人だから。
- ・出会い系サイトは危ないと思う。

### 【男子生徒】

- ・出会い系サイトなどで教師がだまし殺人犯が多い中で、生徒が先生を信用できなくなっている。
- ・携帯電話が普及し、出会い系サイトがますます増えて、性犯罪につながるのではないかととても思う。

「自分で気をつけてなくて、軽いからだ」「出会い系サイトは危ないと思う」若者たちは出会い系サイトの怖さを認識しつつ、それでも好奇心から利用しているのが現状である。また要因の一つとして、携帯電話のめまぐるしい普及が、出会い系サイトの氾濫に加速をかけているのも事実である。

## 10. 怖い性感染症（感染症）

### 【女子生徒】

- ・性病って女がなったらめっちゃ将来のことに係わってきて、赤ちゃんできなくなったりするかも。今、性病かかったっぽいけど金ないから検査もしてない。気になる。保険きかへんしさ。
- ・誰ともやっていないのに、性感染症になることってあるのですか？

性感染症の回答は、男性よりも身体的影響を受ける女子生徒のみにみられる。性感染症に対して誤解している若者も多く、避妊・感染症予防についての正しい情報と知識を与えることが重要である。

- ・私は今、性同一性障害に悩んでいます。体は女でありながら、考え方・感じ方など男なのです。早く男の体になりたい。自分になりたい。戸籍も自分の本来の性別をもちたい。日々願うばかりだ。

また、性同一性障害にも同様にみられる悩みとして、身近な相談場所、相談者がいないことで、若者は自らの心の中で悩み続けている。早急な課題として捉えるべきである。

### 若者のメッセージから（まとめ）

これまでの自由回答を通して、高校生にとっての性の垣根がいつそう低くなってきた現状がみてとれる。世の中に情報が氾濫しているせいか、若者たちがそれに翻弄され、心に迷いを持ったまま行動していることも事実である。

「賛成」する生徒は、身体の成熟に比べて心の未熟さがみてとれ、一方「反対」する生徒からは、行き過ぎの行動に対して距離をおく意見が多数を占めている。

また、恋愛感情や性的行動に対する、葛藤、不安感、不信感などが自分との対話の中で、つねに繰り返されている。

私たち大人が持っている性の固定観念を捨て、若者との壁を取り払うことが、青少年の性とどのようにつき合っていくかについての一步ではないだろうか。

若者の性のあり方、考え方が多様であることを理解し、大人たちがそれに対して、どのように向きあい情報を与えていくべきかが今後の課題であると言えるだろう。

## 第8章 まとめと考察

### 1. まとめと考察

これまで見てきたように、高校2年生の32%は、すでにセックスを経験している。彼らの多くは、性・セックスを「楽しい」「よい」ものとして捉えながらも、同時に「軽い」ものとしても捉えている。彼らにとっては、セックスは、愛情表現やふれあいのためのコミュニケーションであり、また快楽を得たり、ストレスを解消し、征服欲を満たすものでもあり、自己確認と自己証明をするための手段でもある。

8割以上の高校生が高校生のセックスを受容している現在、高校生はセックスしてはいけないという規範がすでに機能しなくなったといったほうが適切であろう。しかし、「愛のないセックス」、「金銭がらみのセックス」、「恋人以外の人とのセックス」を受容する者はそれほど多くないことは、かれらの性規範が私たち大人のそれと大きく異なることを示しているとも言えよう。高校生でも好きな人であればセックスするのはあたりまえとなっており、セックスへの敷居が低くなってきていることが、高校生のセックスの経験率の高さを説明している。

図8-1-1に示したように、若者の性のあり方が「居場所のなさ」、そこから生じる若者の価値観・心理的状态、さらに「情報化社会」に大きく規定されていることも、すでにこれまでの分析で詳細に見てきたとおりである。

親子コミュニケーションに問題が多く、家庭が楽しくない、また友人関係が楽しくない、学校の授業が楽しくないと思う者ほど、「退屈感」(毎日の生活が退屈でつまらない)、「徒労感」(努力しても報われない)、「虚無感」(世の中がお金がすべてだ)、「享楽感」(今が楽しければそれでよい)が高い。このような価値観を持つ若者ほど、セックスの経験率が高い。そして、初交年齢が低く、性交渉の相手人数も多い。彼らにとっては、セックスは「快楽」を得るものであり、また「ストレスを解消するもの」であり、「征服欲を満たすもの」である。セックスが若者にとって日常生活の退屈さを紛らわしてくれるものであり、自分という存在を証明してくれる手段ともなっている。

彼らの価値観は、情報化社会でのメディアの利用とも密接に関連している。情報メディアの個人化により、多くの若者がテレビやビデオデッキを所持し、自由に好きな時間帯にテレビ番組やビデオを鑑賞することができるようになった。そのなかでも「退屈感」「徒労感」「虚無感」「享楽感」の強い者ほど、出会い系サイト、アダルトビデオなどを利用する者が多い。そして、アダルトビデオ等で描かれているセックスをまねする者は、まねしない者より、セックスを「快楽」「やすらぎ」「ストレス解消」「征服感を満たすもの」と位置づける者が多く、性交渉の経験人数も多い傾向が確認できた。

日常生活の退屈さや将来への希望のなさ(努力しても報われない、世の中はお金がすべ

てだ)そして、このような退屈さや将来への不安を解消するための享楽意識(今が楽しければそれでいい)を強く持つ若者ほど、早い時期から、多くの者とセックスをする。かれらはセックスを通して快楽を獲得し、ストレスを解消するとともに、征服感が満たされている。セックスは心の拠り所のない若者に癒しを提供し、また男としての魅力または女としての魅力を確認し、自己肯定感を高める機能を持つ。

しかし、居場所のなさから、「退屈感」「徒労感」「虚無感」「享楽感」が高まり、日常生活の退屈さ、孤独感から逃避するために、また、自分という存在を誰かに認めてほしい、承認してほしいために、つねに新しい相手を求めてセックスを繰り返す若者にとっては、長期にわたってだれかと関係性を作る、または維持するプロセスが欠けているために、孤独感からの逃避や自己確認・自己証明もその場限りのものでしかないことも十分考えられる。人と関わりたいがゆえに、セックスに走る若者は、その場限りの快楽や自己確認の手段となったセックスではますます孤独を覚えてしまう恐れも推測されるだろう。

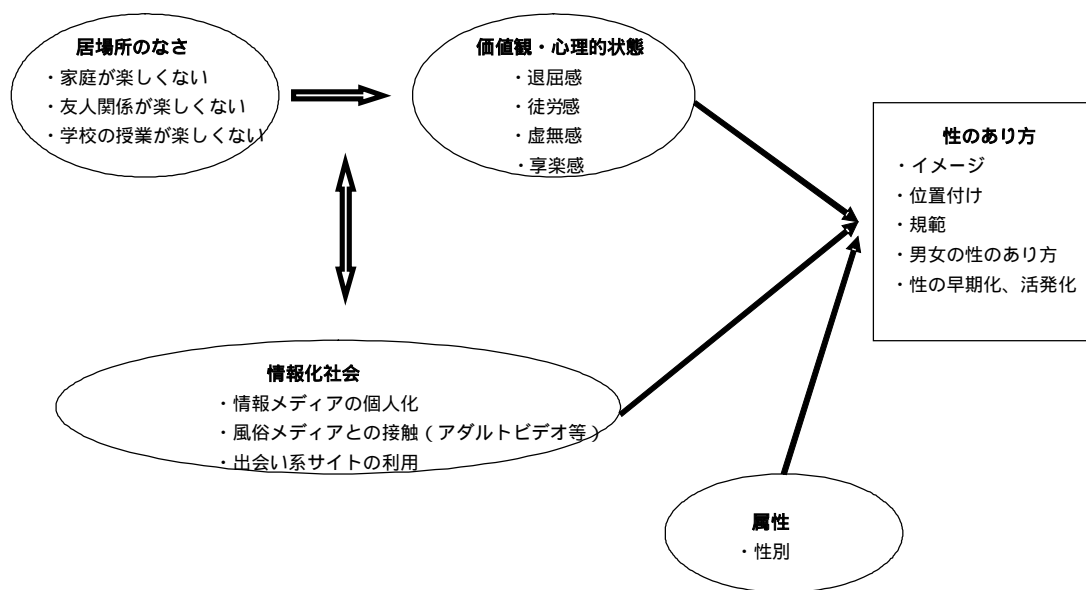


図 8-1-1 分析結果の整理図

## 2. 提言

### ・居場所の提供

友人関係、家庭関係、また学校が楽しくないと思う若者は、退屈感、享楽感、虚無感と徒労感が強い。このような価値観を持つ若者は、セックスを「快楽」「ストレス解消」「征



服感を満たすもの」と位置づけし、早い年齢でセックスを体験し、また多くの人と性交渉をしている。さらに、このような価値観を持つ者ほど、出会い系サイトを利用し、また援助交際に走る者が多い。

彼らにとってセックスは、安らぎと快樂の場を提供し、自分の男としての魅力または女としての魅力を確認し、自己肯定感を高めるものとして機能している。ただし、セックスのこのような側面ばかりを追求し、相手といかに関わるかの関係性が欠落しているところでは、豊穡な性の可能性は開かれてこないだろう。自己確認、自己証明をするためのセックスはますます出口のない袋小路に陥るおそれがあるだろう。

若者が行き場のないエネルギーをセックスに向けていることを冷静に受け止めながらも、若者に精神的に安らげる場、自己確認・自己証明できる場、そしてかれらに快樂やストレス解消、征服欲を満たす性以外の、性の多様なあり方を示すモデルを大人側が用意することが必要ではないだろうか。

ただし、若者にとっての居場所は、必ずしも物理的次元での空間を意味するものとは限らず、むしろ心理的に安心できる空間という意味のほうが重要であろう。なぜならば若者は友人や親との関係がうまくいかないことで疎外を感じており、退屈感、享樂感、虚無感と徒勞感を多く感じているからである。彼らにとって一番の問題となっているのは人間関係の疎外であり、また若者に「努力しても報われない」、「世の中はお金がすべてだ」と思わせる社会のあり方である。それは空間というよりはむしろ心理的・社会的な問題であろう。

#### ・正しい性知識を提供すること

初体験が早期化し、また性行動自体が活発であるのに、若者の性知識はほとんど「友人」とメディア（男子生徒はアダルトビデオ、アダルトグラビア誌、女子生徒はマンガ、ドラマ）から得ている。青少年の避妊法が「膣外射精」や「月経から日数を数える」方法を用いる生徒も少なくないことから分かるように、これらの情報源では必ずしも正しい知識と情報を与えているとは言い難い。

第4章第3節での分析で明らかにしたように、アダルトビデオから多くの影響を受けている者ほど、避妊をしない者が多いし、「膣外射精」を用いる者が多い。かれらのこのような避妊実態と関連し、アダルトビデオの影響を大きく受ける女子生徒には、性感染症の感染率も望まぬ妊娠の中絶率も高い。若者を性感染症や望まぬ妊娠の中絶から守るために、メディアや友人から得る性知識・性情報が正しいかどうかを見極める力を身につけさせることが第一の課題であろう。

そのために、学校の先生、親、そして社会の大人たちは何よりも、まず若者の性意識と性行動の現状を客観的に把握し、冷静に対処することが重要である。はれ物のように避け

たり、臭いものにふたというように見て見ぬふりをするのではなく、また自分の子に限っては大丈夫という根拠のない自信にストップをかけることが求められている。若者の健康と安全を守るために、若者と大人が性についてオープンに話し合える場を作ることがまず重要ではないだろうか。それとともに若者に正確な性情報や性知識を与えることが重要であろう。

若者の自由回答にも書かれているように、セックスに関する実践的知識や、男性と女性の心理・行動の違い、さらに自分と相手の体の健康と安全を守るために必要な避妊や性感染症の予防法を正確に、確実に学ぶことが若者たちに切実に求められている。

### ・性の多様なあり方を学習すること

アダルトビデオなどの影響を分析した結果でも分かるように、これらの風俗メディアと多く接触し、そこから性知識・性情報を得ている若者のほうが、男女の関係性について男性はこうである、女性はこうであるというようにステレオタイプ化する傾向がある。

アダルトビデオや風俗情報誌が今日、人々の性のあり方に大きな影響を及ぼしていることを考えれば、アダルトビデオや風俗情報誌で描かれている性のあり方は必ずしも正しくないことを青少年に理解してもらったうえで、学校や家庭は正しい性の知識や多様な性のあり方を教育することが重要となる。

そのために、メディアより大きい、あるいは同等の影響力を持つ人間情報源が必要である。学校の教師、親はもちろんのこと、それ以外にも若者に性のことを専門的に教えてくれる組織や機構、または街角で気軽に相談できる場の設定、さらに同年代の大学生による中高生の性の悩み相談などの取り組みが可能であろう。

漫画原作者、作家である南智子は、2003年1月25日付けの朝日新聞に、以下のような文章を寄せている。「私は、性風俗やアダルトビデオの撮影などの現場、そこで働く数多くの女性や男性、そしてお客さんたちを10年以上見続けてきました。そこで分かったのは、人間の性はこれが正しいあり方だと型にはめることができないという事実です。人によりセックスの嗜好や関係は実に様々です。国家が性のあり方を規範として押しついたり、社会の大勢が個人の性を抑圧したりすることには、大きなリスクもつきまといます。どんな感じ方もセックスレスも禁欲主義も多様な性のあり方の一つであり、頭ごなしに否定できません。大切なのは、何が自分に最も自然で心地よいのかというスタンスをはっきりさせること。そのために自分の性に正面から向き合うことです。そしてそれが実に多様であることを理解し、色々な人が存在することをお互いに尊重し合う。それが成熟した社会なのではないでしょうか。」

若者に性のこのような多様性に気づかせる工夫をした取り組みや、学習の場を用意することが今後の課題となるだろう。

## 参考文献

- 赤枝恒雄、2002、『ガールズガード』、WAVE 出版
- 赤枝恒雄、2002、『子どものセックスが危ない』、WAVE 出版
- 浅井春夫、2000、『セクシュアル・ライツ入門』、十月舎
- ピヤネール多美子、2000、『スウェーデンの性と性教育』、十月舎
- 福富護（研究代表者）2002、『「援助交際」に対する成人男性の意識と背景要因』（財）女性のためのアジア平和国民基金
- 兵庫県家庭問題研究所、1993、『思春期の子どもの性意識・性行動に関する調査研究報告書』（財）兵庫県長寿社会研究機構家庭問題研究所
- いのうえせつこ、1996、『買春する男たち』、新評論
- 警察庁生活安全局少年課、2002、『青少年と生活環境等に関する調査研究報告書』
- 河野美香、2000、『十七歳の性』、講談社＋ 新書
- 河野美代子、1999、『さらば、悲しみの性』、集英社文庫
- 三井善止編著、2001、『生と性の教育学』、玉川大学出版部
- 宮台真司ほか、1998、『＜性の自己決定＞原論』、紀伊国屋書店
- 宮台真司、1997、『まぼろしの郊外 成熟社会を生きる若者たちの行方』、朝日新聞社
- 村尾建吉、1999、『援助交際「社会」のゆくえ』、鹿砦社
- NHK「日本人の性」プロジェクト編、2002、『データブック NHK 日本人の性行動・性意識』、NHK 出版
- （財）日本性教育協会編、2001、『「若者の性」白書 第5回青少年の性行動全国調査報告』、小学館
- 清水弘司、1995、『10代の性とこころ』、サイエンス社
- 須藤廣、2002、『高校生のジェンダーとセクシュアリティ』、明石書店
- 田崎英明編著、1998、『売れる身体／買う身体』、青弓社
- 東京都生活文化局、1997、『平成8年度青少年健全育成基本調査「青少年の生活と意識及び青少年と性に関する法制についての調査」』
- 東京都幼稚園・小・中・高・心障性教育研究会、2002、『児童・生徒の性』、学校図書
- 上野千鶴子、2002、『発情装置』、筑摩書房

## 資料

- 1 . 質問紙
- 2 . 単純集計

こうこうせい  
**高校生の性についてのアンケート**

ご協力  
**【ご協力お願い】**

このアンケートは、兵庫県の依頼を受け、県内の高校生の性についての意識と経験を調査し、今後の青少年のための事業や施策に役立てるために行ないます。

アンケートは、名前を書かずに答えてください。また、答えたくない部分には、何も書かなくても構いません。回答したアンケートを封筒に入れ、開かないようにして学校に提出してください。

みなさんから寄せられた回答はすべてコンピュータで統計処理しますので、あなたの回答内容が、ご家族、先生、その他外部の人にわたってしまふことはありません。安心してご協力ください。

なお、このアンケートについて、ご不明な点やご質問がありましたら、平素までお問い合わせください。

(財)兵庫県ヒューマンケア研究機構  
家庭問題研究所 (担当: 施、小泉、岡崎、中島)  
Tel.078-321-2730 (直通)  
Tel.078-341-7711 (県庁内線6557)  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3  
兵庫県民会館 8 階

**【 記入についてお願い 】**

- ◎回答は、アンケートをお願ひしたご本人が記入してください。
- ◎回答は、このアンケート用紙に直接書き込んでください。
- ◎ご記入いただいたアンケート用紙は、お渡した封筒に入れて、開かないようにしたうえで、平成14年9月13日(金)までに 学校に提出してください。

問1. あなたは「性」とか「セックス」という言葉について、どのようなイメージを持っていますか。それぞれの項目について、あなたのイメージにもっとも近いものに 1つだけ ○をつけてください。

	そう 慰う	どちらかといえ ば そう慰う	どちらかといえ ば そう慰わない	そう 慰わない
①性・セックスは楽しいものだ	1	2	3	4
②性・セックスは汚いものだ	1	2	3	4
③性・セックスはよいものだ	1	2	3	4
④性・セックスは軽いものだ	1	2	3	4
⑤性・セックスは恥ずかしいものだ	1	2	3	4
⑥性・セックスは暗いものだ	1	2	3	4

問2. あなたにとつて、セックスとはどういうものですか。(あてはまるものに いくつでも ○をつけてください)

1. 愛情表現	2. ふれあい (コミュニケーション)	3. 安らぎ
4. 子どもを作るための行為	5. 快楽	6. ストレス解消
7. 義務	8. 征服欲をみたすもの	9. 不快・苦痛
10. 自分とは関係のないもの	11. その他 ( )	

問3. ふだん、あなたは性・セックスについての情報を、だれから得ていますか。(あてはまるものに いくつでも ○をつけてください)

1. 親	2. 学校の先生	3. 友達	4. 先輩
5. 医師、カウンセラー	6. その他 ( )	7. 特になし	

問4. 普段、あなたは性・セックスについての情報を、どこから得ていますか。(あてはまるものに いくつでも ○をつけてください)

1. 少年マンガ・少女マンガ	2. ヤングコミック誌	3. アダルトグラフィック誌
4. 深夜のバラエティー番組	5. テレビドラマ	6. アダルトビデオ
7. 一般週刊誌	8. 女性誌	9. 性教育書
10. インターネット	11. その他 ( )	12. 特になし

問5. あなたは競走、靴・セックスについて何か知りたいことがありますか。(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

1. 茶に頼ること	2. 男性と女性の心理や行動の違い
3. 愛とは何か	4. 男性との交際のしかた
5. セックスの方法	6. 避妊の方法
7. 性感染症(性病)のこと	8. エイズの知識
9. 性に関する不安、悩み、相談のつてくれるところ	
10. その他( )	11. 特に知りたいことはない

問5-1 上の質問で1~10の項目のうち、1つでも知りたいと答えた人にお聞きします。今後、それらについての情報はどこから得たいですか。(あてはまるものにいくつでも○を)

1. 親	2. 学校の先生	3. 友達	4. 先輩
5. 雑誌	6. 本	7. テレビ	8. ビデオ
9. インターネット	10. その他( )		

問6. あなたは、つぎのような行為についてどう思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

	かまわない	どちらかと いえば かまわない	どちらかと いえば よくない	よくない
① 高校生がセックスをすること	1	2	3	4
② 愛憎がなくてもセックスをすること	1	2	3	4
③ お金をもらったりあげたりしてセックスをすること	1	2	3	4
④ 恋人のいる人が、恋人以外のひととセックスをすること	1	2	3	4

問7. つぎのようなそれぞれの項目について、あなたの考えや状態にもっとも近いものに1つだけ○をつけて下さい。

	そう思う	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば 思わない	そう 思わない
① 毎日がいづくつづつまらない	1	2	3	4
② 自分はひとりぼっちだ	1	2	3	4
③ 自立したい	1	2	3	4
④ 気の通まないことでも人から誘われるとやっしてしまう	1	2	3	4
⑤ 今が楽しければそれでいい	1	2	3	4
⑥ 曲の中はお金がすべてだ	1	2	3	4
⑦ 夫は信用できない	1	2	3	4
⑧ 社会がだんだん悪くなっていく	1	2	3	4
⑨ まじめに努力しても報われない	1	2	3	4
⑩ 勇は外で働き、女は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑪ 子供が小さいうちは、母親は仕事をもちに家にいるべきだ	1	2	3	4
⑫ 男性は、セックスでは女性をリードすべきだ	1	2	3	4
⑬ 女性も、セックスでは男性のリードにしたがるべきだ	1	2	3	4
⑭ 男性は心の底ではレイプしたいと思っている	1	2	3	4
⑮ 女性は心の底ではレイプされたいと思っている	1	2	3	4

問8. あなたは、つぎのような行為についてどう思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

	かまわない	どちらかと いえば かまわない	どちらかと いえば よくない	よくない
① 放置している他人の自転車にのること	1	2	3	4
② 高校生がたばこを吸うこと	1	2	3	4
③ 万引きをすること	1	2	3	4
④ 覚醒剤やマリファナなどのドラッグを使用すること	1	2	3	4

問9. あなたはマスターベーション(オナニー)の経験がありますか。  
 1. ある 2. ない 3. 言葉の意味が分からない

問10. あなたは今までに、セックスの経験がありますか。

1. ある 2. ない

p.7の問18へ

上の質問で「ある」と答えた人にお聞きします。

問10-1 はじめてセックスを経験したのは、何歳のごときですか。 満 歳

問10-2 そのはじめての相手は、そのときあなたにとって、どういう人でしたか。  
 (1つだけ○をつけてください)

1. 恋人 2. 友達 3. 先輩・後輩 4. 出会い系サイトで知り合った人  
 5. はじめて出会った人 6. その他( )

問10-3 そのときの相手の年齢は・・・

1. 自分より年下 2. 自分と同じ年 3. 自分より年上 4. わからない

問10-4 はじめてセックスを経験したとき、どちらから要求しましたか。

1. 自分から言葉や態度で 2. 相手から言葉や態度で 3. どちらともいえない。自然に

問10-5 はじめてセックスをして、どのように感じましたか。

1. 経験してよかった 2. 経験しなければよかった 3. どちらともいえない

問10-6 問10-5で答えたように感じたのは、どうしてですか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください

1. 好きな人と深い関係になれたから 2. 気持ちよかったから  
 3. 相手から愛情を感じることができたから 4. 大人の仲間入りができただから  
 5. 気持ちよくなかったから 6. 想像していたものとは違っていたから  
 7. その他( )

問10-7 あなたはいままでに、何人の人とセックスの経験がありますか。

- ア. 1人 イ. 2人 ウ. 3人 エ. 4人以上

問11. あなたには現在、セックスをする相手がいますか。

- ア. 1人いる イ. 複数いる ウ. いない

p.5の問12へ

「ア. 1人いる」と答えた人にお聞きします。

問11-1 その人とセックスをするとき、どちらから要求しますか。(1つだけ○を)

1. 自分から言葉や態度で 2. 相手から言葉や態度で 3. どちらともいえない。自然に

問11-2 あなたは、その相手が「あなたとのセックス」について、どんなことを望んでいるか理解していますか。(1つだけ○をつけてください)

1. よく分かっている 2. だいたい分かっている 3. あまり分かっている  
 4. まったく分かっていない 5. 考えたことがない

問11-3 その相手は、あなたが「その人とのセックス」にどんなことを望んでいるのか理解していると思いますか。

1. よく分かっている 2. だいたい分かっている  
 3. あまり分かっている 4. まったく分かっていない

問11-4 あなたは、自分たちのセックスについて、その人とふだんどのぐらい会話をしますか。

1. よく話をする 2. たまに話をする 3. あまり話をしない 4. 全然話をしない

問12. あなたは、アダルトビデオや雑誌などでしているようなセックスを、まねたことがありますか。(1つだけ○をつけてください)

1. ある 2. したいと思っただが、しなかった 3. ない 4. 見たことがない

問13. あなたは、セックスをするとき、エイズや性感染症(性病)などのことが気になりますか。

1. 非常に気になる 2. 少しは気になる 3. あまり気にならない 4. 全然気にならない

問14. あなたは、これまでに性感染症にかかったことがありますか。

1. ない 2. ある 3. わからない

問15. あなたは、セックスをするとき、妊娠の可能性が気になりますか。

1. 非常に気になる 2. 少しは気になる 3. あまり気にならない 4. 全然気にならない

問 16. あなたは、セックスをするとき、避妊を実行していますか。

1. いつもしている      2. 場合による      3. いつもしていない

→ p.6の 問 16-4へ

上の質問で「いつもしている」と「場合による」と答えた方にお聞きします。

問 16-1 その避妊の方法は・・・。(いくつでも○をつけてください)

- |                      |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|
| 1. コンドーム             | 2. ピル (錠剤)  | 3. フィルム状避妊薬 |
| 4. 子宮からの自然な分泌        | 5. 基礎体温をはかる |             |
| 6. 膈外挿精法 (精液を外に出すこと) | 7. その他 ( )  |             |

問 16-2 避妊するのはどうしてですか。(いくつでも○をつけてください)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. 子供ができてお母さんや父さんから     |  |
| 2. 後でめんどうなことになると困るから    |  |
| 3. 当たり前のことだから           |  |
| 4. 相手のからだを思いやって         |  |
| 5. 病気をうつしたり、うつされたりしないため |  |
| 6. その他 ( )              |  |

問 16-3 そのとき、避妊はどちらが言い出しますか。

1. 自分      2. 相手      3. どちらともいえない      4. その他 ( )

問 16-4 「3. いつもしていない」と答えた方にお聞きします。

問 16-4 避妊を実行しないのはなぜですか。(いくつでも○をつけてください)

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1. めんどくさいから       |  |
| 2. 準備していないことが多いから |  |
| 3. たぶん妊娠しないと思っから  |  |
| 4. 避妊を言い出せないから    |  |
| 5. 相手に断られるから      |  |
| 6. 避妊法を知らないから     |  |
| 7. その他 ( )        |  |

問 17. あなたは、これまでに中絶した(相手に中絶させた)ことがありますか。

1. ない      2. ある      3. わからない

問 18. あなたは、出会い系サイトを利用したことがありますか。

1. ある      2. ない → p.8の 問 21へ

上の質問で「ある」と答えた方にお聞きします。

問 18-1 あなたは出会い系サイトをどうやって知りましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. メールで      2. 一般の雑誌、週刊誌で      3. 友達・知り合いから
4. ネットで偶然に      5. その他 ( )

問 18-2 あなたは、どんな目的で「出会い系サイト」を利用しましたか。(1つだけ○を)

1. 同じ趣味を持つ仲間を作るため      2. 悩みを相談する友人を作るため
3. 恋人を作るため      4. 興味本位から
5. その他 ( )

問 18-3 あなたは、「出会い系サイト」で知り合った方の数は、何人くらいですか。

\_\_\_\_\_人くらい

問 18-4 あなたは、出会い系サイトで知り合った人と、直接に会ったことがありますか。

1. ある      2. ない

問 18-5 実際「出会い系サイト」で知り合った人と、どのような関係になりましたか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

1. メール友      2. 電話で話す友達      3. 実際に会って遊ぶ同性の友達
4. 実際に会って遊ぶ異性の友達      5. 恋人      6. セックスをする相手
7. 以上(1~6)の関係にならなかった      8. その他 ( )

問 19. あなたは、「出会い系サイト」を利用していることを、ご両親に話していますか。

1. 話している      2. 話していない

問 20. 「出会い系サイト」を使ったことで、イヤな思いをしたことがありますか。

1. トラブルに巻き込まれた      2. 迷惑メールでイヤな思いをした      3. 別れない

上の質問で「1. 2」と答えた方は、そのエピソードを具体的に書いてください。

--



問21. あなたは、「出会い系サイト」を利用することに、誰かからアドバイスや注意を受けたことがありますか。あてはまるものに いくつでも ○をつけてください。

1. 親から
2. 先生から
3. 友達から
4. その他 ( )
5. ない

問22. 最近「出会い系サイト」に関連する事件が起きているようですが、あなたはどのように感じられますか。( 1つだけ ○をつけてください)

1. 自分も巻き込まれるかもしれないので、とてもこわい
2. 自分には関係ないと思うが、こわいと思う
3. 自分には関係ないので、別に何も思わない
4. そういう事件を知らないので、替えられない
5. その他 ( )

問23. あなたは、「出会い系サイト」を利用することについて、どう思いますか。

1. 特に問題ない
2. 気をつけて利用すれば、問題ない
3. 利用してはいけない
4. わからない

問24. あなたは、次のような経験がありますか。( いくつでも ○をつけてください)

1. インターネットでアダルト画像 (エッチな写真や絵) を見る
2. アダルトビデオを見る
3. テレホンクラブ (テレクラ) を使う
4. ダイヤル Q2 (伝言ダイヤル) を使う
5. ソープランドに行く
6. デートクラブを利用する
7. 援助交際をする
8. 以上 (1~7) の経験なし

問25. あなたは、友人の性的な行動や経験が、どのぐらい気になると思いますか。

1. 非常に気になる
2. 少しは気になる
3. あまり気にならない
4. 全然気にならない

問26. あなたは、つぎのような性的な被害を受けたことがありますか。それぞれの項目について、だれから受けたか答えてください。( いくつでも ○をつけてください。被害を受けたことがない場合には、「ない」に○をつけてください)

	家族・親戚から	友達などから	学校・塾の先生から	その他の知り合いから	知らない人から	ない
① 身体をイヤらしい自分でじろろ見られた						
② 言葉などで、性的なからかきを受けた						
③ 身体をさわられた						
④ 相手のはだかや性器などを見せられた						
⑤ 性的な誘惑を受けた						
⑥ むりやりに性的行為をさせられた						
⑦ ストーカー的な行為を受けた						

問26-1 上の質問の①~⑦の項目で1つでも被害にあった人にお聞きします。あなたは、そのことについて、だれに相談しましたか。(あてはまるものに いくつでも ○)

1. 親
2. 先生
3. 友達
4. 先輩
5. 医師、カウンセラー
6. その他 ( )
7. 相談する相手はいない (いなかった)

問27. あなたにとって、「家庭」「学校の友人」「学校の授業」のイメージはどんなものですか。それぞれの項目について、あてはまるものに 1つだけ ○をつけてください。

	楽しい	どちらかといえは楽しい	どちらかといえは楽しくない	楽しくない
a. 家庭	1	2	3	4
b. 学校の友人関係	1	2	3	4
c. 学校の授業	1	2	3	4

問28. いまの学校の授業は楽しいですか。( 1つだけ ○をつけてください)

1. とても楽しい
2. まあまあ楽しい
3. あまり楽しくない
4. 楽しくない

問29. あなたは、次のようなことについて、だれと話をしますか。それぞれの項目について、あてはまる人すべてに○をつけてください。

	父親	母親	恋人	親友	親友以外の友達	その他(身体的)	だれとも話さない
① 勉強・進路							
② テレビの話題							
③ 友達のこと							
④ 趣味や遊び							
⑤ 家族や家庭							
⑥ 恋愛や異性							
⑦ からだや性							

問30. あなたの友達の数教えてください。

- 普段、電話やメールで連絡を取り合う友達.....およそ( )人
- 普段よくあっておしゃべりする友達.....およそ( )人
- 休みの日などに一緒に買い物にいたり遊びに行く友達.....およそ( )人
- 「親友」と呼べるような友達.....およそ( )人

問31. あなたのご両親はどのような人ですか。それぞれの項目について、あてはまるものにつただけ ○をつけてください。

	父親				母親			
	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	父親は知らない	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	母親は知らない
① とても教育熱心	1	2	3	4	1	2	3	4
② 困ったときに頼りになる	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 子供の気持ちを分かってくれる	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 小遣いが足りないとき、たいして理由も聞かずにくれる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 子供のうそにだまされやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 同僚や来客に厳しい	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 子供がしていることに無関心	1	2	3	4	1	2	3	4

問32. あなたの性別は..... 1. 男性 2. 女性

問33. あなたは、きょうだいがいいますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 兄
- 弟
- 姉
- 妹
- いない

問34. あなたは、現在だれと一緒に住んでいますか。(あてはまるものすべてに○を)

- 一人暮らし
- 父
- 母
- 祖父
- 祖母
- きょうだい
- その他( )

問35. あなたは自分専用机に、以下のものを持っていますか。(持っているものすべてに○を)

- テレビ
- ビデオデッキ
- オートバイ (原付もふくむ)
- 個室
- 携帯電話・PHS
- パソコン
- キャッシュカード

問36. あなたのお住まいの市名、あるいは郡部にお住まいの市名をお書きください。( )市・町

【自由回答】 男女交際や性について、自覚していることやご意見がありましたら、自由に書いてください。

これでおわりです。最後までご協力ありがとうございました

回答もれがないかをご確認の上、封筒に入れて学校に提出してください。

【家庭問題研究所の概要】 <http://www.boreas.dti.ne.jp/human-c>

本研究所は、家庭に関わる諸問題を総合かつ体系的に調査研究し、家庭の新しいあり方を解明することを目的に、1984年4月、兵庫県によって設立されました。創設以来、家庭問題に関する調査研究、政策提言のほか、シンポジウムや講演会を開いたり、啓発資料を発行するなどの事業を行なっています。

# 「高校生の性意識・性行動」の男女別単純集計

注：DK=Don't Know  
NA=No Answer

問1. あなたは「性」とか「セックス」という言葉について、どのようなイメージを持っていますか。  
それぞれの項目について、あなたのイメージにもっとも近いものに1つだけ をつけてください。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
性・セックスは楽しいものだ			
そう思う	606 20.4	416 32.2	161 10.3
どちらかといえばそう思う	1313 44.2	603 46.6	667 42.8
どちらかといえばそう思わない	652 22.0	171 13.2	458 29.4
そう思わない	242 8.2	63 4.9	176 11.3
DK, NA	156 5.3	40 3.1	96 6.2
性・セックスは汚いものだ			
そう思う	76 2.6	36 2.8	38 2.4
どちらかといえばそう思う	350 11.8	134 10.4	202 13.0
どちらかといえばそう思わない	1171 39.4	493 38.1	633 40.6
そう思わない	1235 41.6	585 45.2	611 39.2
DK, NA	137 4.6	45 3.5	74 4.7
性・セックスはよいものだ			
そう思う	683 23.0	436 33.7	219 14.1
どちらかといえばそう思う	1329 44.8	582 45.0	704 45.2
どちらかといえばそう思わない	630 21.2	174 13.5	432 27.7
そう思わない	152 5.1	48 3.7	101 6.5
DK, NA	175 5.9	53 4.1	102 6.5
性・セックスは軽いものだ			
そう思う	100 3.4	52 4.0	43 2.8
どちらかといえばそう思う	279 9.4	128 9.9	136 8.7
どちらかといえばそう思わない	958 32.3	456 35.3	464 29.8
そう思わない	1473 49.6	603 46.6	829 53.2
DK, NA	159 5.4	54 4.2	86 5.5
性・セックスが恥ずかしいものだ			
そう思う	285 9.6	97 7.5	180 11.6
どちらかといえばそう思う	898 30.2	381 29.5	478 30.7
どちらかといえばそう思わない	932 31.4	435 33.6	464 29.8
そう思わない	711 23.9	333 25.8	360 23.1
DK, NA	143 4.8	47 3.6	76 4.9
性・セックスは暗いものだ			
そう思う	36 1.2	23 1.8	11 0.7
どちらかといえばそう思う	115 3.9	58 4.5	46 3.0
どちらかといえばそう思わない	846 28.5	366 28.3	442 28.4
そう思わない	1820 61.3	797 61.1	976 62.6
DK, NA	152 5.1	49 3.8	83 5.3
合計	2969 100.0	1293 100.0	1558 100.0

問2. あなたにとって、セックスとはどういうものですか。(あてはまるものはいくつでも をつけてください)

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
愛情表現	2223 77.9	924 74.0	1222 81.5
ふれあい(コミュニケーション)	1177 41.3	495 39.7	646 43.1
安らぎ	571 20.0	254 20.4	290 19.3
子供を作るための行為	1853 65.0	808 64.7	975 65.0
快楽	1033 36.2	605 48.5	389 25.9
ストレス解消	214 7.5	137 11.0	68 4.5
義務	96 3.4	64 5.1	24 1.6
征服欲を満たすもの	237 8.3	134 10.7	91 6.1
不快・苦痛	53 1.9	15 1.2	36 2.4
自分とは関係ないもの	142 5.0	54 4.3	85 5.7
その他	34 1.2	18 1.4	15 1.0
基数	2852 100.0	1248 100.0	1500 100.0

問3. ふだん、あなたは性・セックスについての情報を、だれから得ていますか。  
(あてはまるものいくつかもをつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
親	128	4.5	37	3.0	86	5.7
学校の先生	426	14.9	144	11.5	270	17.8
友達	1993	69.6	879	70.4	1044	69.0
先輩	494	17.3	306	24.5	165	10.9
医師、カウンセラー	16	0.6	5	0.4	11	0.7
その他	126	4.4	47	3.8	77	5.1
特になし	680	23.8	295	23.6	362	23.9
基数	2862	100.0	1248	100.0	1513	100.0

問4. 普段、あなたは性・セックスについての情報を、どこから得ていますか。(あてはまるものいくつかもをつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
少年マンガ・少女マンガ	897	32.1	197	16.2	680	45.8
ヤングコミック誌	468	16.7	332	27.3	122	8.2
アダルトグラビア誌	457	16.3	405	33.3	35	2.4
深夜のバラエティ番組	529	18.9	299	24.6	212	14.3
テレビドラマ	534	19.1	150	12.3	363	24.4
アダルトビデオ	692	24.7	575	47.2	87	5.9
一般週刊誌	211	7.5	126	10.4	80	5.4
女性誌	370	13.2	18	1.5	341	22.9
性教育書	439	15.7	162	13.3	260	17.5
インターネット	253	9.0	184	15.1	61	4.1
その他	115	4.1	29	2.4	84	5.7
特になし	646	23.1	233	19.1	385	25.9
基数	2797	100.0	1217	100.0	1486	100.0

問5. あなたは現在、性・セックスについて何か知りたいことがありますか。(あてはまるものいくつかもをつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
体に関すること	408	14.6	178	14.6	219	14.9
男性と女性の心理や行動の違い	799	28.7	366	30.1	408	27.7
愛とは何か	476	17.1	213	17.5	247	16.8
異性との交際のしかた	680	24.4	346	28.5	316	21.4
セックスの方法	621	22.3	322	26.5	278	18.9
避妊の方法	534	19.2	205	16.9	311	21.1
性感染症のこと	932	33.5	360	29.6	542	36.8
エイズの知識	608	21.8	258	21.2	325	22.0
性に関する不安、悩みの相談にのってくれるところ	191	6.9	59	4.9	126	8.5
その他	26	0.9	14	1.2	11	0.7
特に知りたいことはない	779	28.0	340	28.0	413	28.0
基数	2786	100.0	1216	100.0	1474	100.0

問5-1 上の質問で1～10の項目のうち、1つでも知りたいと答えた人にお聞きします。

今後、それらについての情報はどこから得たいですか。(あてはまるものいくつかもをつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
親	92	4.7	36	4.1	53	5.1
学校の先生	251	12.7	107	12.3	132	12.8
友達	1030	52.2	470	54.0	533	51.5
先輩	231	11.7	132	15.2	88	8.5
雑誌	642	32.5	235	27.0	398	38.5
本	774	39.2	363	41.7	388	37.5
テレビ	466	23.6	230	26.4	221	21.4
ビデオ	213	10.8	164	18.9	44	4.3
インターネット	204	10.3	131	15.1	63	6.1
その他	90	4.6	33	3.8	54	5.2
基数	1975	100.0	870	100.0	1035	100.0

問6. あなたは、つぎのような行為についてどう思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近いものに1つだけをつけてください。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
高校生がセックスをすること						
かまわない	1757	59.2	798	61.7	895	57.4
どちらかといえばかまわない	698	23.5	290	22.4	384	24.6
どちらかといえばよくない	294	9.9	118	9.1	168	10.8
よくない	156	5.3	64	4.9	82	5.3
DK, NA	64	2.2	23	1.8	29	1.9
愛情がなくてもセックスをすること						
かまわない	214	7.2	155	12.0	50	3.2
どちらかといえばかまわない	316	10.6	194	15.0	105	6.7
どちらかといえばよくない	811	27.3	411	31.8	367	23.6
よくない	1568	52.8	505	39.1	1015	65.1
DK, NA	60	2.0	28	2.2	21	1.3
お金をもらったりあげたりしてセックスをすること						
かまわない	144	4.9	99	7.7	37	2.4
どちらかといえばかまわない	180	6.1	91	7.0	82	5.3
どちらかといえばよくない	505	17.0	274	21.2	213	13.7
よくない	2077	70.0	801	61.9	1205	77.3
DK, NA	63	2.1	28	2.2	21	1.3
恋人のいる人が、恋人以外の人とセックスをすること						
かまわない	164	5.5	105	8.1	52	3.3
どちらかといえばかまわない	229	7.7	130	10.1	90	5.8
どちらかといえばよくない	699	23.5	346	26.8	319	20.5
よくない	1813	61.1	685	53.0	1074	68.9
DK, NA	64	2.2	27	2.1	23	1.5
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問7. つぎのようなそれぞれの項目について、あなたの考えや状態にもっとも近いものに1つだけをつけて下さい。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
毎日がたいくつでつまらない						
そう思う	408	13.7	215	16.6	180	11.6
どちらかといえばそう思う	738	24.9	337	26.1	376	24.1
どちらかといえばそう思わない	894	30.1	353	27.3	510	32.7
そう思わない	872	29.4	369	28.5	469	30.1
DK, NA	57	1.9	19	1.5	23	1.5
自分はひとりぼっちだ						
そう思う	179	6.0	94	7.3	76	4.9
どちらかといえばそう思う	394	13.3	189	14.6	192	12.3
どちらかといえばそう思わない	860	29.0	365	28.2	466	29.9
そう思わない	1463	49.3	622	48.1	789	50.6
DK, NA	73	2.5	23	1.8	35	2.2
目立ちたい						
そう思う	323	10.9	168	13.0	135	8.7
どちらかといえばそう思う	806	27.1	355	27.5	429	27.5
どちらかといえばそう思わない	987	33.2	413	31.9	540	34.7
そう思わない	780	26.3	331	25.6	421	27.0
DK, NA	73	2.5	26	2.0	33	2.1
気の進まないことで人から誘われるとやってしまう						
そう思う	249	8.4	113	8.7	129	8.3
どちらかといえばそう思う	1060	35.7	460	35.6	566	36.3
どちらかといえばそう思わない	935	31.5	415	32.1	483	31.0
そう思わない	662	22.3	283	21.9	354	22.7
DK, NA	63	2.1	22	1.7	26	1.7
今が楽しければそれでいい						
そう思う	658	22.2	315	24.4	314	20.2
どちらかといえばそう思う	884	29.8	343	26.5	515	33.1
どちらかといえばそう思わない	842	28.4	368	28.5	444	28.5
そう思わない	523	17.6	247	19.1	257	16.5
DK, NA	62	2.1	20	1.5	28	1.8

世の中はお金がすべてだ						
そう思う	516	17.4	251	19.4	240	15.4
どちらかといえばそう思う	834	28.1	337	26.1	466	29.9
どちらかといえばそう思わない	846	28.5	371	28.7	448	28.8
そう思わない	707	23.8	313	24.2	374	24.0
DK, NA	66	2.2	21	1.6	30	1.9
大人は信用できない						
そう思う	516	17.4	242	18.7	250	16.0
どちらかといえばそう思う	852	28.7	361	27.9	458	29.4
どちらかといえばそう思わない	1110	37.4	476	36.8	603	38.7
そう思わない	414	13.9	183	14.2	216	13.9
DK, NA	77	2.6	31	2.4	31	2.0
社会がだんだん悪くなっていく						
そう思う	1485	50.0	682	52.7	758	48.7
どちらかといえばそう思う	980	33.0	385	29.8	562	36.1
どちらかといえばそう思わない	277	9.3	119	9.2	141	9.1
そう思わない	158	5.3	84	6.5	65	4.2
DK, NA	69	2.3	23	1.8	32	2.1
まじめに努力しても報われない						
そう思う	339	11.4	168	13.0	158	10.1
どちらかといえばそう思う	676	22.8	282	21.8	370	23.7
どちらかといえばそう思わない	1098	37.0	446	34.5	612	39.3
そう思わない	784	26.4	372	28.8	385	24.7
DK, NA	72	2.4	25	1.9	33	2.1
男は外で働き、女は家庭を守るべきだ						
そう思う	159	5.4	107	8.3	47	3.0
どちらかといえばそう思う	327	11.0	193	14.9	123	7.9
どちらかといえばそう思わない	837	28.2	417	32.3	390	25.0
そう思わない	1571	52.9	550	42.5	964	61.9
DK, NA	75	2.5	26	2.0	34	2.2
子どもが小さいうちは、母親は仕事をもたずに家にいるべきだ						
そう思う	645	21.7	310	24.0	312	20.0
どちらかといえばそう思う	949	32.0	418	32.3	499	32.0
どちらかといえばそう思わない	699	23.5	306	23.7	365	23.4
そう思わない	608	20.5	233	18.0	355	22.8
DK, NA	68	2.3	26	2.0	27	1.7
男性は、セックスでは女性をリードすべきだ						
そう思う	583	19.6	273	21.1	289	18.5
どちらかといえばそう思う	982	33.1	368	28.5	590	37.9
どちらかといえばそう思わない	691	23.3	353	27.3	313	20.1
そう思わない	548	18.5	259	20.0	263	16.9
DK, NA	165	5.6	40	3.1	103	6.6
女性は、セックスでは男性のリードに従うべきだ						
そう思う	203	6.8	114	8.8	81	5.2
どちらかといえばそう思う	552	18.6	212	16.4	329	21.1
どちらかといえばそう思わない	1248	42.0	566	43.8	648	41.6
そう思わない	785	26.4	339	26.2	404	25.9
DK, NA	181	6.1	62	4.8	96	6.2
男性は心の底ではレイプしたいと思っている						
そう思う	431	14.5	256	19.8	158	10.1
どちらかといえばそう思う	641	21.6	275	21.3	348	22.3
どちらかといえばそう思わない	717	24.1	301	23.3	390	25.0
そう思わない	910	30.7	419	32.4	465	29.8
DK, NA	270	9.1	42	3.2	197	12.6
女性は心の底ではレイプされたいと思っている						
そう思う	129	4.3	86	6.7	35	2.2
どちらかといえばそう思う	159	5.4	74	5.7	79	5.1
どちらかといえばそう思わない	723	24.4	385	29.8	313	20.1
そう思わない	1751	59.0	661	51.1	1039	66.7
DK, NA	207	7.0	87	6.7	92	5.9
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問8. あなたは、つぎのような行為についてどう思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近いものに1つだけをつけてください。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
放置している他人の自転車にのること						
かまわない	235	7.9	155	12.0	67	4.3
どちらかといえばかまわない	245	8.3	134	10.4	106	6.8
どちらかといえばよくない	595	20.0	270	20.9	308	19.8
よくない	1840	62.0	717	55.5	1054	67.7
DK, NA	54	1.8	17	1.3	23	1.5
高校生がたばこを吸うこと						
かまわない	449	15.1	249	19.3	182	11.7
どちらかといえばかまわない	354	11.9	165	12.8	179	11.5
どちらかといえばよくない	586	19.7	240	18.6	326	20.9
よくない	1528	51.5	623	48.2	849	54.5
DK, NA	52	1.8	16	1.2	22	1.4
万引きをすること						
かまわない	105	3.5	66	5.1	34	2.2
どちらかといえばかまわない	88	3.0	53	4.1	35	2.2
どちらかといえばよくない	408	13.7	207	16.0	184	11.8
よくない	2314	77.9	948	73.3	1283	82.3
DK, NA	54	1.8	19	1.5	22	1.4
覚醒剤やマリファナなどのドラッグを使用すること						
かまわない	76	2.6	49	3.8	22	1.4
どちらかといえばかまわない	27	0.9	15	1.2	11	0.7
どちらかといえばよくない	136	4.6	82	6.3	49	3.1
よくない	2674	90.1	1127	87.2	1454	93.3
DK, NA	56	1.9	20	1.5	22	1.4
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問9. あなたはマスターベーション(オナニー)の経験がありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
ある	1370	46.1	1038	80.3	286	18.4
ない	1037	34.9	99	7.7	900	57.8
言葉の意味が分からない	368	12.4	93	7.2	264	16.9
DK, NA	194	6.5	63	4.9	108	6.9
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問10. あなたは今までに、セックスの経験がありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
ある	896	30.2	355	27.5	513	32.9
ない	1917	64.6	885	68.4	961	61.7
DK, NA	156	5.3	53	4.1	84	5.4
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

上の質問で「ある」と答えた人にお聞きします。問10-1 はじめてセックスを経験したのは、何歳のときですか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
10歳以前	7	0.8	4	1.2	3	0.6
11歳	3	0.4	2	0.6	1	0.2
12歳	13	1.6	5	1.5	8	1.7
13歳	24	2.9	9	2.7	12	2.5
14歳	77	9.2	35	10.6	40	8.3
15歳	301	36.1	131	39.7	162	33.7
16歳	367	44.0	123	37.3	234	48.6
17歳	41	4.9	20	6.1	21	4.4
18歳	1	0.1	1	0.3	0	0.0
合計	834	100.0	330	100.0	481	100.0

問10-2 そのはじめての相手は、そのときあなたにとって、どういう人でしたか。(1つだけ をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
恋人	717	82.9	279	81.8	416	83.5
友達	62	7.2	31	9.1	30	6.0
先輩・後輩	35	4.0	14	4.1	19	3.8
出会い系サイトで知り合った人	13	1.5	6	1.8	7	1.4
はじめて出会った人	20	2.3	4	1.2	16	3.2
その他	18	2.1	7	2.1	10	2.0
合計	865	100.0	341	100.0	498	100.0

問10-3 そのときの相手の年齢は…。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
自分より年下	38	4.4	27	7.9	11	2.2
自分と同じ年	523	60.3	249	72.8	256	51.2
自分より年上	302	34.8	61	17.8	233	46.6
わからない	5	0.6	5	1.5	0	0.0
合計	868	100.0	342	100.0	500	100.0

問10-4 はじめてセックスを経験したとき、どちらから要求しましたか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
自分から言葉や態度で	144	16.7	135	39.6	6	1.2
相手から言葉や態度で	366	42.4	42	12.3	319	64.3
どちらともいえない。自然に	354	41.0	164	48.1	171	34.5
合計	864	100.0	341	100.0	496	100.0

問10-5 はじめてセックスをして、どのように感じましたか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
経験してよかった	534	61.6	252	73.7	262	52.6
経験しなければよかった	83	9.6	12	3.5	69	13.9
どちらともいえない	250	28.8	78	22.8	167	33.5
合計	867	100.0	342	100.0	498	100.0

問10-6 問10-5で答えたように感じたのは、どうしてですか。あてはまるものにいくつでも をつけてください)

	全体		女子		男子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
好きな人と深い関係になれたから	465	56.2	195	58.6	252	53.7
気持ちよかったから	259	31.3	175	52.6	74	15.8
相手から愛情を感じることができたから	378	45.7	136	40.8	226	48.2
大人の仲間入りができたから	122	14.7	46	13.8	71	15.1
気持ちよくなかったから	105	12.7	10	3.0	93	19.8
想像していたものとは違っていたから	145	17.5	54	16.2	84	17.9
その他	92	11.1	24	7.2	68	14.5
基数	828	100.0	333	100.0	469	100.0

問10-7 あなたはいままで、何人の人とセックスの経験がありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1人	412	48.0	157	46.3	242	49.0
2人	173	20.1	75	22.1	95	19.2
3人	89	10.4	33	9.7	52	10.5
4人以上	185	21.5	74	21.8	105	21.3
合計	859	100.0	339	100.0	494	100.0



問11. あなたには現在、セックスをする相手がありますか。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
1人いる	520 58.7	187 53.3	313 61.6
複数いる	47 5.3	22 6.3	24 4.7
いない	319 36.0	142 40.5	171 33.7
合計	886 100.0	351 100.0	508 100.0

「ア. 1人いる」と答えた人にお聞きします。問11-1 その人とセックスをするとき、どちらから要求しますか。  
(1つだけ をつけてください)

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
自分から言葉や態度で	87 16.9	79 42.5	6 1.9
相手から言葉や態度で	155 30.2	14 7.5	139 45.0
どちらともいえない、自然に	272 52.9	93 50.0	164 53.1
合計	514 100.0	186 100.0	309 100.0

問11-2 あなたは、その相手が「あなたとのセックス」について、どんなことを望んでいるか理解していますか。  
(1つだけ をつけてください)

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
よく分かっている	120 23.2	40 21.3	72 23.3
だいたい分かっている	238 46.0	85 45.2	147 47.6
あまり分かっていない	76 14.7	28 14.9	45 14.6
まったく分かっていない	7 1.4	3 1.6	4 1.3
考えたことがない	76 14.7	32 17.0	41 13.3
合計	517 100.0	188 100.0	309 100.0

問11-3 その相手は、あなたが「その人とのセックス」にどんなことを望んでいるのか理解していると思いますか。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
よく分かっている	126 24.6	43 23.0	76 24.8
だいたい分かっている	235 45.8	92 49.2	136 44.4
あまり分かっていない	113 22.0	35 18.7	73 23.9
まったく分かっていない	39 7.6	17 9.1	21 6.9
合計	513 100.0	187 100.0	306 100.0

問11-4 あなたは、自分たちのセックスについて、その人とふだんどのぐらい会話をしますか。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
よく話をする	165 31.8	56 29.6	100 32.3
たまに話をする	221 42.6	83 43.9	132 42.6
あまり話をしない	105 20.2	42 22.2	58 18.7
ぜんぜん話をしない	28 5.4	8 4.2	20 6.5
合計	519 100.0	189 100.0	310 100.0

問12. あなたは、アダルトビデオや雑誌などでしているようなセックスを、まねしたことがありますか。  
(1つだけ をつけてください)

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
ある	280 31.5	142 40.2	125 24.5
したいと思ったが、しなかった	128 14.4	92 26.1	33 6.5
ない	406 45.6	114 32.3	283 55.5
見たことがない	76 8.5	5 1.4	69 13.5
合計	890 100.0	353 100.0	510 100.0

問13. あなたは、セックスをするとき、エイズや性感染症(性病)などのことが気になりますか。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
非常に気になる	245 27.4	99 28.0	138 26.8
少しは気になる	425 47.5	157 44.4	256 49.8
あまり気にならない	144 16.1	54 15.3	86 16.7
全然気にならない	81 9.1	44 12.4	34 6.6
合計	895 100.0	354 100.0	514 100.0

問14. あなたは、これまでに性感染症にかかったことがありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
ない	687	76.8	272	77.1	394	76.5
ある	40	4.5	16	4.5	23	4.5
分からない	168	18.8	65	18.4	98	19.0
合計	895	100.0	353	100.0	515	100.0

問15. あなたは、セックスをするとき、妊娠の可能性が気になりますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
非常に気になる	431	48.2	164	46.6	254	49.2
少しは気になる	350	39.1	133	37.8	206	39.9
あまり気にならない	81	9.1	36	10.2	43	8.3
全然気にならない	32	3.6	19	5.4	13	2.5
合計	894	100.0	352	100.0	516	100.0

問16. あなたは、セックスをするとき、避妊を実行していますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
いつもしている	420	47.9	166	47.4	247	49.2
場合による	383	43.7	154	44.0	214	42.6
いつもしていない	73	8.3	30	8.6	41	8.2
合計	876	100.0	350	100.0	502	100.0

上の質問で「いつもしている」と「場合による」と答えた人にお聞きします。

問16-1 その避妊の方法は…。(いくつでも をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
コンドーム	769	96.9	300	96.5	445	97.2
ピル	15	1.9	8	2.6	5	1.1
フィルム状避妊薬	6	0.8	3	1.0	2	0.4
月経からの日数を数える	133	16.8	47	15.1	82	17.9
基礎体温を測る	18	2.3	10	3.2	6	1.3
膣外射精	287	36.1	109	35.0	168	36.7
その他	7	0.9	3	1.0	2	0.4
基数	794	100.0	311	100.0	458	100.0

問16-2 避妊するのはどうしてですか。(いくつでも をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
子どもができても育てられないから	639	79.5	239	75.6	382	82.5
後で面倒なことになると困るから	310	38.6	126	39.9	176	38.0
当たり前のことだから	382	47.5	140	44.3	233	50.3
相手の体を思いやって	220	27.4	155	49.1	55	11.9
病気をうつしたり、うつされたりしないため	239	29.7	74	23.4	160	34.6
その他	25	3.1	9	2.8	14	3.0
基数	804	100.0	316	100.0	463	100.0

問16-3 そのとき、避妊はどちらが言い出しますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
自分	290	37.0	124	39.9	157	35.0
相手	100	12.8	29	9.3	68	15.2
どちらともいえない	317	40.5	130	41.8	176	39.3
その他	76	9.7	28	9.0	47	10.5
合計	783	100.0	311	100.0	448	100.0

問16で「3.いつもしていない」と答えた人にお聞きします。  
問16-4 避妊を実行しないのはなぜですか。(いくつでも をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
面倒くさいから	31	45.6	13	52.0	17	41.5
準備していないことが多いから	25	36.8	7	28.0	17	41.5
たぶん妊娠しないと思うから	20	29.4	10	40.0	10	24.4
避妊を言い出せないから	4	5.9	0	0.0	4	9.8
相手に断られるから	6	8.8	4	16.0	2	4.9
避妊法を知らないから	5	7.4	2	8.0	3	7.3
その他	21	30.9	7	28.0	14	34.1
基数	68	100.0	25	100.0	41	100.0

問17. あなたは、これまでに中絶した(相手に中絶させた)ことがありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
ない	720	92.1	256	87.1	444	95.5
ある	27	3.5	14	4.8	13	2.8
分からない	35	4.5	24	8.2	8	1.7
合計	782	100.0	294	100.0	465	100.0

問18. あなたは、出会い系サイトを利用したことがありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
ある	650	21.9	237	18.3	400	25.7
ない	2237	75.3	1028	79.5	1118	71.8
DK、NA	82	2.8	28	2.2	40	2.6
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

上の質問で「ある」と答えた人にお聞きします。

問18-1 あなたは出会い系サイトをどうやって知りましたか。(1つだけ をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
メールで	294	48.5	104	47.9	185	49.2
一般の雑誌、週刊誌で	16	2.6	3	1.4	13	3.5
友達・知り合いから	186	30.7	75	34.6	105	27.9
ネットで偶然に	101	16.7	31	14.3	68	18.1
その他	9	1.5	4	1.8	5	1.3
合計	606	100.0	217	100.0	376	100.0

問18-2 あなたは、どんな目的で「出会い系サイト」を利用しましたか。(1つだけ をつけてください。)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
同じ趣味を持つ仲間を作るため	102	16.6	30	13.3	69	18.4
悩みを相談する友人を作るため	50	8.1	11	4.9	39	10.4
恋人を作るため	82	13.4	46	20.4	36	9.6
興味本位から	344	56.0	125	55.6	211	56.1
その他	36	5.9	13	5.8	21	5.6
合計	614	100.0	225	100.0	376	100.0

問18-3 あなたが、「出会い系サイト」で知り合った人の数は、何人くらいですか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
0人	12	2.0	7	3.0	5	1.4
1人	87	14.2	29	12.6	55	14.9
2人	91	14.9	34	14.8	56	15.1
3人	106	17.3	47	20.4	59	15.9
4人	42	6.9	16	7.0	26	7.0
5人	84	13.7	36	15.7	46	12.4
6人	24	3.9	6	2.6	17	4.6
7人	9	1.5	2	0.9	7	1.9
8人	14	2.3	4	1.7	10	2.7
9人	1	0.2	0	0.0	1	0.3
10人	66	10.8	21	9.1	10	11.4
11人～19人	14	2.3	5	2.2	8	2.2
20人～29人	28	4.6	7	3.0	21	5.7
30人以上	34	5.6	16	7.0	17	4.6
合計	612	100.0	230	100.0	370	100.0

問18-4 あなたは、出会い系サイトで知り合った人と、直接に会ったことがありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
ある	305	47.3	100	42.0	200	50.8
ない	340	52.7	138	58.0	194	49.2
合計	645	100.0	238	100.0	394	100.0

問18-5 実際「出会い系サイト」で知り合った人と、どのような関係になりましたか。  
(あてはまるものにいくつでもをつけてください。)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
メル友	431	67.9	151	64.8	273	70.0
電話で話す友達	140	22.0	43	18.5	95	24.4
実際に会って遊ぶ同性の友達	32	5.0	7	3.0	25	6.4
実際に会って遊ぶ異性の友達	86	13.5	32	13.7	51	13.1
恋人	108	17.0	26	11.2	81	20.8
セックスをする相手	64	10.1	32	13.7	32	8.2
以上の関係にならなかった	105	16.5	31	13.3	71	18.2
その他	19	3.0	8	3.4	11	2.8
基数	635	100.0	233	100.0	390	100.0

問19. あなたは、「出会い系サイト」を利用していることを、ご両親に話していますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
話している	100	15.5	30	12.5	69	17.5
話していない	547	84.5	210	87.5	325	82.5
合計	647	100.0	240	100.0	394	100.0

問20. 「出会い系サイト」を使ったことで、イヤな思いをしたことがありますか。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
トラブルに巻き込まれた	33	5.2	13	5.5	20	5.1
迷惑メールでイヤな思いをした	66	10.4	16	6.8	48	12.3
別にない	537	84.4	206	87.7	322	82.6
合計	636	100.0	235	100.0	390	100.0

問21. あなたは、「出会い系サイト」を利用することについて、誰かからアドバイスや注意を受けたことがありますか。  
あてはまるものにいくつでも をつけてください。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
親から	615 21.7	145 11.7	454 30.3
先生から	799 28.2	303 24.4	472 31.5
友達から	501 17.7	193 15.5	295 19.7
その他	155 5.5	62 5.0	88 5.9
ない	1362 48.1	706 56.8	610 40.7
基数	2833 100.0	1244 100.0	1497 100.0

問22. 最近「出会い系サイト」に関連する事件が起きていますが、あなたはどのように感じられますか。  
(1つだけ をつけてください)

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
自分も巻き込まれるかもしれないので、とてもこわい	372 12.5	129 10.0	234 15.0
自分には関係ないと思うが、こわいと思う	1765 59.4	666 51.5	1047 67.2
自分には関係ないので、別に何も思わない	594 20.0	372 28.8	194 12.5
そういう事件を知らないなので、答えられない	54 1.8	40 3.1	9 0.6
その他	96 3.2	55 4.3	39 2.5
DK, NA	88 3.0	31 2.4	35 2.2
合計	2969 100.0	1293 100.0	1558 100.0

問23. あなたは、「出会い系サイト」を利用することについて、どう思いますか。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
特に問題ない	330 11.1	230 17.8	89 5.7
気をつけて利用すれば、問題ない	1189 40.0	512 39.6	641 41.1
利用してはいけない	829 27.9	277 21.4	526 33.8
分からない	543 18.3	246 19.0	273 17.5
DK, NA	78 2.6	28 2.2	29 1.9
合計	2969 100.0	1293 100.0	1558 100.0

問24. あなたは、次のような経験がありますか。(いくつでも をつけてください)

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
インターネットでアダルト画像を見る	886 32.3	635 52.0	222 15.4
アダルトビデオを見る	1348 49.2	894 73.2	412 28.6
テレホンクラブを使う	149 5.4	25 2.0	120 8.3
ダイヤルQ2を使う	110 4.0	65 5.3	39 2.7
ソーブランドに行く	30 1.1	26 2.1	4 0.3
デートクラブを利用する	16 0.6	11 0.9	5 0.3
援助交際をする	40 1.5	9 0.7	28 1.9
以上の経験なし	1164 42.5	232 19.0	902 62.7
基数	2740 100.0	1222 100.0	1439 100.0

問25. あなたは、友人の性的な行動や経験が、どのぐらい気になりますか。

	全体 度数 パーセント	男子 度数 パーセント	女子 度数 パーセント
非常に気になる	453 15.3	213 16.5	232 14.9
少しは気になる	1349 45.4	541 41.8	764 49.0
あまり気にならない	722 24.3	318 24.6	375 24.1
全然気にならない	355 12.0	190 14.7	148 9.5
DK, NA	90 3.0	31 2.4	39 2.5
合計	2969 100.0	1293 100.0	1558 100.0

問26. あなたは、つぎのような性的な被害を受けたことがありますか。それぞれの項目について、だれから受けたか  
 答えてください。(いくつでも をつけてください。被害を受けたことがない場合には、「ない」に をつけてください。)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
身体をイヤらしい目つきでじろじろ見られた						
家族・親戚から	55	2.0	10	0.9	44	3.0
友達などから	106	3.9	26	2.3	77	5.2
学校・塾の先生から	96	3.6	15	1.3	79	5.4
その他の知り合いから	107	4.0	9	0.8	93	6.3
知らない人から	503	18.7	29	2.5	467	31.8
ない	2053	76.5	1074	94.3	913	62.2
基数	2685	100.0	1139	100.0	1467	100.0
言葉などで、性的なからかいを受けた						
家族・親戚から	62	2.3	15	1.3	43	2.9
友達などから	350	13.0	141	12.3	200	13.7
学校・塾の先生から	72	2.7	15	1.3	55	3.8
その他の知り合いから	145	5.4	22	1.9	117	8.0
知らない人から	154	5.7	9	0.8	141	9.7
ない	2081	77.5	976	85.2	1043	71.4
基数	2685	100.0	1145	100.0	1461	100.0
身体をさわられた						
家族・親戚から	74	2.8	22	1.9	49	3.4
友達などから	246	9.2	109	9.6	129	8.8
学校・塾の先生から	103	3.8	26	2.3	74	5.1
その他の知り合いから	141	5.3	25	2.2	112	7.7
知らない人から	379	14.2	28	2.5	342	23.4
ない	1930	72.1	988	86.7	886	60.7
基数	2676	100.0	1139	100.0	1460	100.0
相手のはだかや性器などを見せられた						
家族・親戚から	26	1.0	11	1.0	12	0.8
友達などから	123	4.6	87	7.6	29	2.0
学校・塾の先生から	20	0.7	8	0.7	12	0.8
その他の知り合いから	35	1.3	8	0.7	25	1.7
知らない人から	327	12.2	14	1.2	303	20.8
ない	2179	81.6	1027	90.1	1092	75.1
基数	2671	100.0	1140	100.0	1454	100.0
性的な誘惑を受けた						
家族・親戚から	8	0.3	3	0.3	5	0.3
友達などから	162	6.1	51	4.5	101	7.0
学校・塾の先生から	20	0.8	10	0.9	10	0.7
その他の知り合いから	124	4.7	23	2.0	97	6.7
知らない人から	124	4.7	11	1.0	111	7.7
ない	2279	85.8	1041	92.0	1173	81.1
基数	2656	100.0	1132	100.0	1446	100.0
むりやりに性的行為をさせられた						
家族・親戚から	7	0.3	2	0.2	4	0.3
友達などから	52	1.9	10	0.9	40	2.7
学校・塾の先生から	17	0.6	9	0.8	8	0.5
その他の知り合いから	50	1.9	2	0.2	45	3.1
知らない人から	39	1.5	5	0.4	32	2.2
ない	2524	94.5	1109	97.7	1344	92.2
基数	2670	100.0	1135	100.0	1458	100.0
ストーカー的な行為を受けた						
家族・親戚から	3	0.1	3	0.3	0	0.0
友達などから	79	2.9	24	2.1	51	3.5
学校・塾の先生から	16	0.6	8	0.7	8	0.5
その他の知り合いから	86	3.2	18	1.6	66	4.5
知らない人から	105	3.9	18	1.6	85	5.8
ない	2419	90.3	1069	94.1	1280	87.4
基数	2678	100.0	1136	100.0	1464	100.0

問26-1 上の質問の ~ の項目で1つでも被害にあった人にお聞きます。  
 あなたは、そのことについて、だれに相談しましたか。(あてはまるものはいくつでも をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
親	244	20.1	16	5.6	222	24.6
先生	85	7.0	5	1.7	79	8.8
友達	725	59.6	100	35.0	607	67.4
先輩	60	4.9	16	5.6	41	4.6
医師、カウンセラー	12	1.0	5	1.7	6	0.7
その他	164	13.5	54	18.9	105	11.7
相談する相手はいない(いなかった)	267	22.0	118	41.3	146	16.2
基数	1216	100.0	286	100.0	901	100.0

問27. あなたにとって、「家庭」「学校の友人」「学校の授業」のイメージはどんなものですか。  
 それぞれの項目について、あてはまるものに1つだけ をつけてください。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
a.家庭						
楽しい	992	33.4	359	27.8	604	38.8
どちらかといえば楽しい	1302	43.9	613	47.4	649	41.7
どちらかといえば楽しくない	387	13.0	192	14.8	188	12.1
楽しくない	198	6.7	90	7.0	95	6.1
DK, NA	90	3.0	39	3.0	22	1.4
b.学校の友人関係						
楽しい	1623	54.7	720	55.7	857	55.0
どちらかといえば楽しい	967	32.6	425	32.9	509	32.7
どちらかといえば楽しくない	196	6.6	73	5.6	120	7.7
楽しくない	99	3.3	40	3.1	52	3.3
DK, NA	84	2.8	35	2.7	20	1.3
c.学校の授業						
楽しい	134	4.5	61	4.7	68	4.4
どちらかといえば楽しい	683	23.0	282	21.8	384	24.6
どちらかといえば楽しくない	1157	39.0	507	39.2	616	39.5
楽しくない	907	30.5	404	31.2	471	30.2
DK, NA	88	3.0	39	3.0	19	1.2
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問28. いまの学校の授業は難しいですか。(1つだけ をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
とても難しい	760	25.6	325	25.1	416	26.7
まあまあ難しい	1656	55.8	689	53.3	920	59.1
あまり難しくない	335	11.3	164	12.7	161	10.3
難しくない	115	3.9	73	5.6	30	1.9
DK, NA	103	3.5	42	3.2	31	2.0
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問29. あなたは、次のようなことについて、だれと話をしますか。それぞれの項目について、あてはまる人すべてにをつけてください。

	全体 度数 パーセント		男子 度数 パーセント		女子 度数 パーセント	
<b>勉強・進路</b>						
父親	1187	41.7	598	48.1	557	36.5
母親	2191	77.0	859	69.2	1278	83.7
恋人	538	18.9	214	17.2	311	20.4
親友	1718	60.4	672	54.1	1007	66.0
親友以外の友達	1199	42.1	450	36.2	721	47.2
その他	257	9.0	74	6.0	180	11.8
誰とも話さない	164	5.8	106	8.5	49	3.2
基数	2846	100.0	1242	100.0	1526	100.0
<b>テレビの話題</b>						
父親	447	15.8	155	12.5	283	18.6
母親	847	29.9	240	19.4	588	38.6
恋人	620	21.9	272	22.0	331	21.7
親友	2205	77.8	947	76.6	1201	78.9
親友以外の友達	2231	78.7	905	73.2	1278	83.9
その他	166	5.9	42	3.4	120	7.9
誰とも話さない	110	3.9	64	5.2	39	2.6
基数	2835	100.0	1236	100.0	1523	100.0
<b>友達のこと</b>						
父親	409	14.5	195	15.8	207	13.7
母親	1277	45.2	415	33.6	839	55.3
恋人	685	24.2	268	21.7	401	26.5
親友	1896	67.1	769	62.3	1082	71.4
親友以外の友達	1523	53.9	654	53.0	833	54.9
その他	131	4.6	16	1.3	109	7.2
誰とも話さない	214	7.6	153	12.4	54	3.6
基数	2826	100.0	1235	100.0	1516	100.0
<b>趣味や遊び</b>						
父親	359	12.7	166	13.5	182	12.0
母親	662	23.5	185	15.0	459	30.3
恋人	682	24.2	267	21.7	402	26.6
親友	2281	80.8	979	79.5	1244	82.2
親友以外の友達	1993	70.6	844	68.6	1105	73.0
その他	131	4.6	31	2.5	96	6.3
誰とも話さない	140	5.0	81	6.6	54	3.6
基数	2822	100.0	1231	100.0	1513	100.0
<b>家族や家庭</b>						
父親	504	18.2	242	20.0	247	16.6
母親	818	29.5	314	26.0	482	32.4
恋人	530	19.1	178	14.7	339	22.8
親友	1445	52.1	436	36.1	971	65.2
親友以外の友達	899	32.4	275	22.7	607	40.8
その他	105	3.8	16	1.3	86	5.8
誰とも話さない	684	24.7	484	40.0	181	12.2
基数	2773	100.0	1209	100.0	1489	100.0
<b>恋人や異性</b>						
父親	84	3.0	45	3.7	35	2.3
母親	338	12.0	72	5.9	256	16.8
恋人	475	16.8	199	16.3	264	17.4
親友	2072	73.5	798	65.2	1224	80.5
親友以外の友達	1467	52.0	557	45.5	879	57.8
その他	122	4.3	23	1.9	96	6.3
誰とも話さない	407	14.4	272	22.2	120	7.9
基数	2819	100.0	1223	100.0	1520	100.0
<b>からだや性</b>						
父親	49	1.8	29	2.4	18	1.2
母親	223	8.0	37	3.0	180	12.0
恋人	467	16.7	183	15.0	273	18.2
親友	1601	57.3	660	54.1	905	60.4
親友以外の友達	1168	41.8	516	42.3	631	42.1
その他	72	2.6	15	1.2	54	3.6
誰とも話さない	790	28.3	397	32.5	367	24.5
基数	2792	100.0	1221	100.0	1498	100.0



問30. あなたの友達の数教えてください。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
a. 普段、電話やメールで連絡を取り合う友達						
0 - 4人	644	21.7	286	22.1	340	21.8
5 - 9人	659	22.2	247	19.1	396	25.4
10 - 19人	736	24.8	331	25.6	387	24.8
20 - 29人	256	8.6	125	9.7	127	8.2
30人以上	666	22.4	304	23.5	308	19.8
DK, NA	8	0.3	0	0.0	0	0.0
b. 普段よくあっておしゃべりをする友達						
0 - 4人	499	16.8	210	16.2	270	17.3
5 - 9人	768	25.9	291	22.5	464	29.8
10 - 19人	810	27.3	398	30.8	395	25.4
20 - 29人	295	9.9	135	10.4	152	9.8
30人以上	589	19.8	259	20.0	277	17.8
DK, NA	8	0.3	0	0.0	0	0.0
c. 休みの日などに一緒に買い物にいたり遊びに行く友達						
0 - 4人	1263	42.5	555	42.9	677	43.5
5 - 9人	899	30.3	376	29.1	496	31.8
10 - 19人	374	12.6	183	14.2	183	11.7
20 - 29人	53	1.8	23	1.8	28	1.8
30人以上	372	12.5	156	12.1	174	11.2
DK, NA	8	0.3	0	0.0	0	0.0
d. 「親友」と呼べる友達						
0 - 4人	1795	60.5	692	53.5	1054	67.7
5 - 9人	556	18.7	275	21.3	274	17.6
10 - 19人	191	6.4	120	9.3	61	3.9
20 - 29人	30	1.0	26	2.0	3	0.2
30人以上	389	13.1	180	13.9	166	10.7
DK, NA	8	0.3	0	0.0	0	0.0
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問31. あなたのご両親はどのような人ですか。それぞれの項目について、あてはまるものに1つだけをつけてください。

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
父親						
とても教育熱心						
そう思う	366	12.3	178	13.8	173	11.1
どちらとも言えない	874	29.4	386	29.9	469	30.1
そう思わない	1402	47.2	584	45.2	784	50.3
父はいない	196	6.6	83	6.4	109	7.0
DK, NA	131	4.4	62	4.8	23	1.5
困ったときに頼りになる						
そう思う	1171	39.4	538	41.6	605	38.8
どちらとも言えない	865	29.1	355	27.5	484	31.1
そう思わない	602	20.3	257	19.9	330	21.2
父はいない	193	6.5	82	6.3	108	6.9
DK, NA	138	4.7	61	4.7	31	2.0
子どもの気持ちを分かってくれる						
そう思う	708	23.8	322	24.9	366	23.5
どちらとも言えない	1008	34.0	452	35.0	538	34.5
そう思わない	919	31.0	373	28.8	516	33.1
父はいない	194	6.5	83	6.4	108	6.9
DK, NA	140	4.7	63	4.9	30	1.9
小遣いが足りないとき、たいして理由も聞かずにくれる						
そう思う	313	10.5	128	9.9	179	11.5
どちらとも言えない	596	20.1	247	19.1	328	21.1
そう思わない	1723	58.0	770	59.6	912	58.5
父はいない	197	6.6	85	6.6	108	6.9
DK, NA	140	4.7	63	4.9	31	2.0

子どものうそにだまされやすい						
そう思う	324	10.9	110	8.5	206	13.2
どちらとも言えない	868	29.2	326	25.2	519	33.3
そう思わない	1436	48.4	711	55.0	690	44.3
母はいない	195	6.6	82	6.3	110	7.1
DK,NA	146	4.9	64	4.9	33	2.1
門限や決まりに厳しい						
そう思う	802	27.0	253	19.6	524	33.6
どちらとも言えない	660	22.2	268	20.7	378	24.3
そう思わない	1161	39.1	620	48.0	514	33.0
母はいない	200	6.7	86	6.7	110	7.1
DK,NA	146	4.9	66	5.1	32	2.1
子どもがしていることに無関心						
そう思う	311	10.5	144	11.1	159	10.2
どちらとも言えない	889	29.9	389	30.1	476	30.6
そう思わない	1432	48.2	615	47.6	782	50.2
母はいない	196	6.6	81	6.3	112	7.2
DK,NA	141	4.8	64	4.9	29	1.9
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0
母親						
とても教育熱心						
そう思う	768	25.9	365	28.2	381	24.5
どちらとも言えない	1168	39.3	502	38.8	634	40.7
そう思わない	844	28.4	329	25.4	497	31.9
母はいない	55	1.9	32	2.5	23	1.5
DK,NA	134	4.5	65	5.0	23	1.5
困ったときに頼りになる						
そう思う	1581	53.3	567	43.9	980	62.9
どちらとも言えない	844	28.4	442	34.2	378	24.3
そう思わない	359	12.1	192	14.8	153	9.8
母はいない	47	1.6	27	2.1	20	1.3
DK,NA	138	4.7	65	5.0	27	1.7
子どもの気持ちを分かってくれる						
そう思う	1029	34.7	420	32.5	581	37.3
どちらとも言えない	1127	38.0	507	39.2	600	38.5
そう思わない	618	20.8	268	20.7	326	20.9
母はいない	49	1.7	29	2.2	20	1.3
DK,NA	146	4.9	69	5.3	31	2.0
小遣いが足りないとき、たいして理由も聞かずに						
そう思う	268	9.0	135	10.4	125	8.0
どちらとも言えない	680	22.9	296	22.9	364	23.4
そう思わない	1828	61.6	761	58.9	1023	65.7
母はいない	53	1.8	31	2.4	22	1.4
DK,NA	140	4.7	70	5.4	24	1.5
子どものうそにだまされやすい						
そう思う	338	11.4	139	10.8	192	12.3
どちらとも言えない	890	30.0	370	28.6	493	31.6
そう思わない	1536	51.7	683	52.8	819	52.6
母はいない	54	1.8	31	2.4	22	1.4
DK,NA	151	5.1	70	5.4	32	2.1
門限や決まりに厳しい						
そう思う	890	30.0	275	21.3	590	37.9
どちらとも言えない	836	28.2	353	27.3	463	29.7
そう思わない	1046	35.2	562	43.5	461	29.6
母はいない	55	1.9	33	2.6	21	1.3
DK,NA	142	4.8	70	5.4	23	1.5
子どもがしていることに無関心						
そう思う	143	4.8	82	6.3	56	3.6
どちらとも言えない	722	24.3	359	27.8	340	21.8
そう思わない	1908	64.3	754	58.3	1111	71.3
母はいない	54	1.8	30	2.3	24	1.5
DK,NA	142	4.8	68	5.3	27	1.7
合計	2969	100.0	1293	100.0	1558	100.0

問32. あなたの性別は……。

	度数	パーセント
男性	1293	43.6
女性	1558	52.5
DK、NA	118	4.0
合計	2969	100.0

問33. あなたは、きょうだいがありますか。(あてはまるものすべてに をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
兄	1022	35.8	461	36.0	555	35.8
弟	896	31.4	395	30.9	491	31.7
姉	935	32.8	421	32.9	505	32.6
妹	899	31.5	405	31.6	482	31.1
いない	166	5.8	72	5.6	93	6.0
基数	2852	100.0	1280	100.0	1549	100.0

問34. あなたは、現在だれと一緒に住んでいますか。(あてはまるものすべてに をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
一人暮らし	12	0.4	9	0.7	3	0.2
父	2539	88.8	1138	89.0	1378	88.7
母	2764	96.7	1229	96.1	1509	97.2
祖父	475	16.6	215	16.8	253	16.3
祖母	765	26.8	363	28.4	395	25.4
きょうだい	2396	83.8	1060	82.9	1311	84.4
その他	100	3.5	41	3.2	59	3.8
基数	2858	100.0	1279	100.0	1553	100.0

問35. あなたは自分専用に、以下のものを持っていますか。(持っているものすべてに をつけてください)

	全体		男子		女子	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
テレビ	1275	46.2	727	59.0	534	35.6
ビデオデッキ	861	31.2	497	40.3	356	23.7
オートバイ	119	4.3	82	6.7	35	2.3
個室	2216	80.2	998	80.9	1199	79.8
携帯電話・PHS	2394	86.7	1004	81.4	1365	90.9
パソコン	507	18.4	278	22.5	223	14.8
キャッシュカード	438	15.9	179	14.5	256	17.0
基数	2762	100.0	1233	100.0	1502	100.0

問36. あなたのお住まいの市名、あるいは郡部にお住まいの方は町名をお書きください。

	度数	パーセント
市部	1913	64.4
郡部	470	15.8
DK、NA	586	19.7
合計	2969	100.0

---

## 青少年の性意識と性行動に関する調査研究報告書

---

発行： 兵庫県  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 - 10 - 1  
電話(078)341 - 7711 (代表)

調査研究： (財)兵庫県ヒューマンケア研究機構  
家庭問題研究所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4 - 16 - 3  
兵庫県民会館内  
電話(078)321 - 2730 (代表)  
URL:<http://www.boreas.dti.ne.jp/~human-c>

(財)兵庫県ヒューマンケア研究機構は、平成 15 年 4 月から下記のとおり、  
名称、住所等を変更します。

名称： (財)21 世紀ヒューマンケア研究機構  
家庭問題研究所  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 - 5 - 2  
人と防災未来センター・ひと未来館内  
電話(078)262-5579  
URL: <http://www.21human.jp>